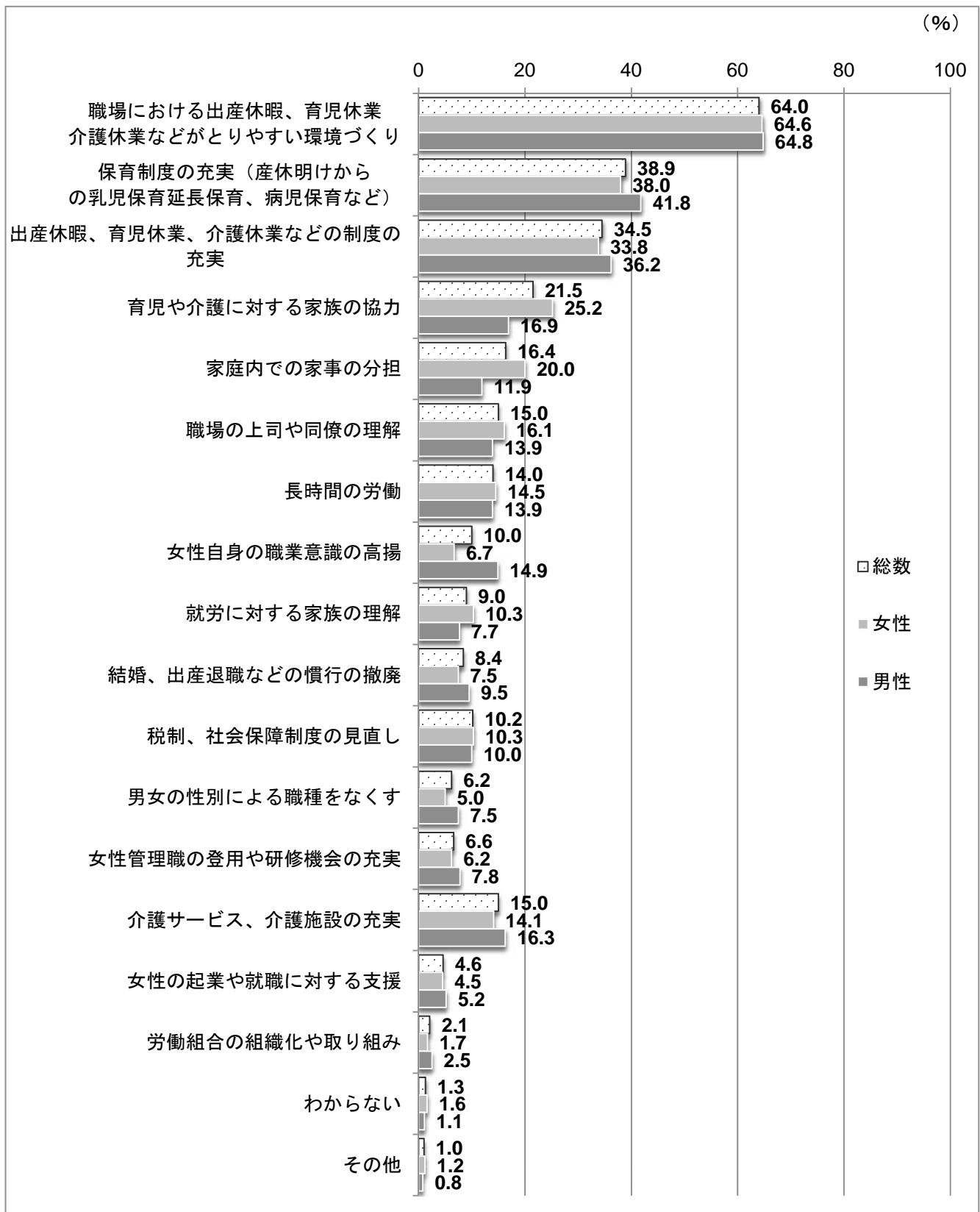


〔職業を持っている人も持っていない人も全員にお伺いします。〕

問 18 女性と男性が平等に仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要と思われるものを3つまで選んでください。



○その他意見

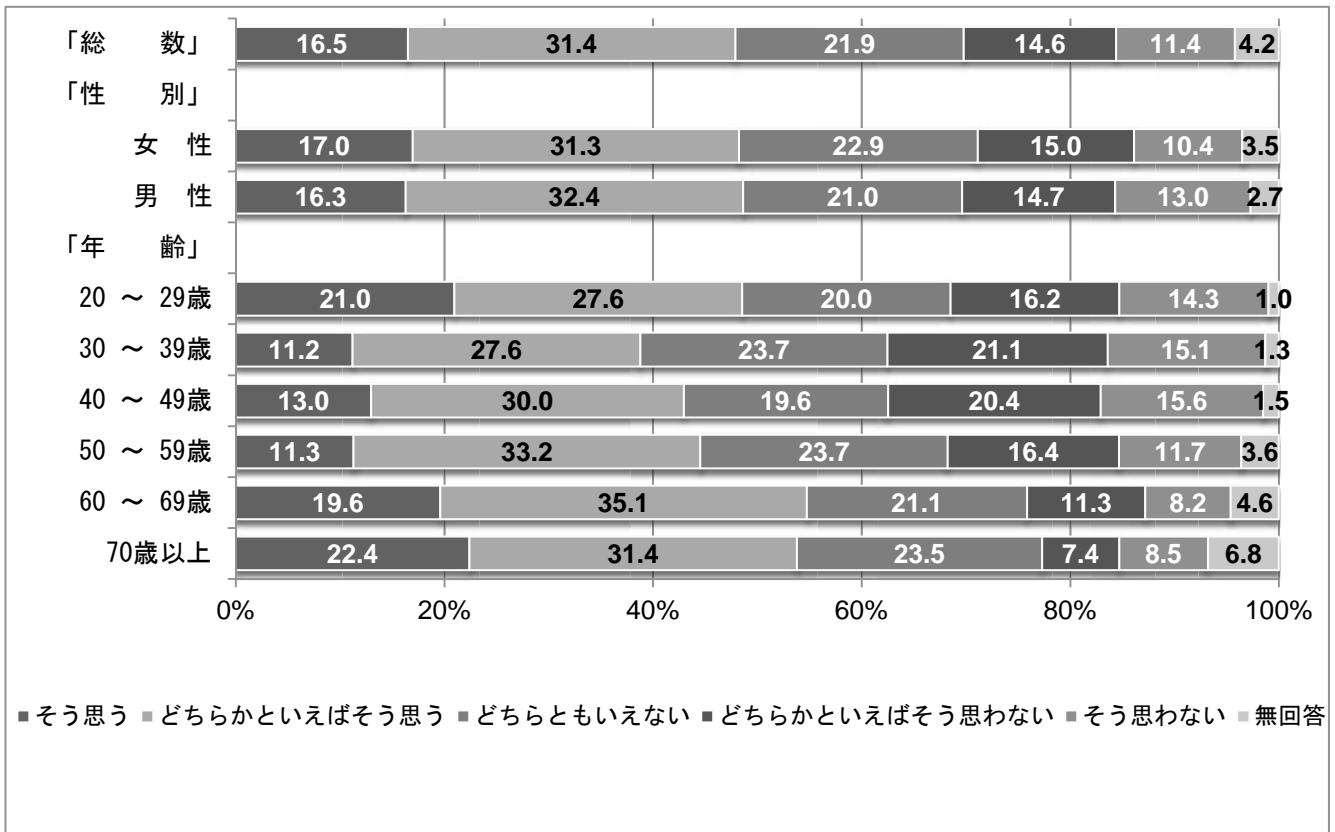
- 1 平等に仕事を続けていくのは不可能。必ず子供にしわよせはくる。子育てが崇高なもので、人を育てることにやり直しができないことを考えるべき。ただ体を大きくすることが子育てではない。
- 2 女性は家庭を優先するためには平等は難しいと思う
- 3 「出産休暇、育児休業、介護休業などの制度の充実」と記入しましたが、基本的に女性と男性との「平等な仕事」という意味付けが理解できません。男女平等とは同じ質や量をこなすということではないと考えています。
- 4 女性が家族の世話ができるよう、むしろ男子が家族を守れるようなフォローが大切だと思う
- 5 ブラック企業の取り締まり
- 6 それほど不平等はない。
- 7 社会全体のサポート、会社の理解
- 8 女性だからではなく、社長がワンマンなので男女共に優遇されない
- 9 そもそも男と女がすべてにおいて平等というのは難しいと思う。平等よりお互いに認め合い協力し合う事が必要
- 10 制度があっても、上司や同僚の目が気になり、取得できにくい環境では無意味になる。（職場などの理解・協力が）話しやすい環境作りが重要だと感じる。
- 11 女の再就職の地位を向上させる。現状はいったんやめてしまうと、正社員は難しい。
- 12 政府が無駄な金を使わない事
- 13 「長時間労働の見直し」を是非

【全体】

男女が平等に仕事を続けていくために必要なことのうち、「職場における出産休暇、育児休業、介護休業などがとりやすい環境づくり」が64.0%と圧倒的に高く、以下、「保育制度の充実（産休明けからの乳児保育、延長保育、病児保育など）」が38.9%、「出産休暇、育児休業、介護休業などの制度の充実」が34.5%などとなっている。

ワーク・ライフ・バランスについて

問 19 あなたは、仕事や家庭、地域・社会活動、趣味・娯楽など、自分が希望する時間の使い方ができていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。



【全体】

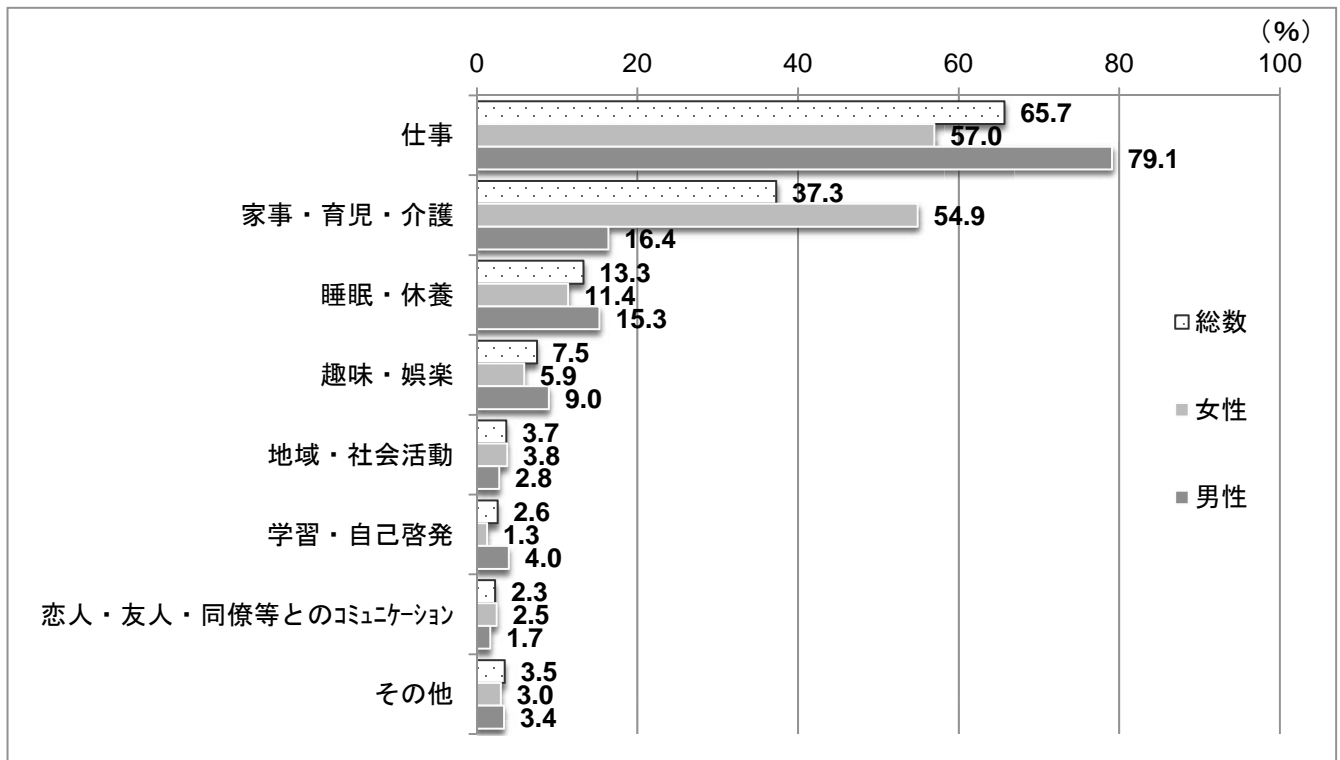
自分が希望する時間の使い方ができていると思うかという問いに対して、「できていると思う」（16.5%）、「どちらかといえばできていると思う」（31.4%）は、全体の47.9%となっており、約半数の人が、自分が希望する仕事や家庭、地域・社会活動などに時間を使えている。

一方、「できていない」、「どちらかと言えばできていない」という人が26%に上っている。これらの人が、時間を取りすぎていると考えているのは、男女ともに仕事が多く、女性の場合は家事・育児・介護も仕事に続いて多くなっている。逆に、時間が取れていないと考えているのは、男女ともに、趣味・娯楽が多く、その後、睡眠・休暇が続いている。

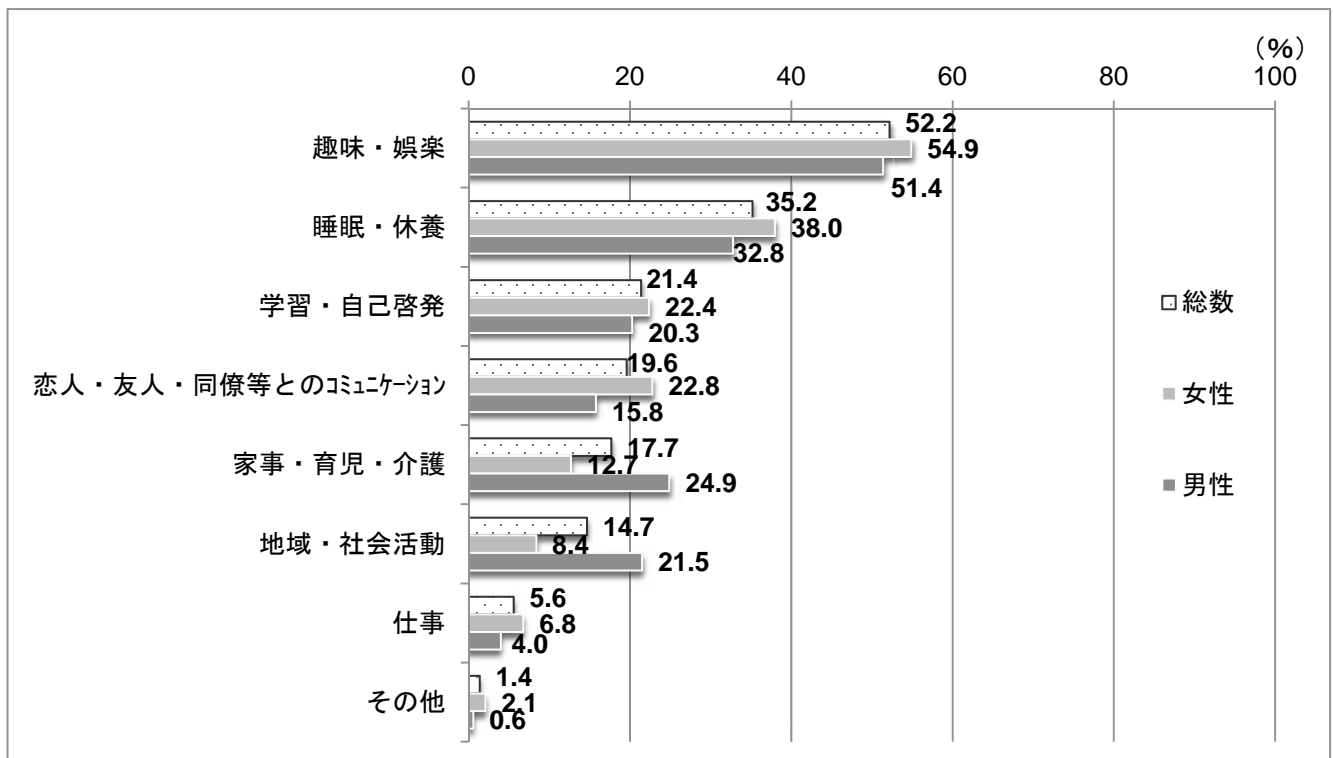
問 19 で「4 どちらかといえばそう思わない」又は「5 そう思わない」を選んだ方のみ、問 20 と問 21 にお答えください。それ以外の方は問 22 へ

問 20 あなたが、「時間を取りすぎていると思う活動」、「時間が取れていないと思う活動」は、どれですか。それぞれ、特に当てはまるものを2つまで選んでください。

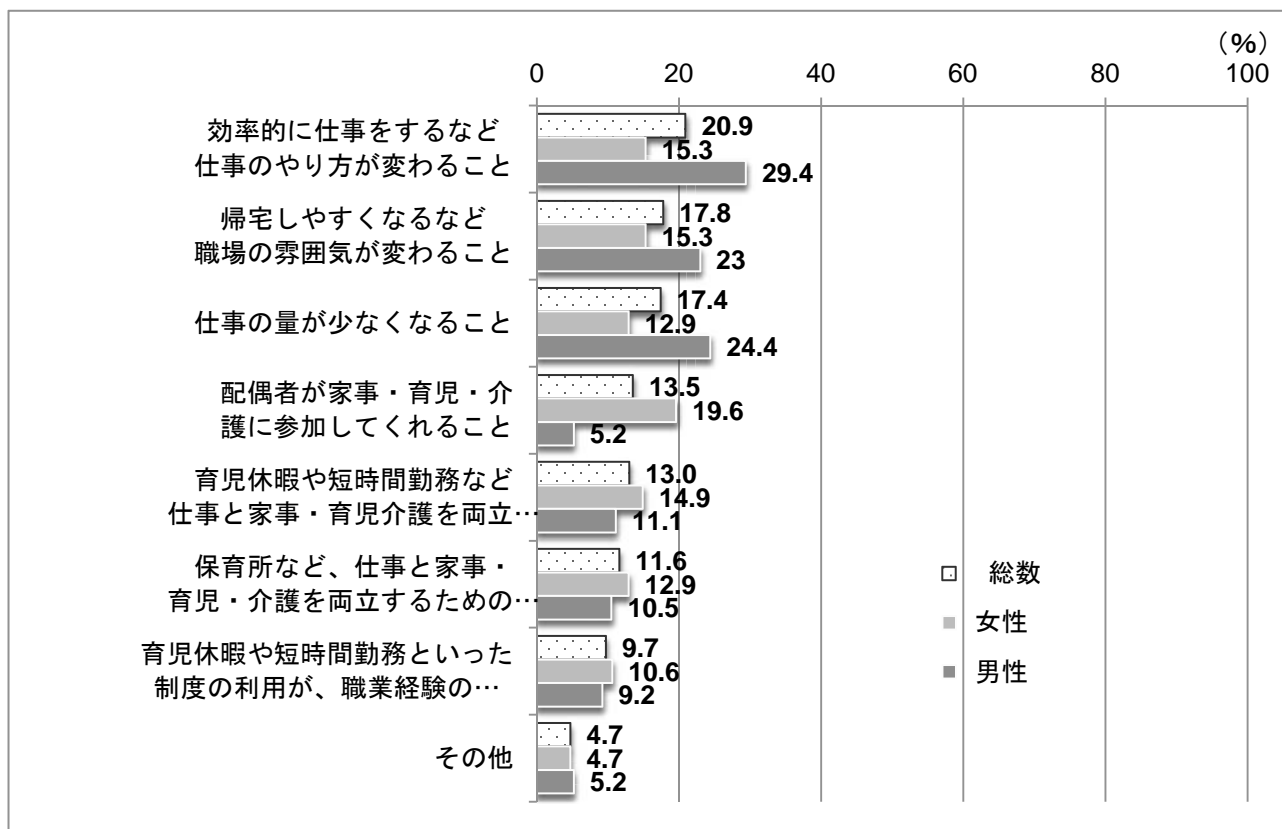
(1) 時間を取りすぎていると思う活動



(2) 時間が取れていないと思う活動



問 21 どのようにすれば、自分が希望する時間のとり方ができるとおもいますか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。



○その他意見

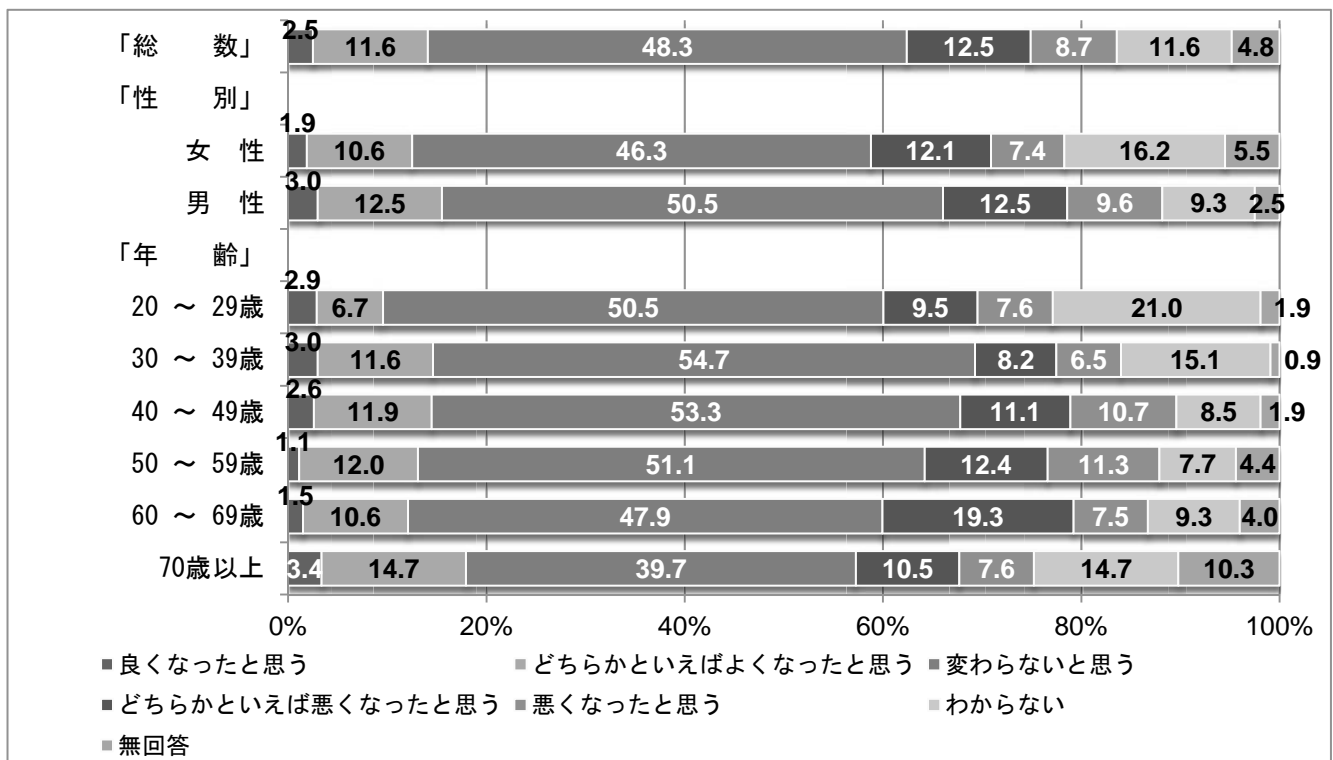
- 1 税金が収入に見合って少なくなって、経済的余裕ができれば。
- 2 有給休暇を自分の取得したいときにとれること
- 3 サービス残業が多すぎる。仕事の量も多い
- 4 フレックス出勤の拡充
- 5 仕事をしない上司が多く、若手にすべての負担がかかってくる。
- 6 給料が上がる事
- 7 労働時間の短縮
- 8 自己調整の問題
- 9 職場の人間関係をよくする
- 10 体調を回復させること
- 11 生活面の安定
- 12 子供の習い事や家事で一日が終わってなかなか趣味の時間が取れないのでどうしようもない
- 13 土日・祝休みの廃止。8時～18時までの勤務をなくす。（正直休みは自由に取りたいし出勤時間は昼からの勤務があってもいいと思う）
- 14 自分自身のスキルアップ

【全体】

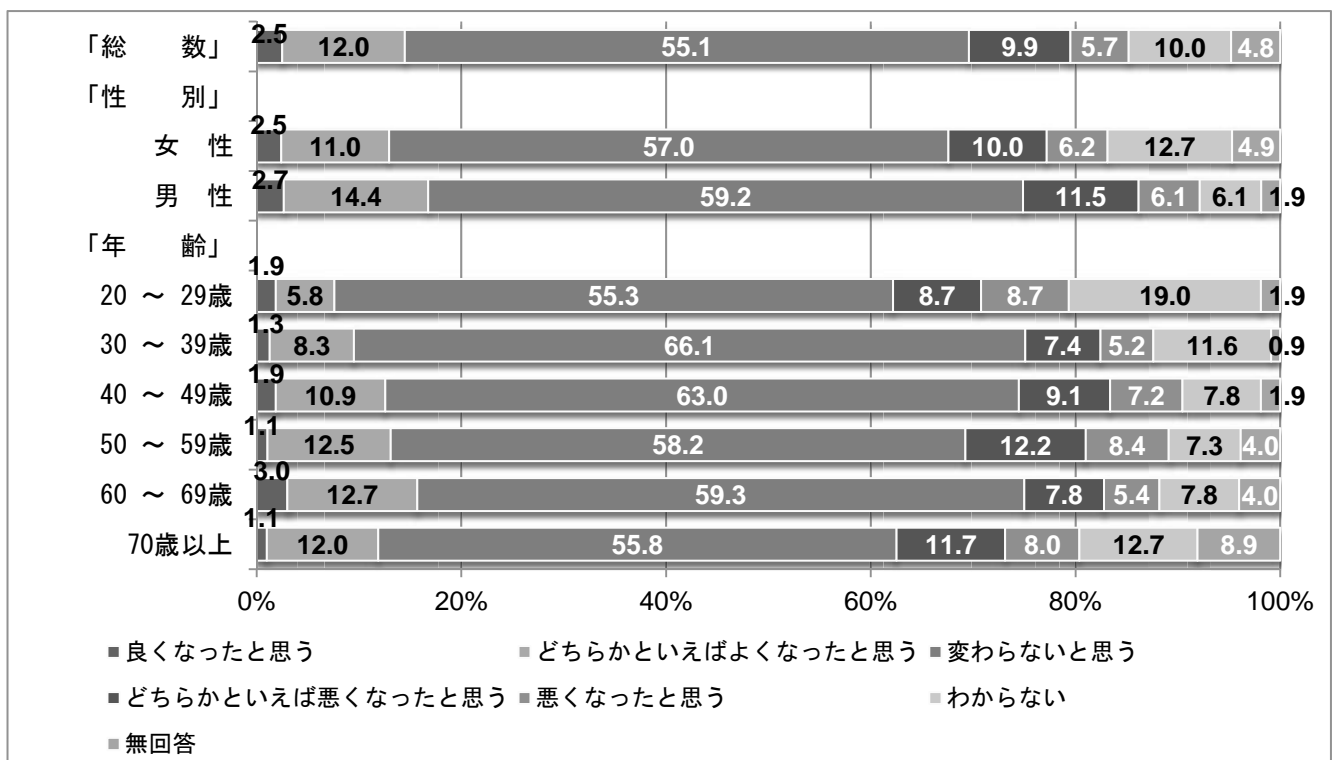
どうすれば自分が希望する時間の取り方ができるかについて、回答が多かったのは、「効率的に仕事をするなど仕事のやり方が変わること」（20.9%）、「帰宅しやすくなるなど職場の雰囲気が変わること」（17.8%）、「仕事の量が少なくなること」（17.4%）などとなっている。

問 22 政府は「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現した社会」について3つの項目を掲げています。あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、それぞれの項目が4年前と比較してどのように変化していると思いますか。最も近いものをそれぞれ1つだけお答えください。

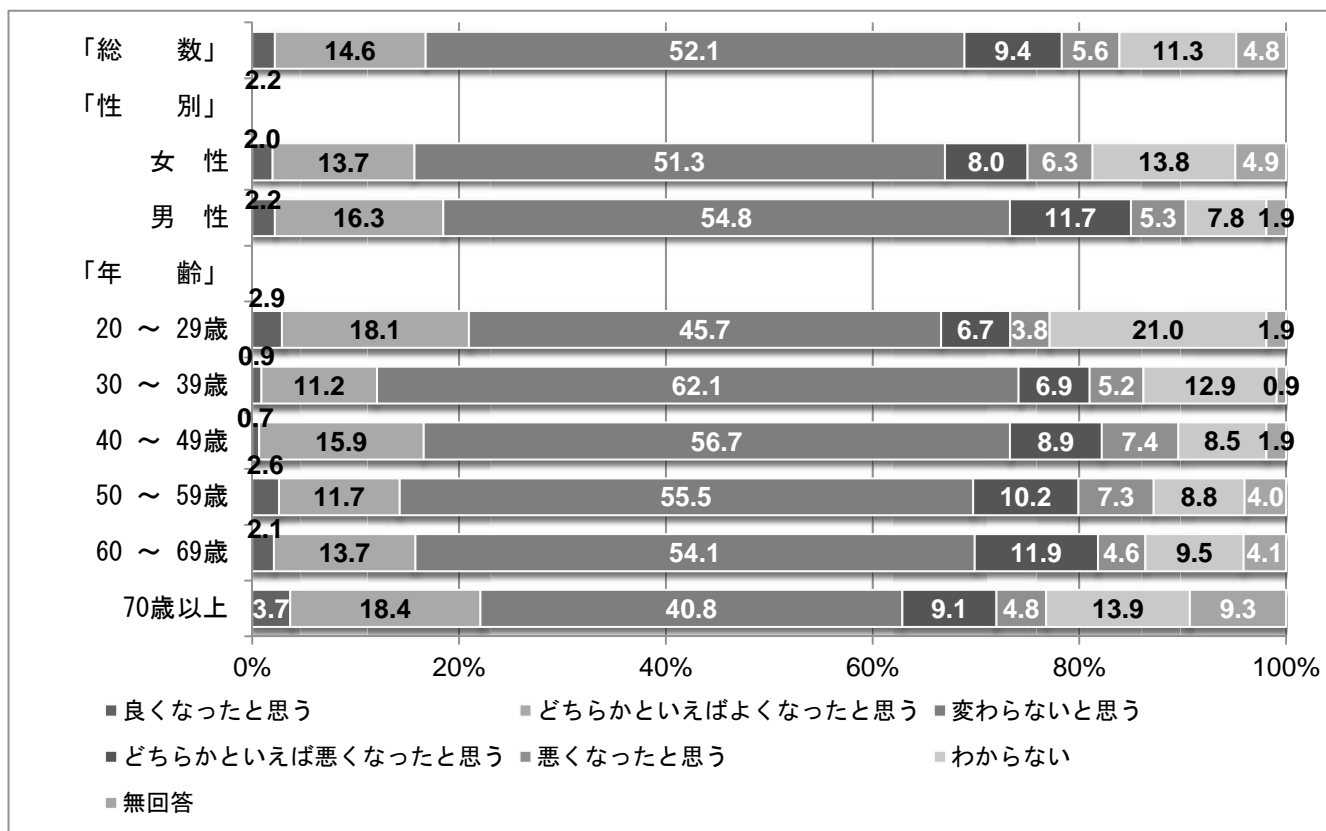
(1) 就労による経済的自立が可能な社会



(2) 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会



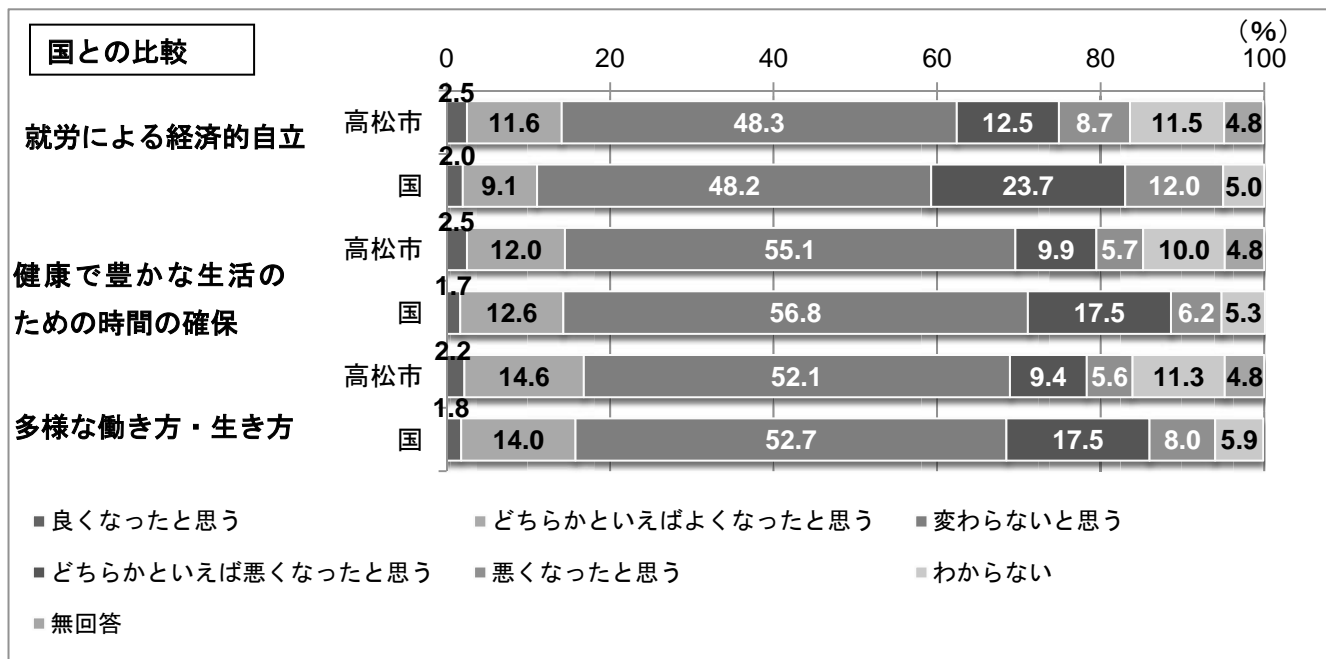
(3) 多様な働き方・生き方が選択できる社会



【全体】

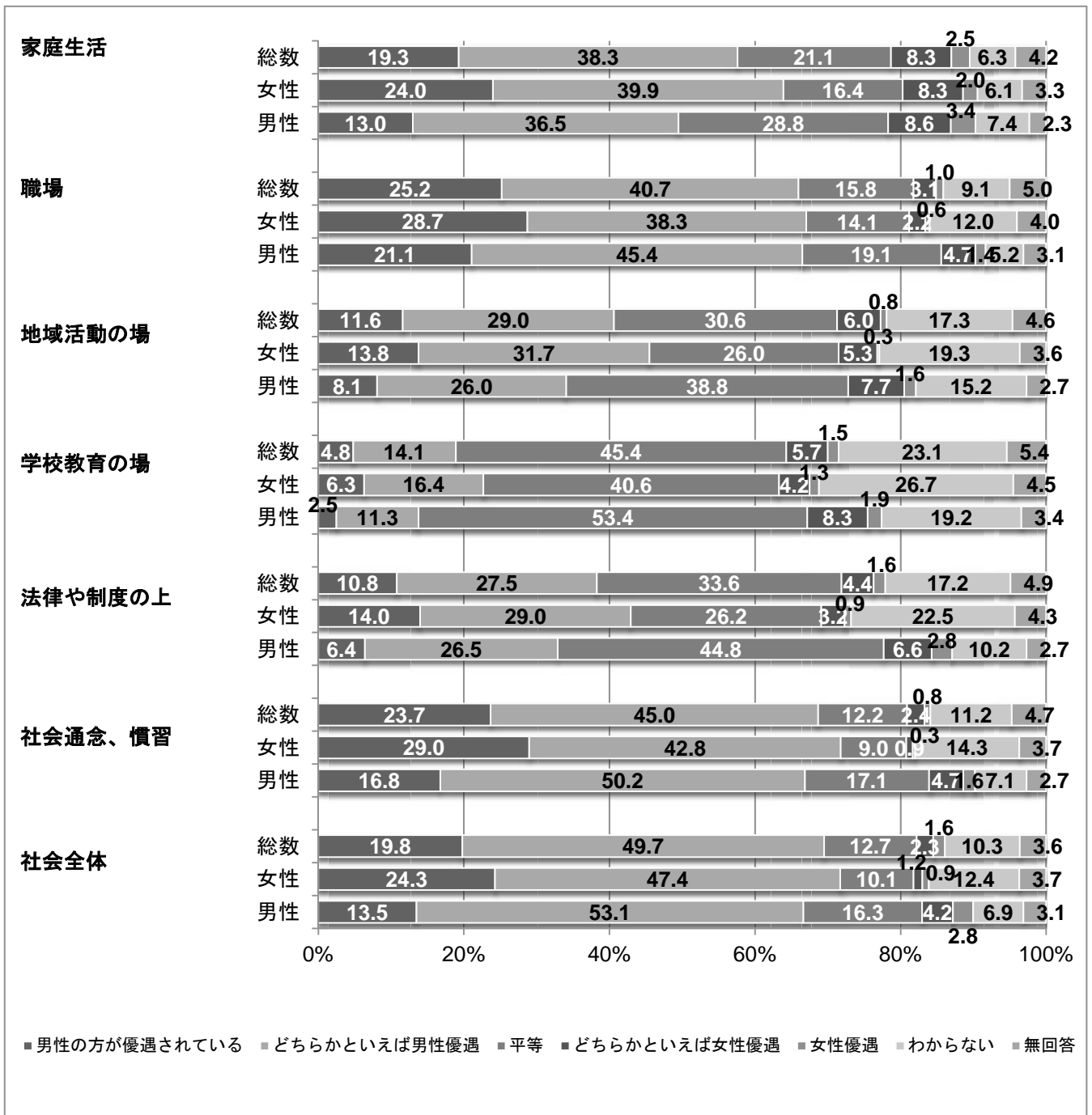
3つの設問について、「良くなったと思う」とする者の割合が、就労による経済的自立では14.1%（「良くなったと思う」2.5%+「どちらかといえば良くなったと思う」11.6%）、健康で豊かな生活のための時間の確保では14.5%（「良くなったと思う」2.5%+「どちらかといえば良くなったと思う」12.0%）、多様な働き方・生き方が選択できる社会では16.8%（「良くなったと思う」2.2%+「どちらかといえば良くなったと思う」14.6%）となっている。

国との比較



男女平等意識について

問 23 あなたは、次にあげる分野での男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれについて当てはまる数字を選んでください。



【全体】

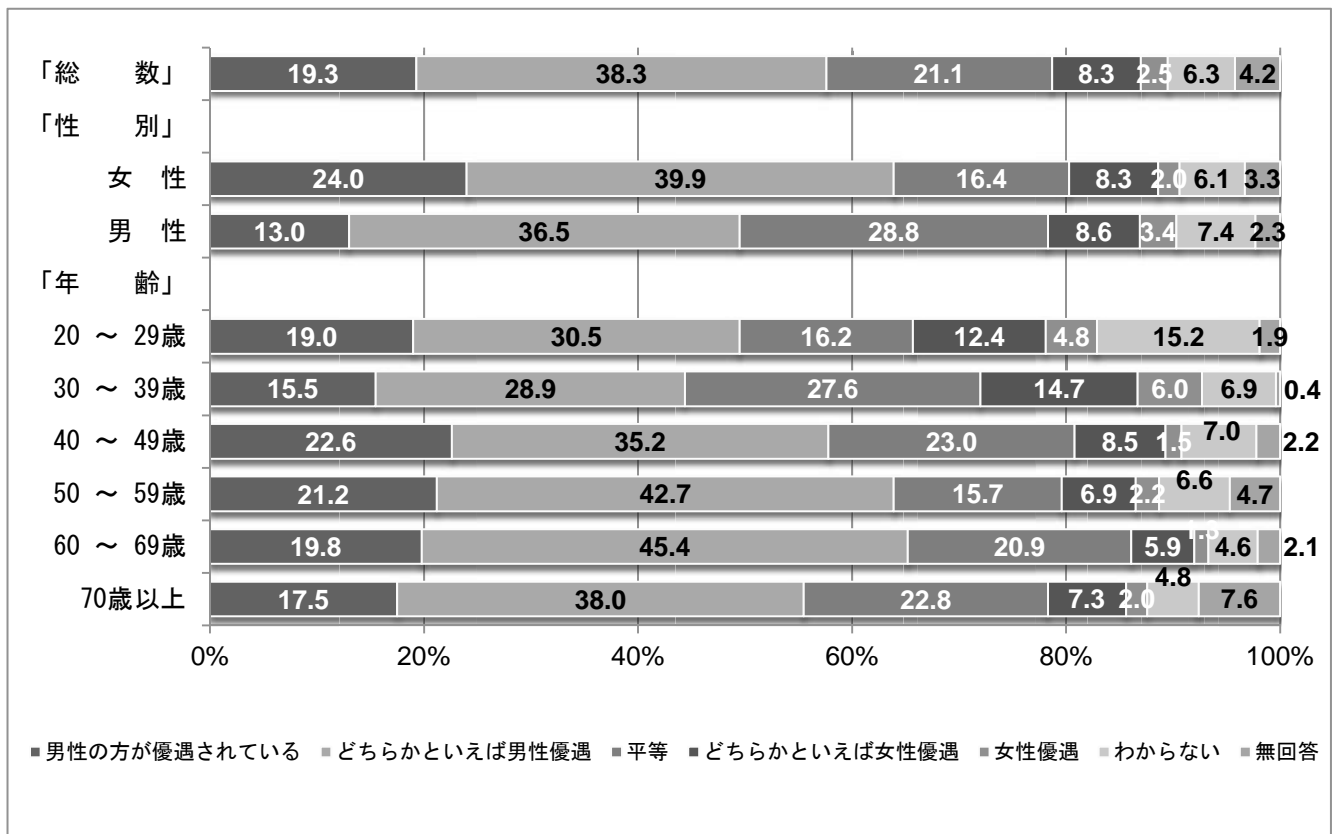
各分野における男女の平等意識に関して、「平等」だと思える人が多かったのは、「学校教育の場」(45.4%)、「法律や制度の上」(33.6%)、「地域活動の場」(30.6%)である。

一方、男性優遇(どちらかといえば男性優遇を含む)が多かったのは、「社会全体」(69.5%)、「社会通念・習慣」(68.7%)、「職場」(65.9%)であり、依然として性差別意識が残っていると言える。

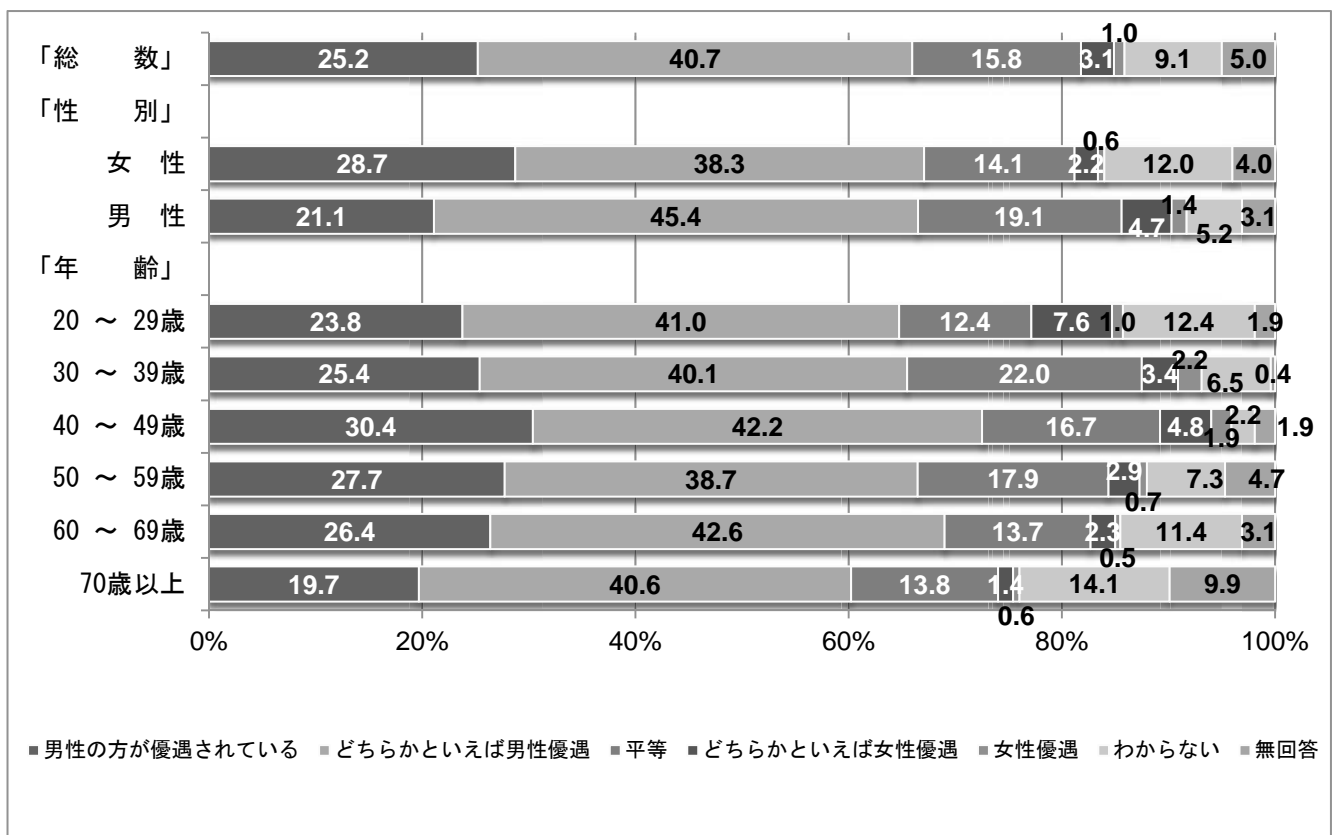
前回調査と比較して、「平等」だと思える人が増えたのは、「家庭生活」で3.6ポイント、「社会通念・習慣」で2.9ポイント、「社会全体」で2.6ポイント、「職場」で2.1ポイントとなっている。

一方、平等だと思える人が減ったのは、「学校教育の場」で△2.8ポイント、「地域活動の場」で△2.4ポイントとなっている。

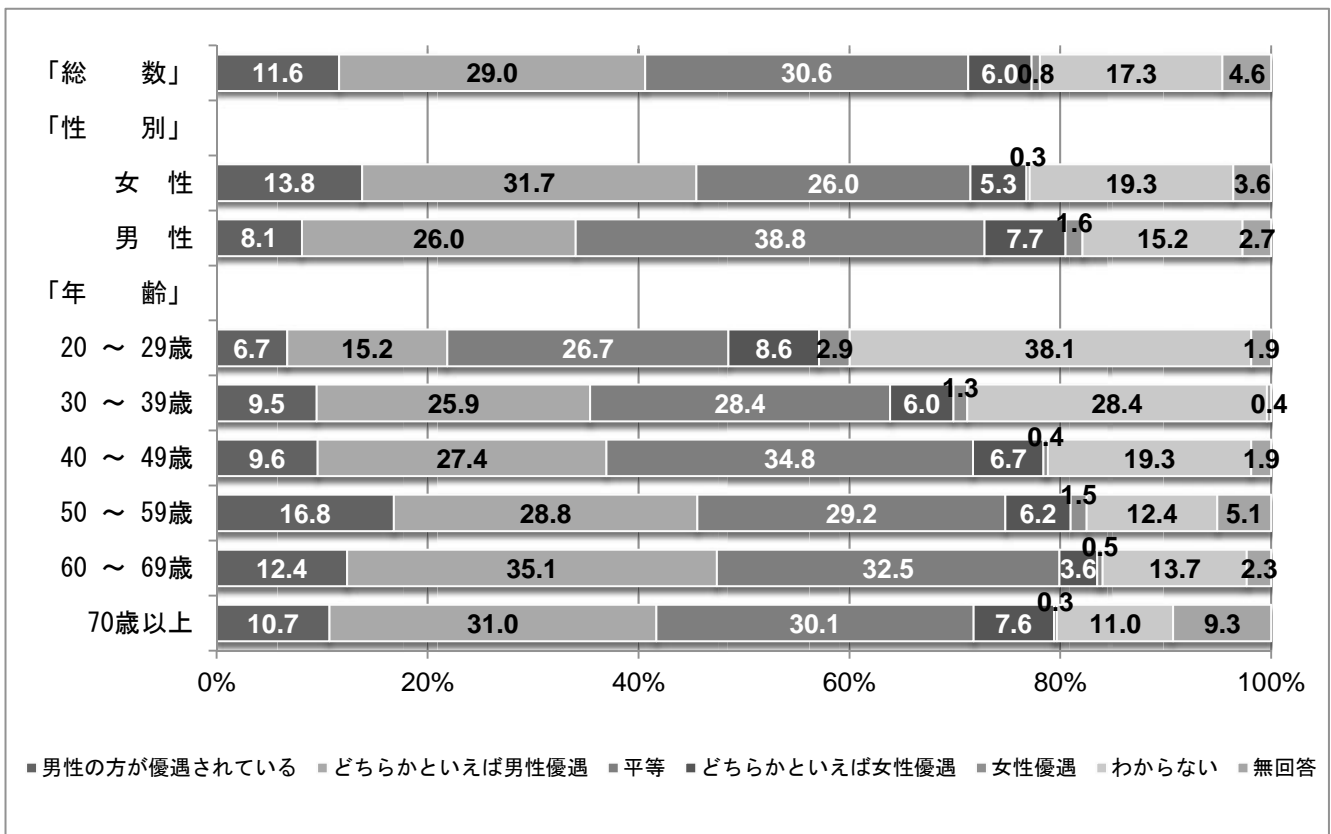
(1) 家庭生活



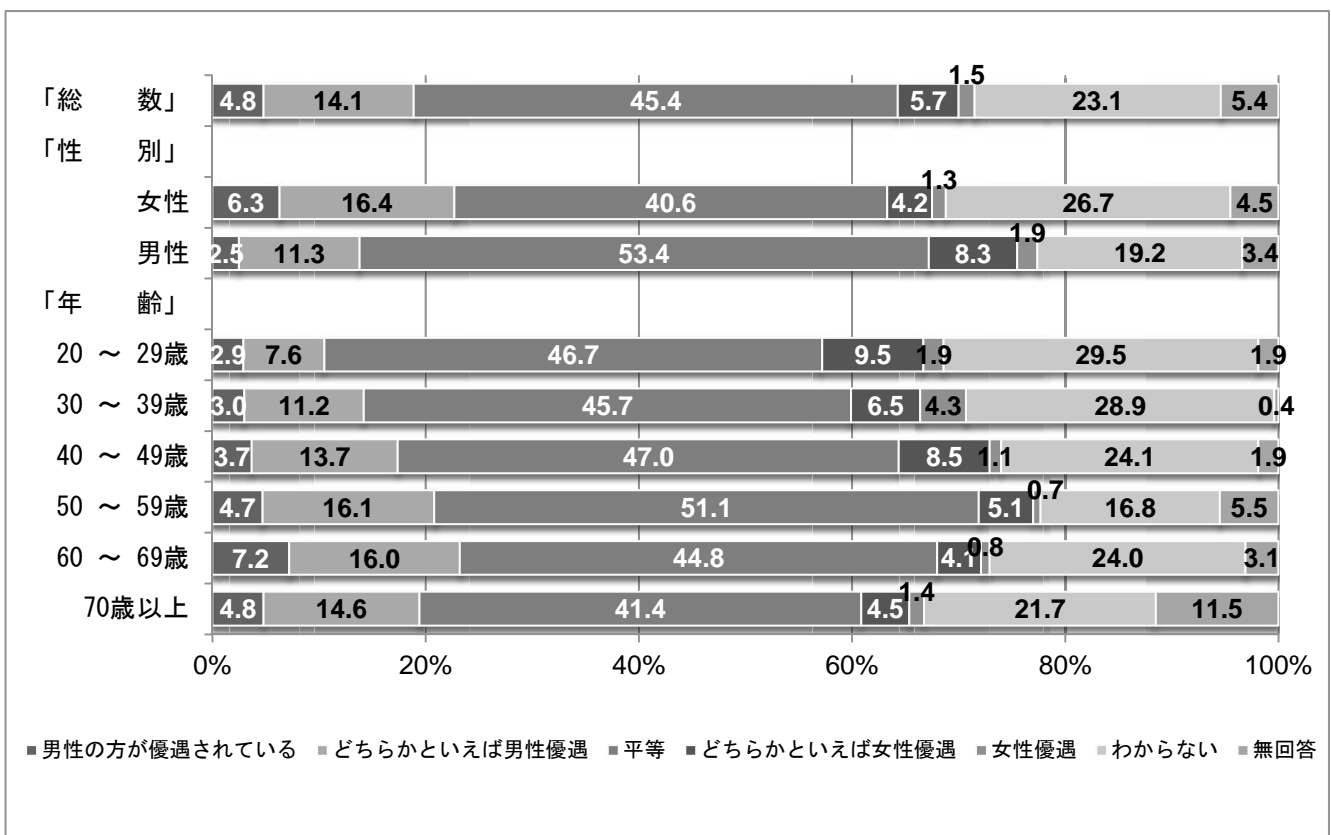
(2) 職場



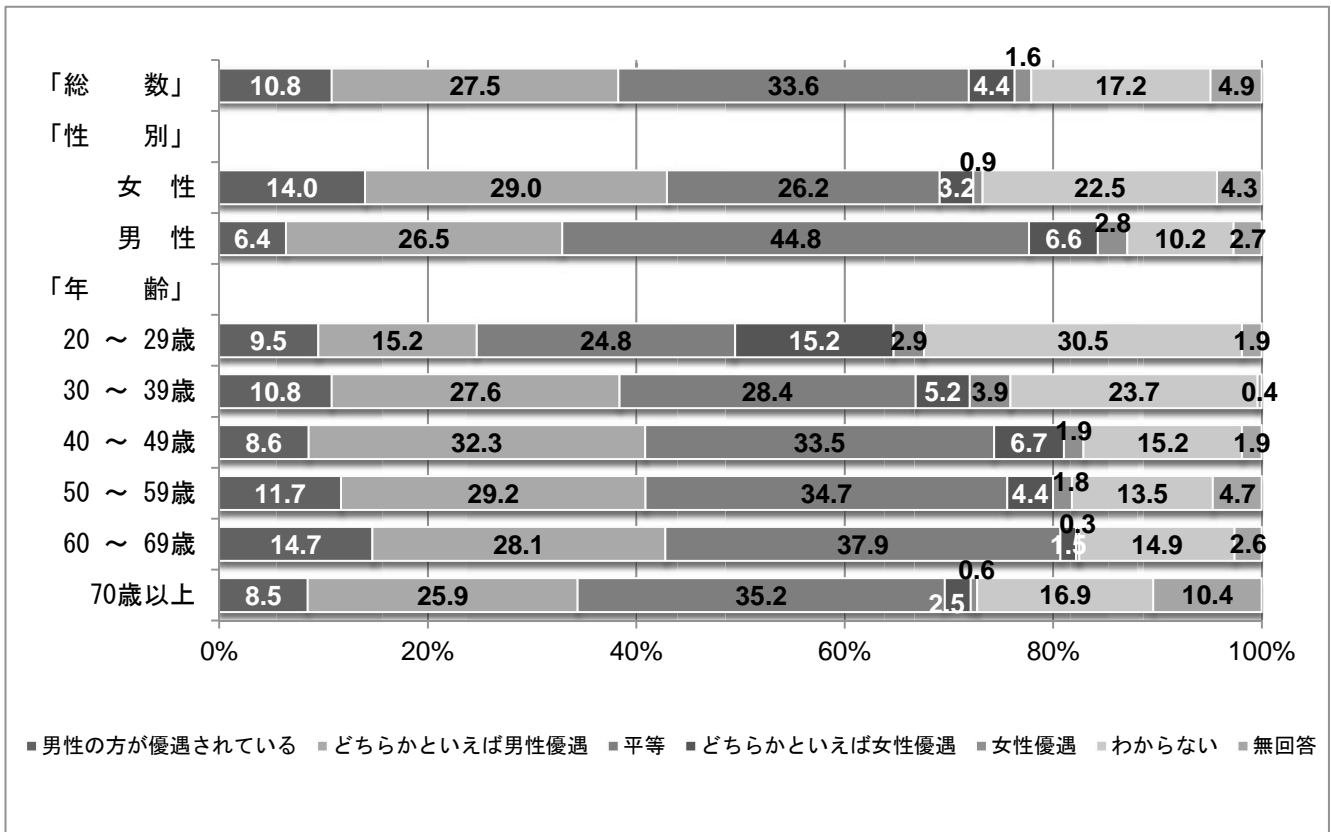
(3) 地域活動の場



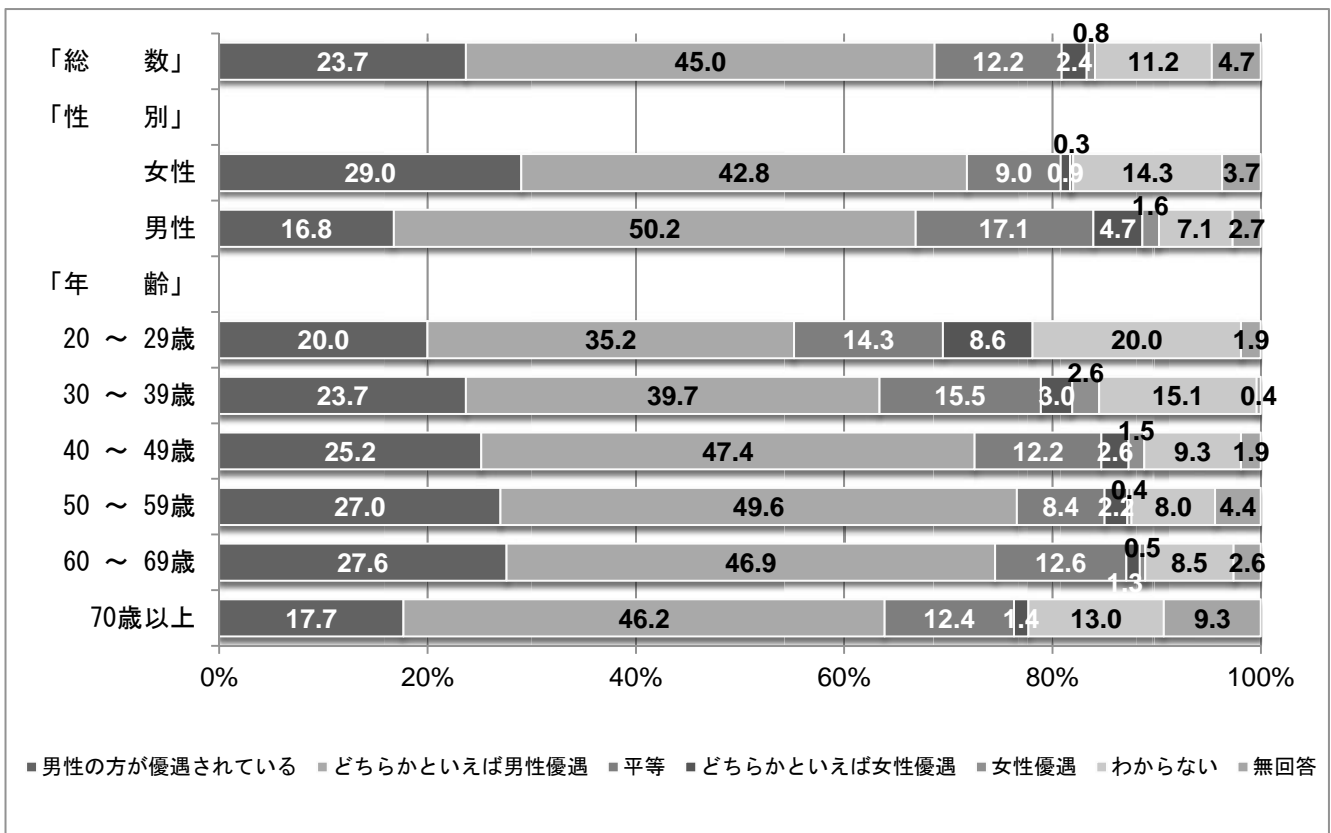
(4) 学校教育の場



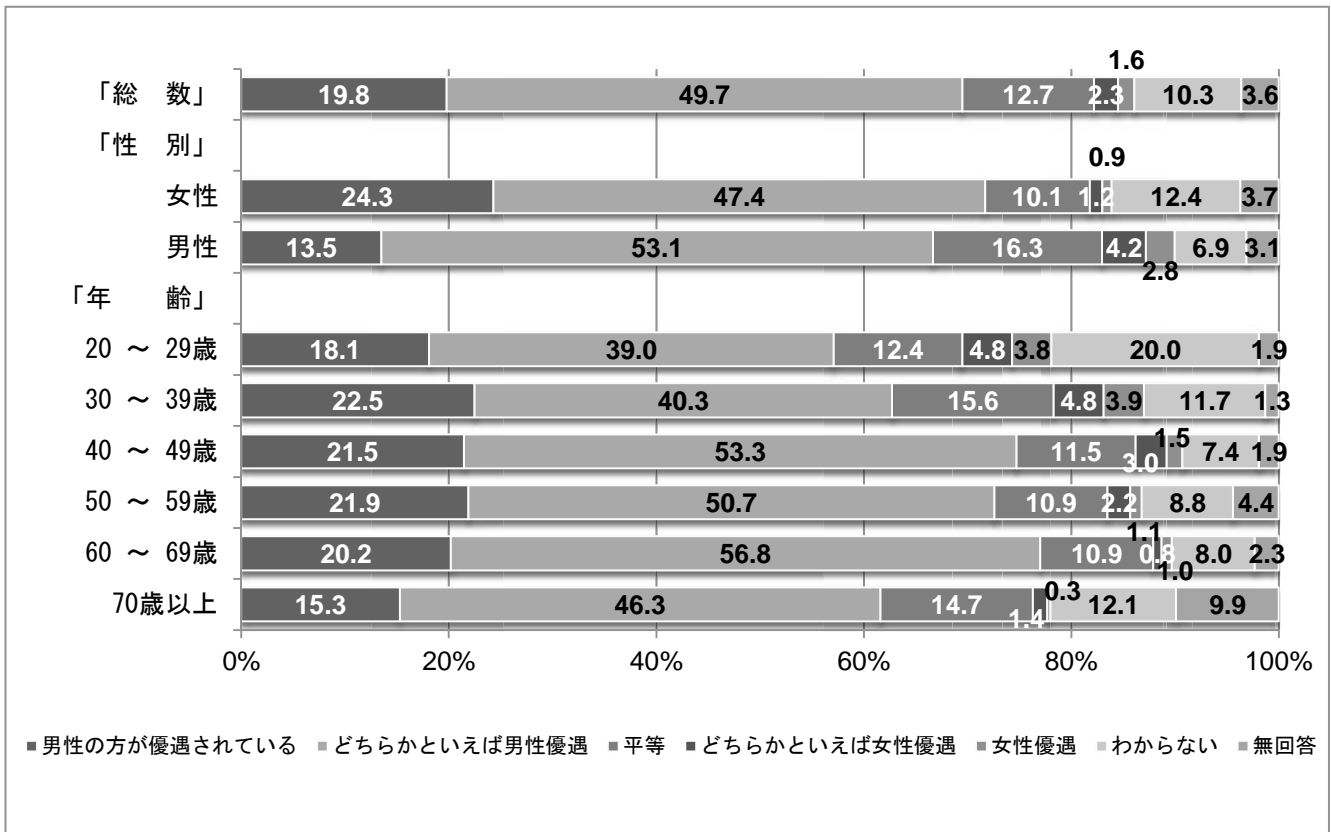
(5) 法律や制度の上



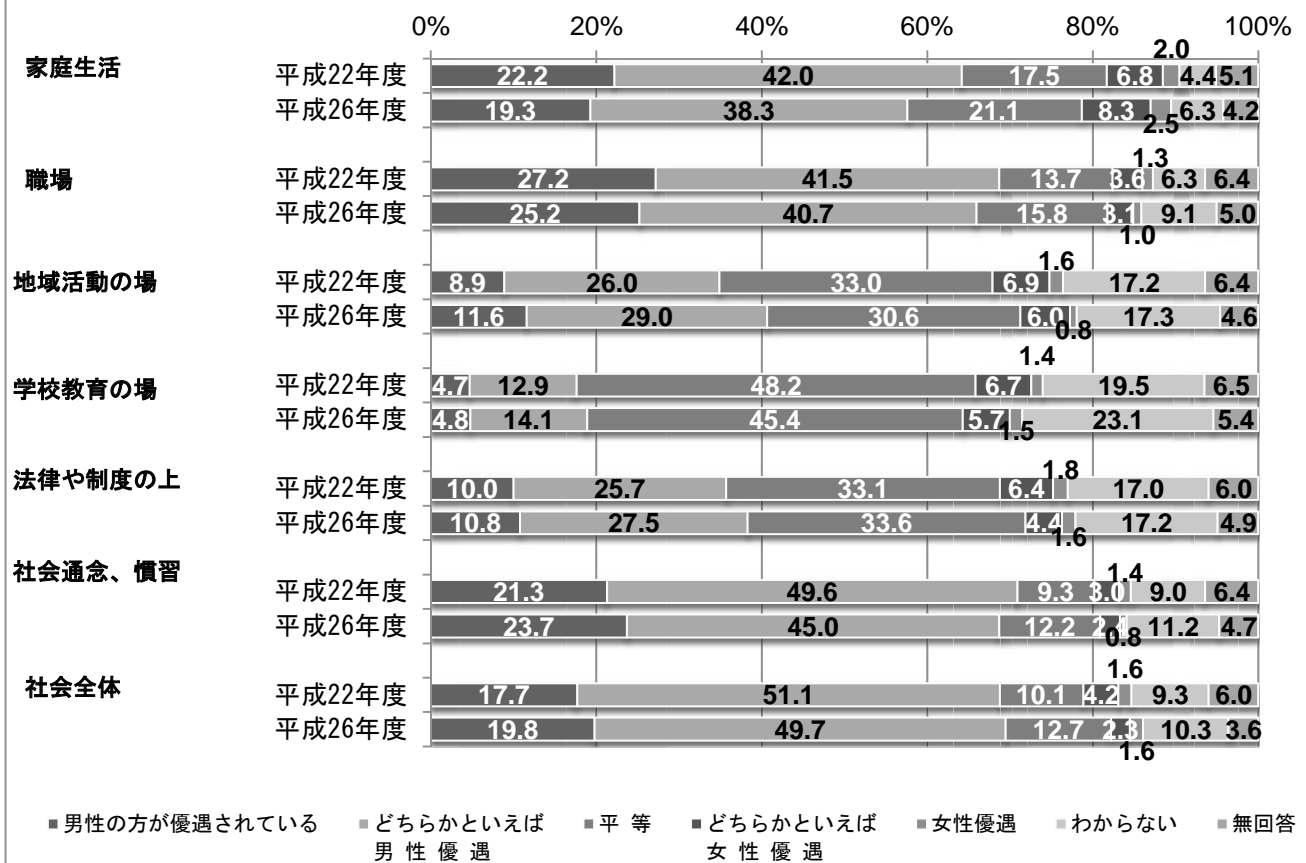
(6) 社会通念、慣習



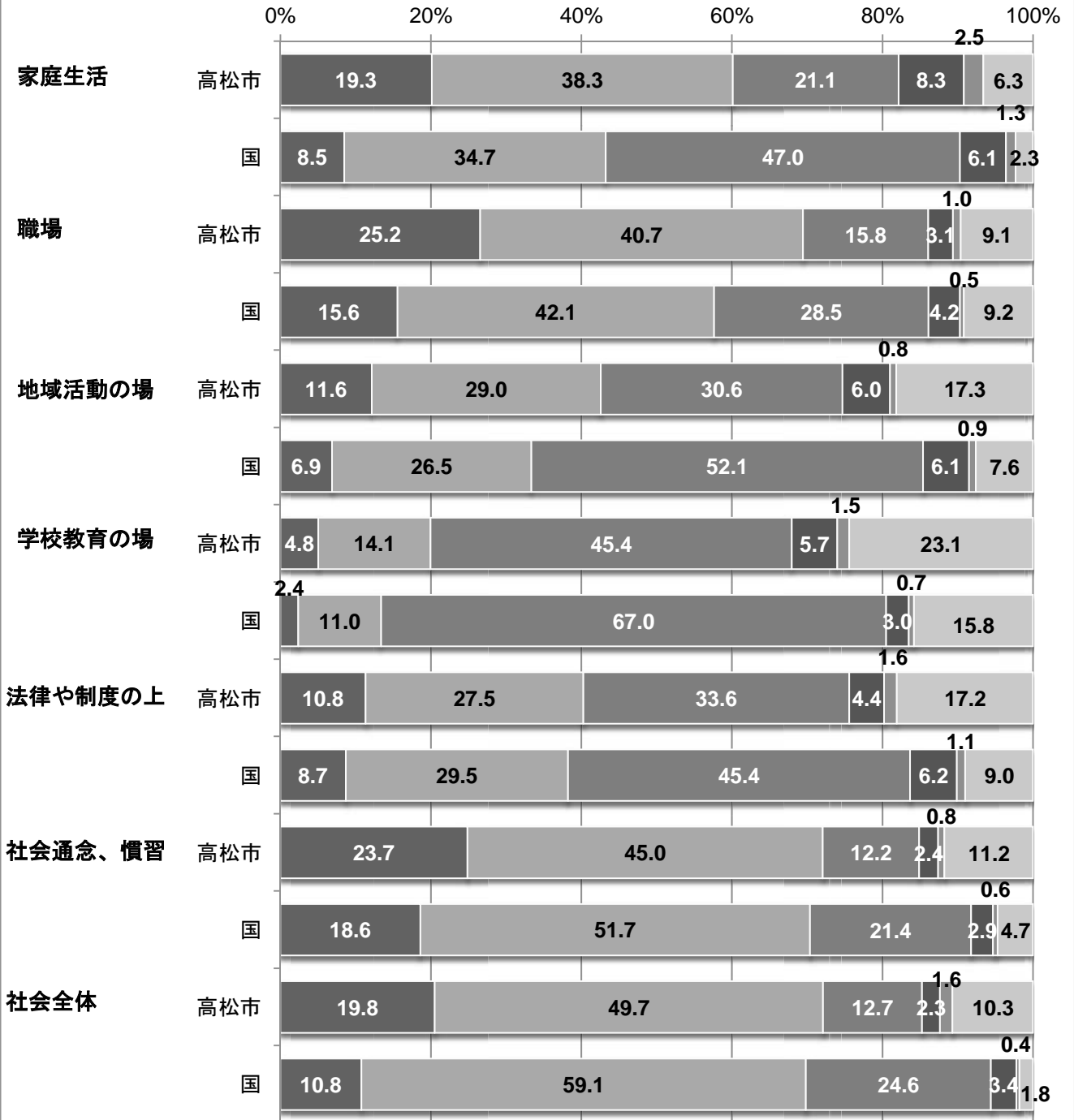
(7) 社会全体



前回調査（平成22年度）との比較

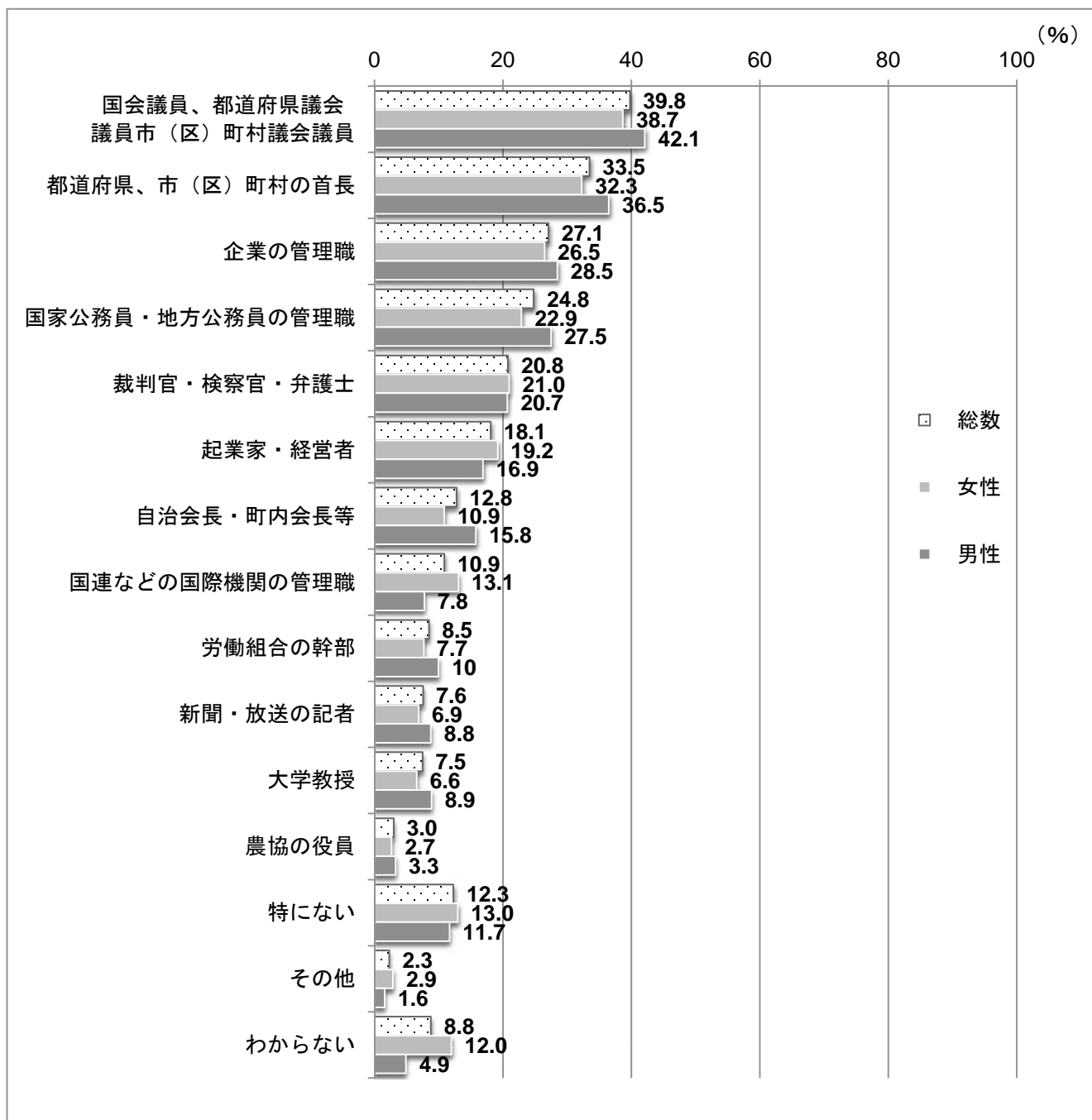


国との比較



■ 男性の方が優遇されている ■ どちらかといえば男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかといえば女性優遇 ■ 女性優遇 ■ わからない

問 24 次にあげるような職場や役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。



○その他意見

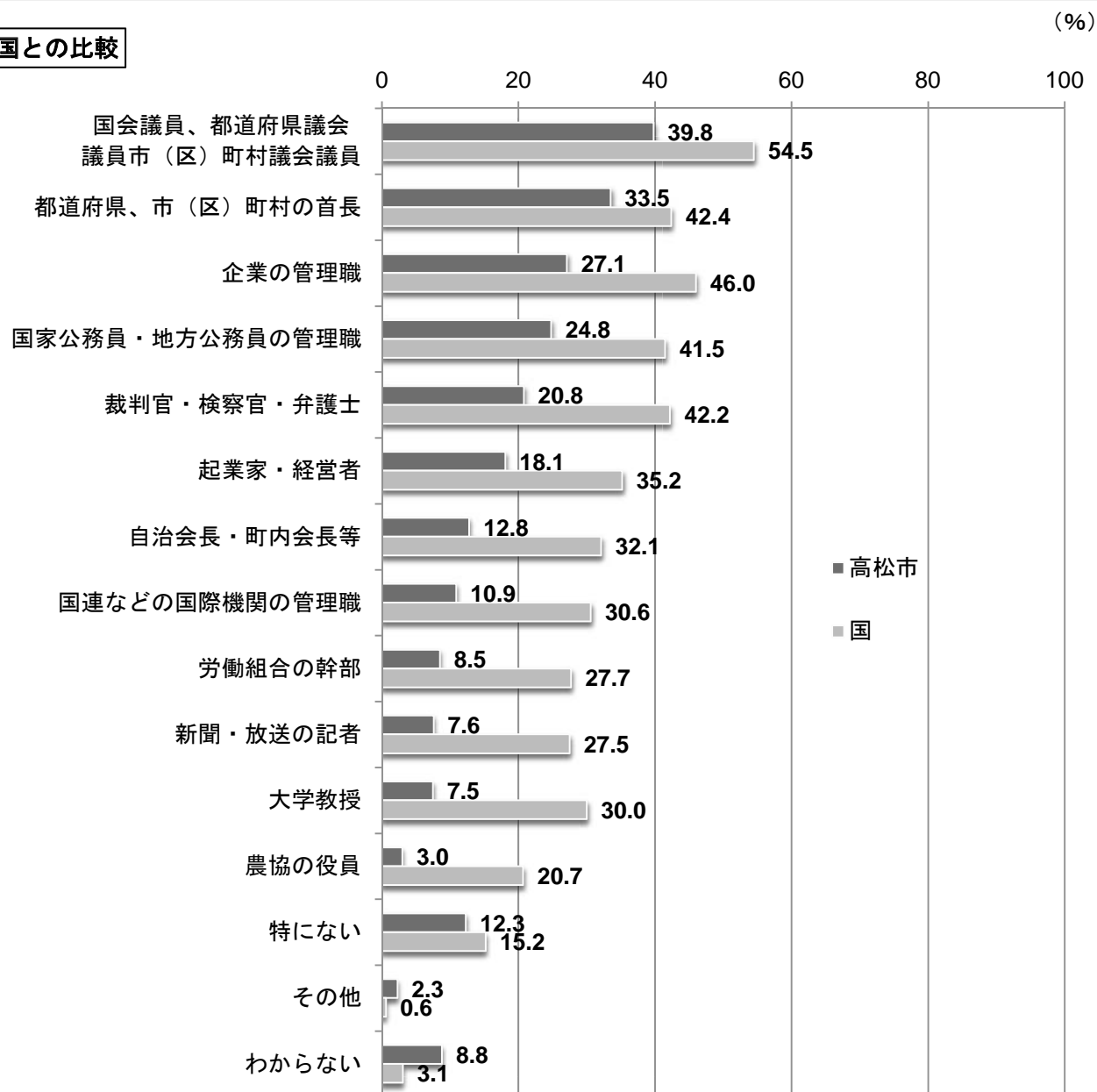
- 1 女性ばかりが優遇されるのもどうかと思う。男から見た今の女性進出の社会には偏りを感じる。
- 2 能力と意識があれば全て可
- 3 能力のある人がなればと思う
- 4 全ての場で女性が増えるべきだと思います。
- 5 警察、消防などの公安職
- 6 女性は役職につかない方がよいと思う
- 7 女性を増やすということではなく、能力があるのに女性であるという理由だけで登用されないことが問題。どんな分野でも活躍している女性は現にいるし、増えればよいということはいくつもわからない。

- 8 女性が男性がというより人ではないでしょうか。適材適所。
- 9 女性が管理職等になると子供をますます産まないの人口が増えない、老人ばかりになる
- 10 内閣総理大臣
- 11 どの職業においても自分のやりたい事ができるようにしてほしい
- 12 自分がやりたい仕事につけばどの職業が増えようが関係ないと思う。

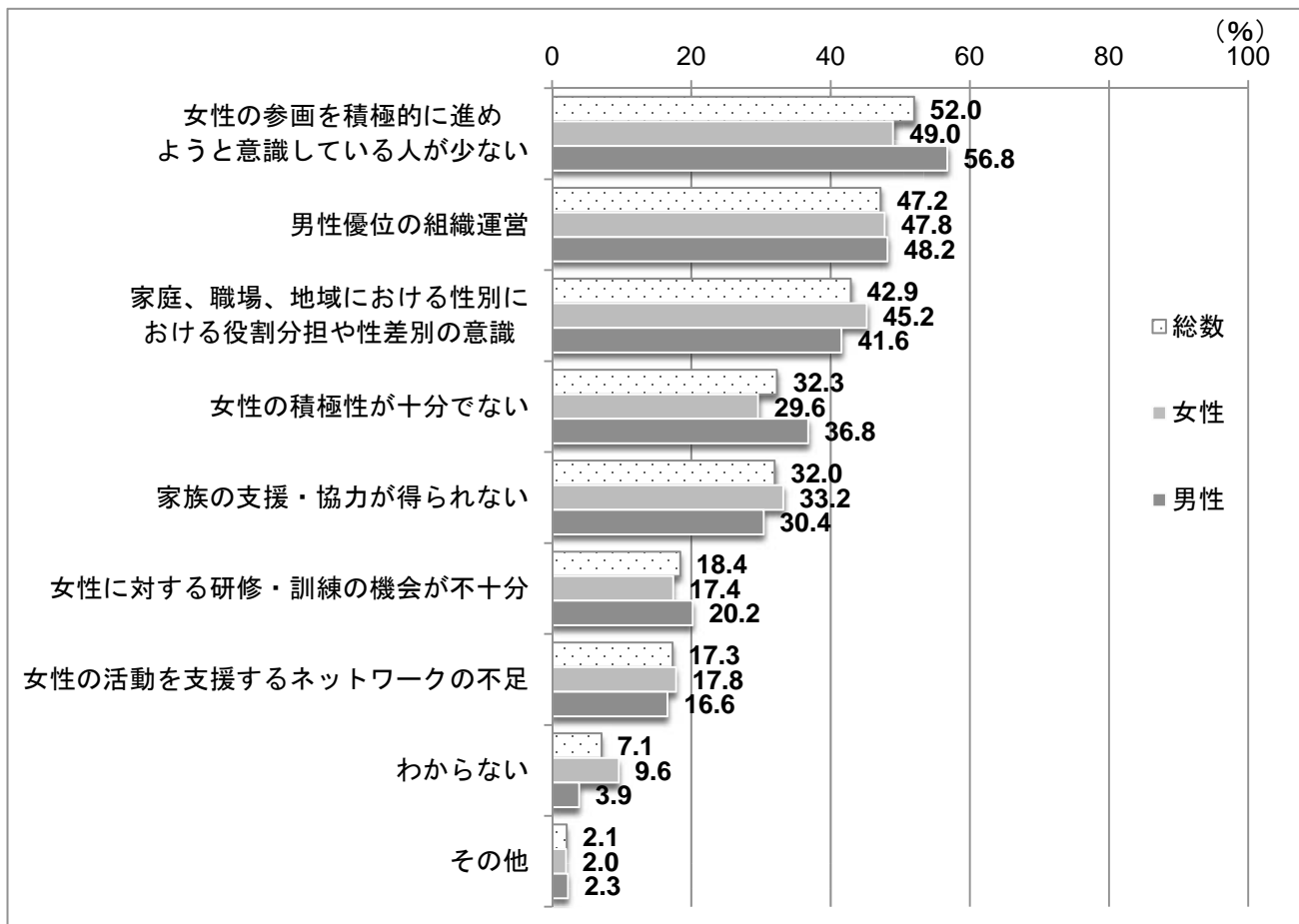
【全体】

女性が増える方がよいと思う職場や役職のうち、回答が多いのは、「国会議員、都道府県議会議員市（区）町村議会議員」（39.8%）、「都道府県、市（区）町村の首長」（33.5%）、「企業の管理職」（27.1%）、「国家公務員・地方公務員の管理職」（24.8%）などとなっている。

国との比較



問 25 政治や行政、地域、職場などにおいて、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ないといわれていますが、あなたはその理由は何だと思えますか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。



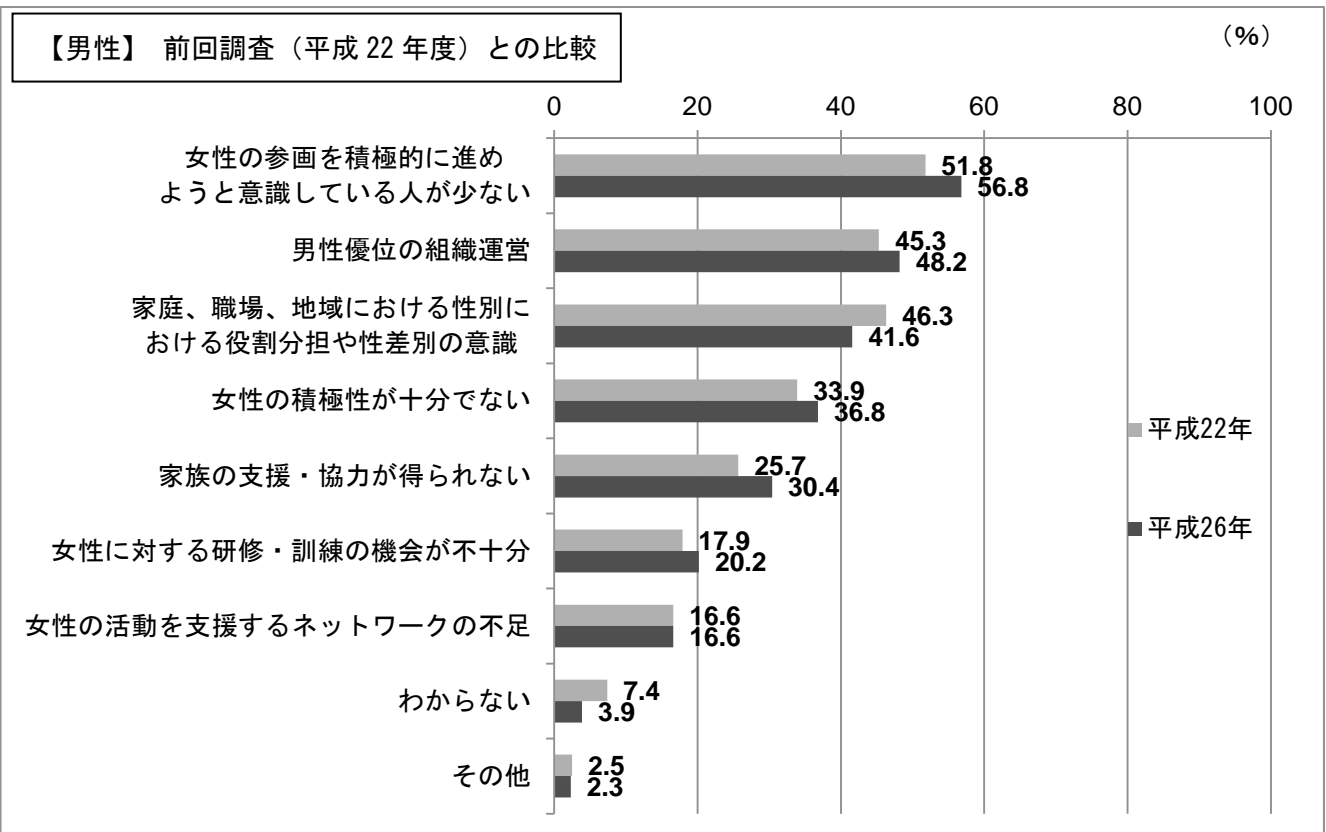
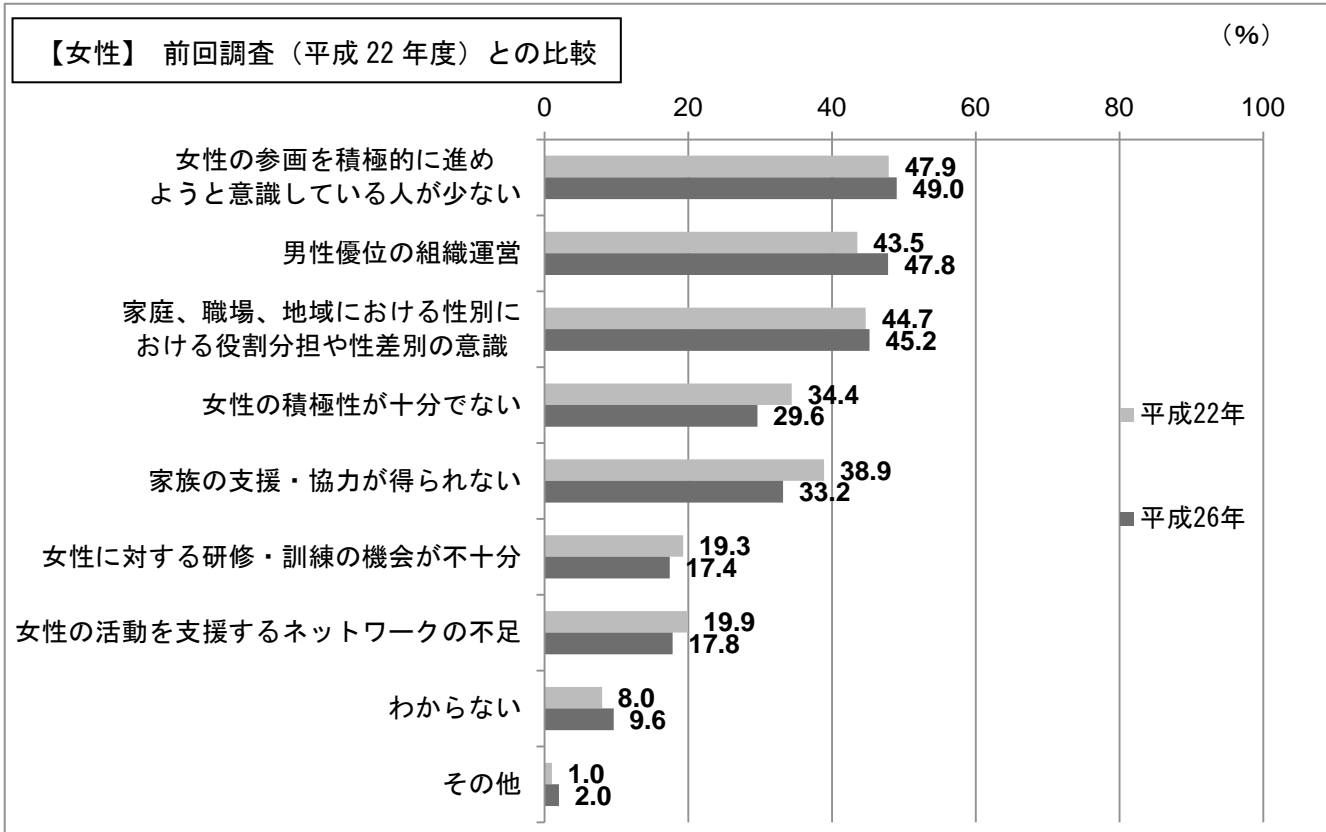
○その他意見

- 1 そもそも政治家を志す女性が少ないのでは・・・
- 2 女性は子育て等で参画する時間がない
- 3 好き嫌いが激しいなど問題がある。
- 4 男女の体、能力が違うから
- 5 まだまだ女性管理職が少ないから
- 6 女性は本来男性と同等のものを持ち合わせていないと思うから
- 7 男性の方が向いている職業だから
- 8 堅い話題に興味をもたない女性が多い。
- 9 家の中のこともしなくてはならない為、仕事に重点・比重を置きづらい
- 10 参画を希む女性は少ないのでは？
- 11 政府の口だけによる無政策

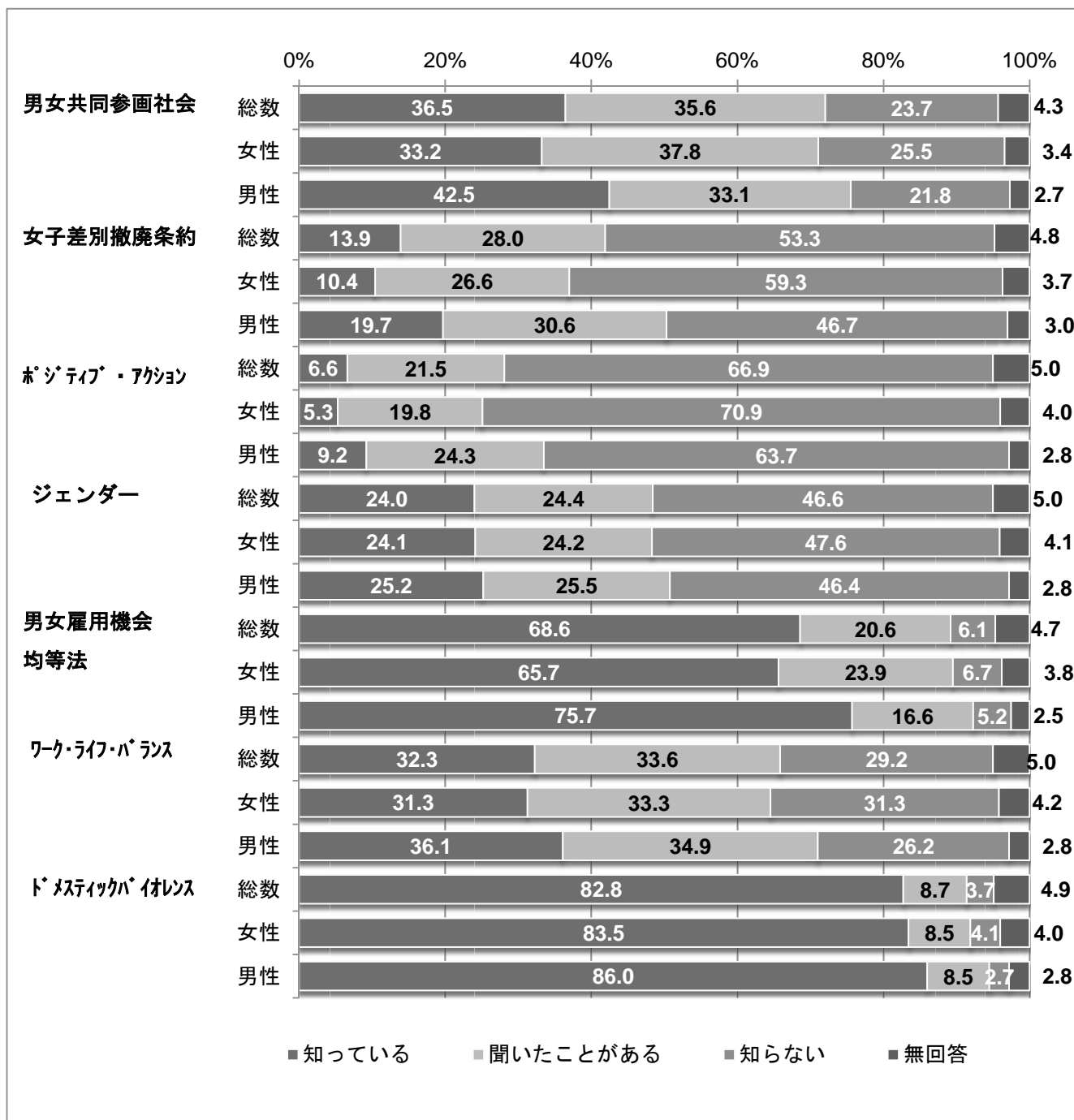
【全体】

女性の参画が少ない理由のうち、回答が多かったのは、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」（52.0%）、「男性優位の組織運営」（47.2%）、「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識」（42.9%）などとなっている。

前回調査と比較して、変化が大きかったのは、女性では、「家族の支援・協力が得られない」が△5.7ポイント、男性では、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」が5.0ポイント増加している。



問 26 あなたは、男女平等に関する次のことについてご存知ですか。それぞれについて当てはまる数字を選んでください。



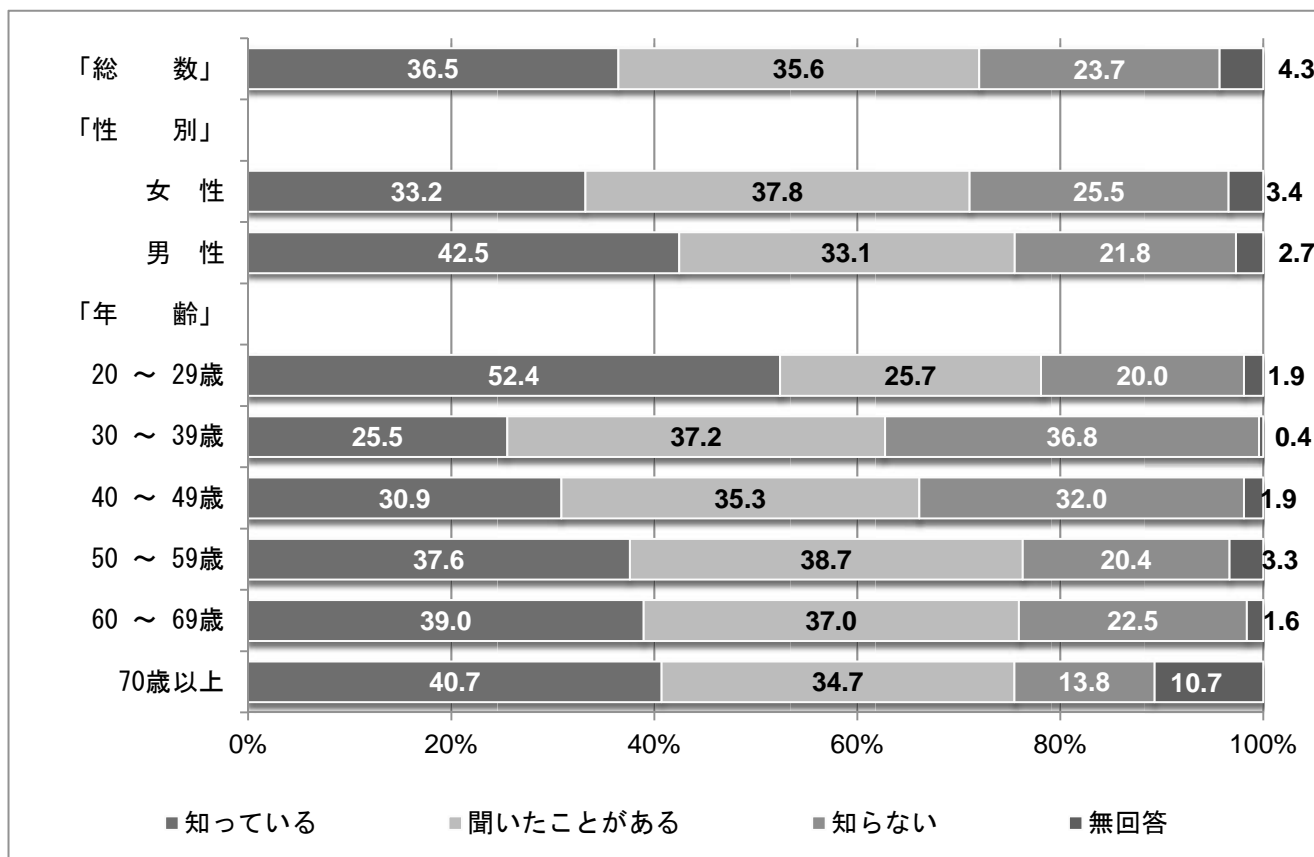
【全体】

男女平等に関する事柄のうち、「知っている」と回答が多かったのは、「ドメスティックバイオレンス」（82.8%）、「男女雇用機会均等法」（68.6%）などとなっている。

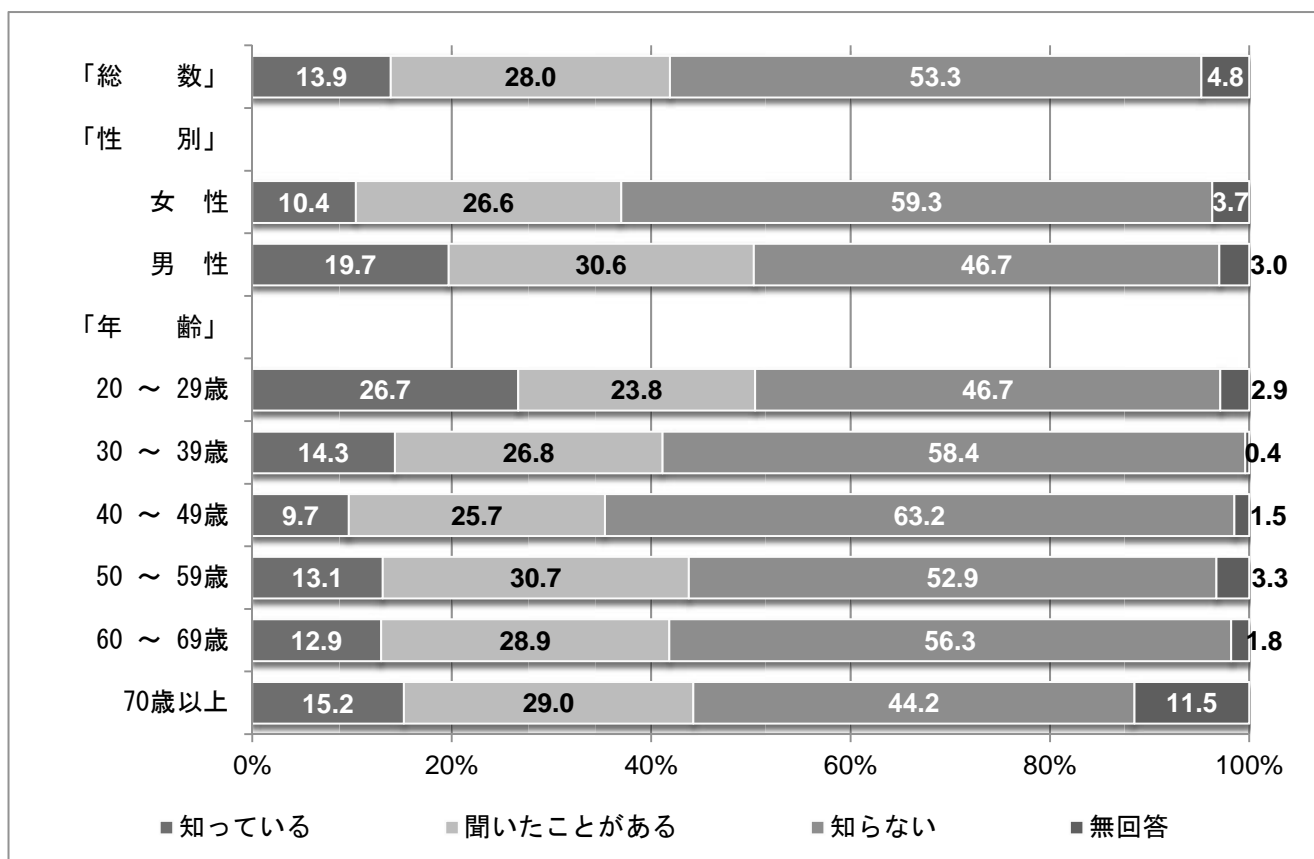
一方、「知らない」と回答が多かったのは、「ポジティブ・アクション」（66.9%）、「女子差別撤廃条約」（53.3%）、「ジェンダー」（46.6%）などとなっている。

年齢別に見てみると、総じて、若い人の方が認知度は高いことがわかる。特に、20代の「男女共同参画」（52.4%）、「ジェンダー」（49.5%）の認知度は、他の年齢区分と比較して突出して高くなっている。

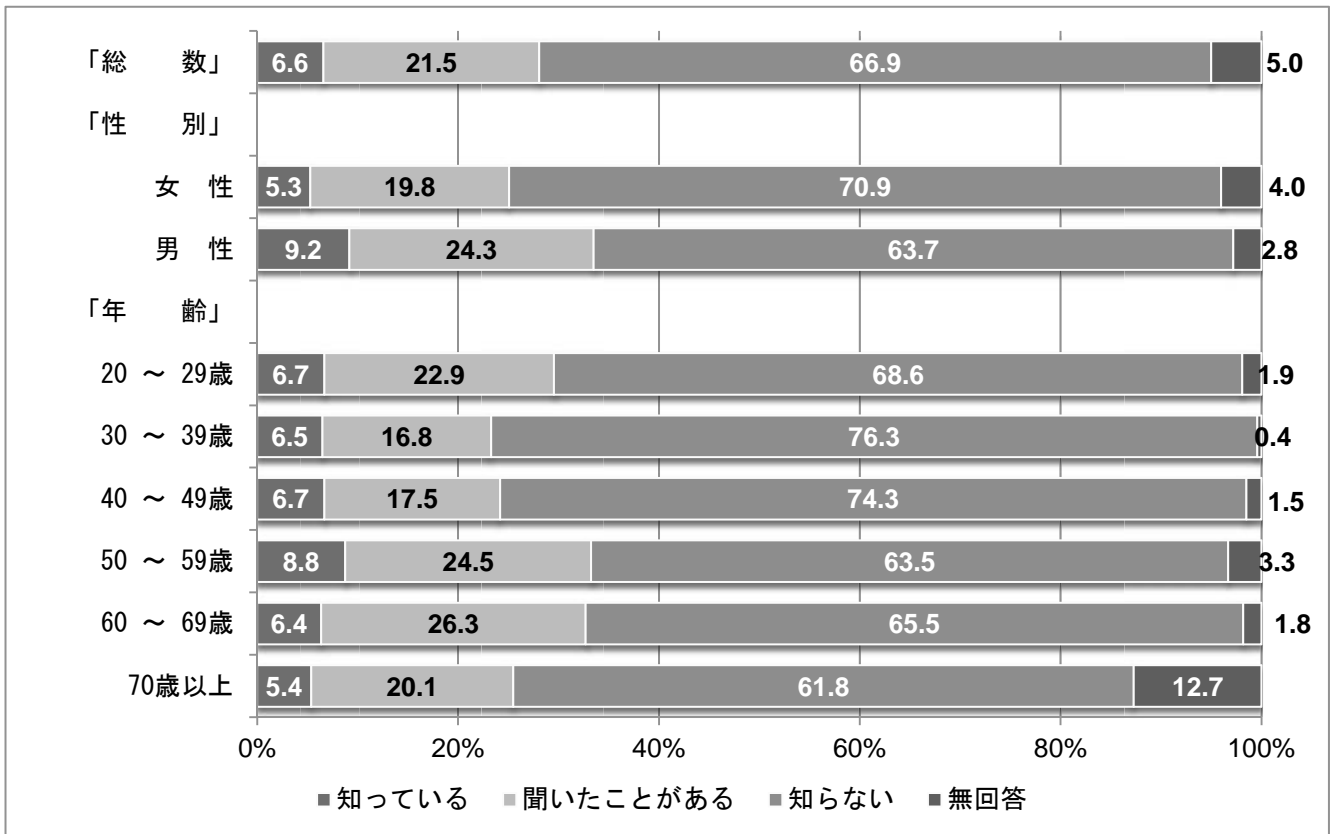
(1) 男女共同参画社会



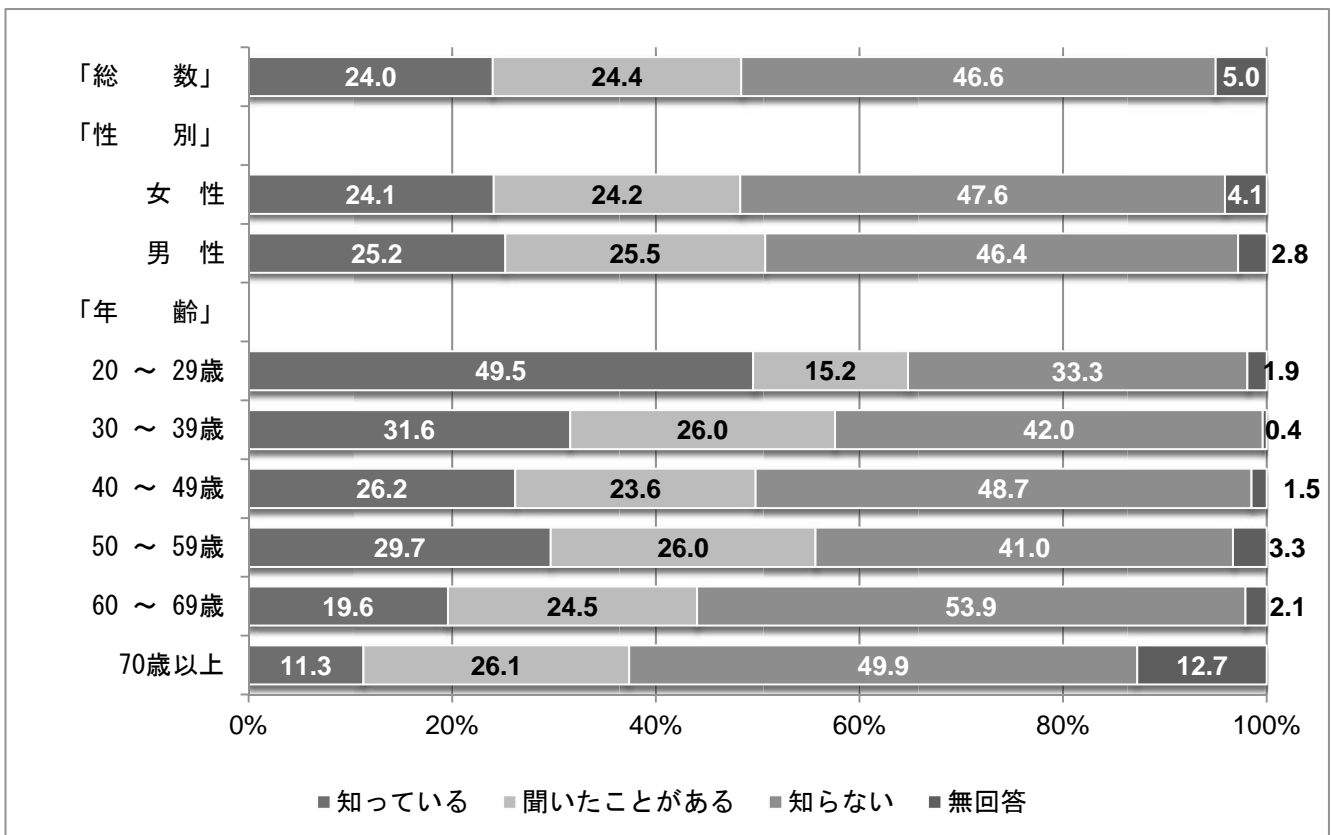
(2) 女子差別撤廃条約



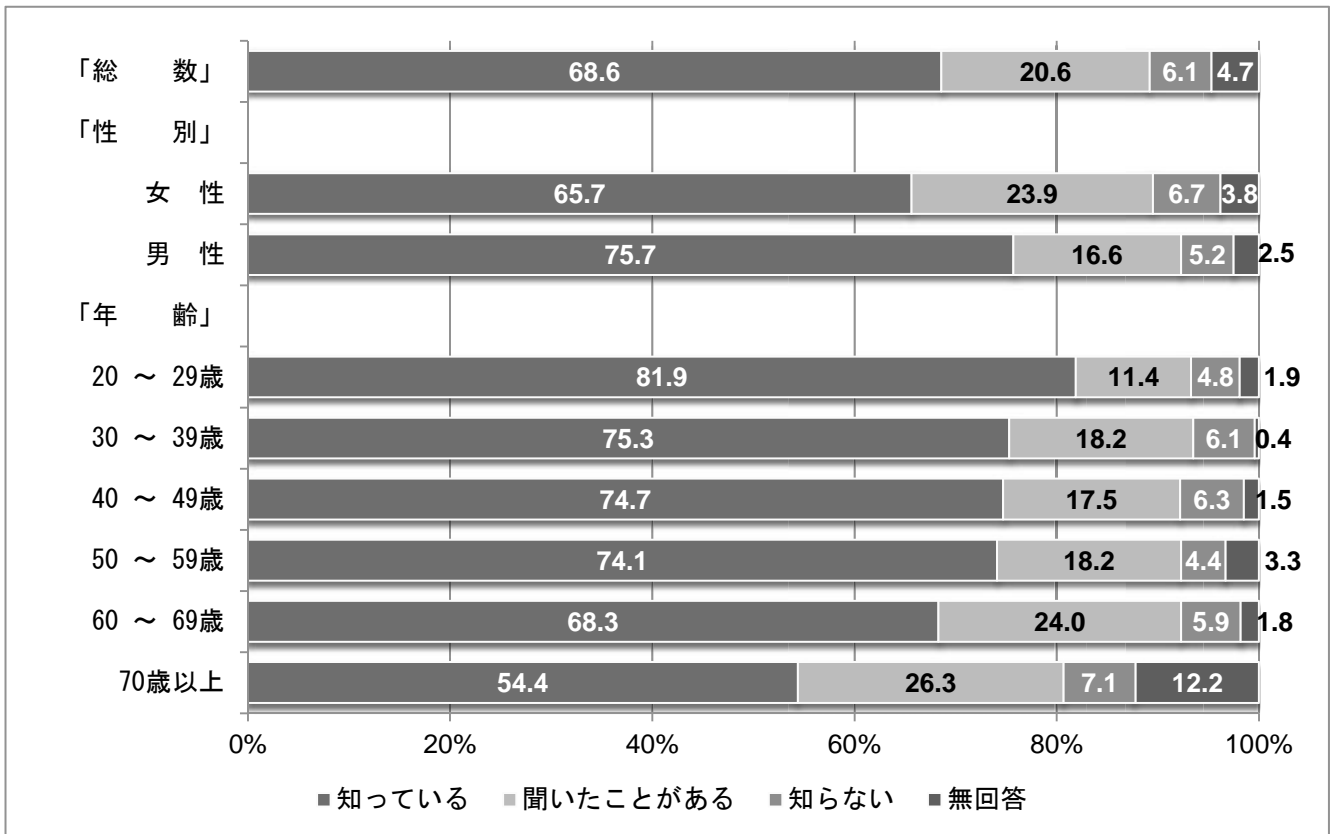
(3) ポジティブ・アクション（積極的改善措置）



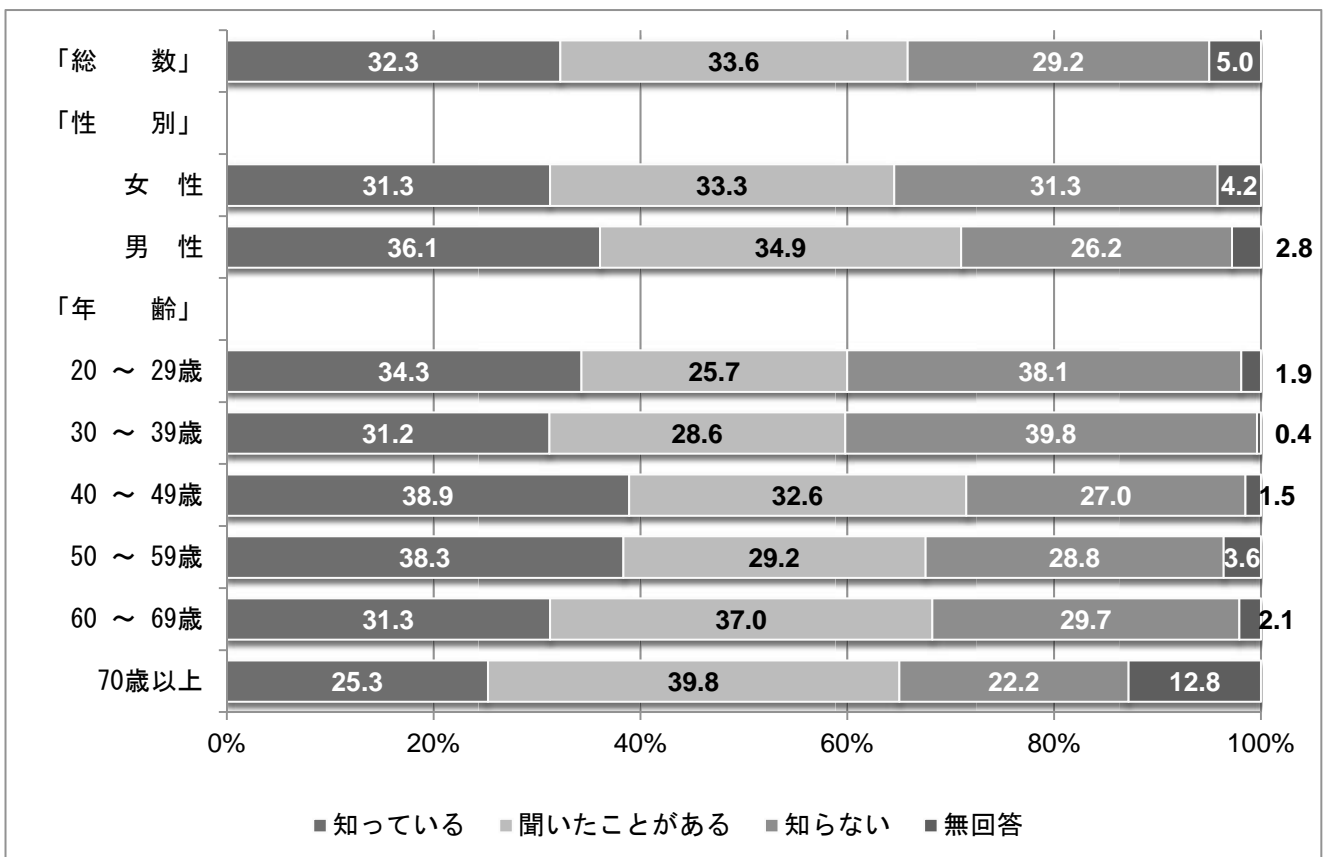
(4) ジェンダー（社会的差別）



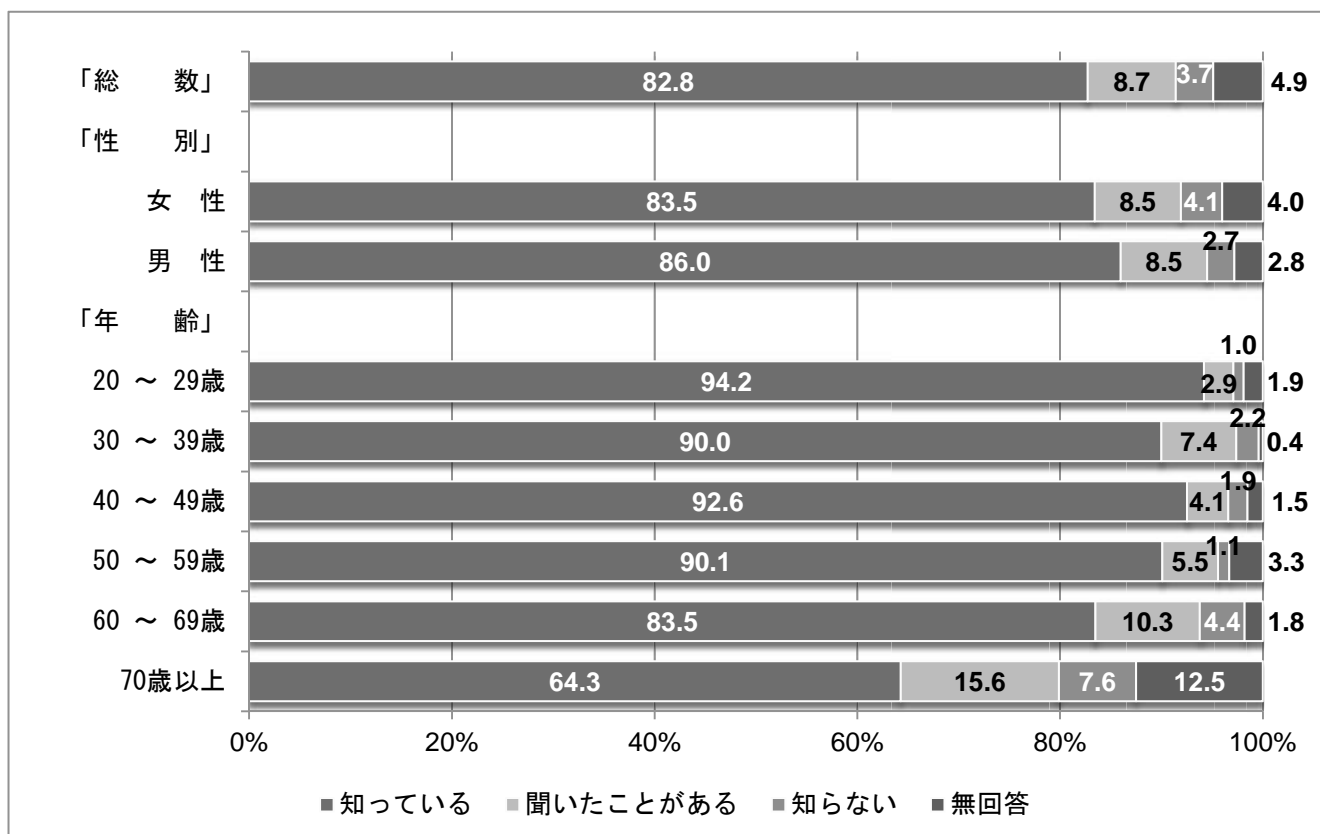
(5) 男女雇用機会均等法



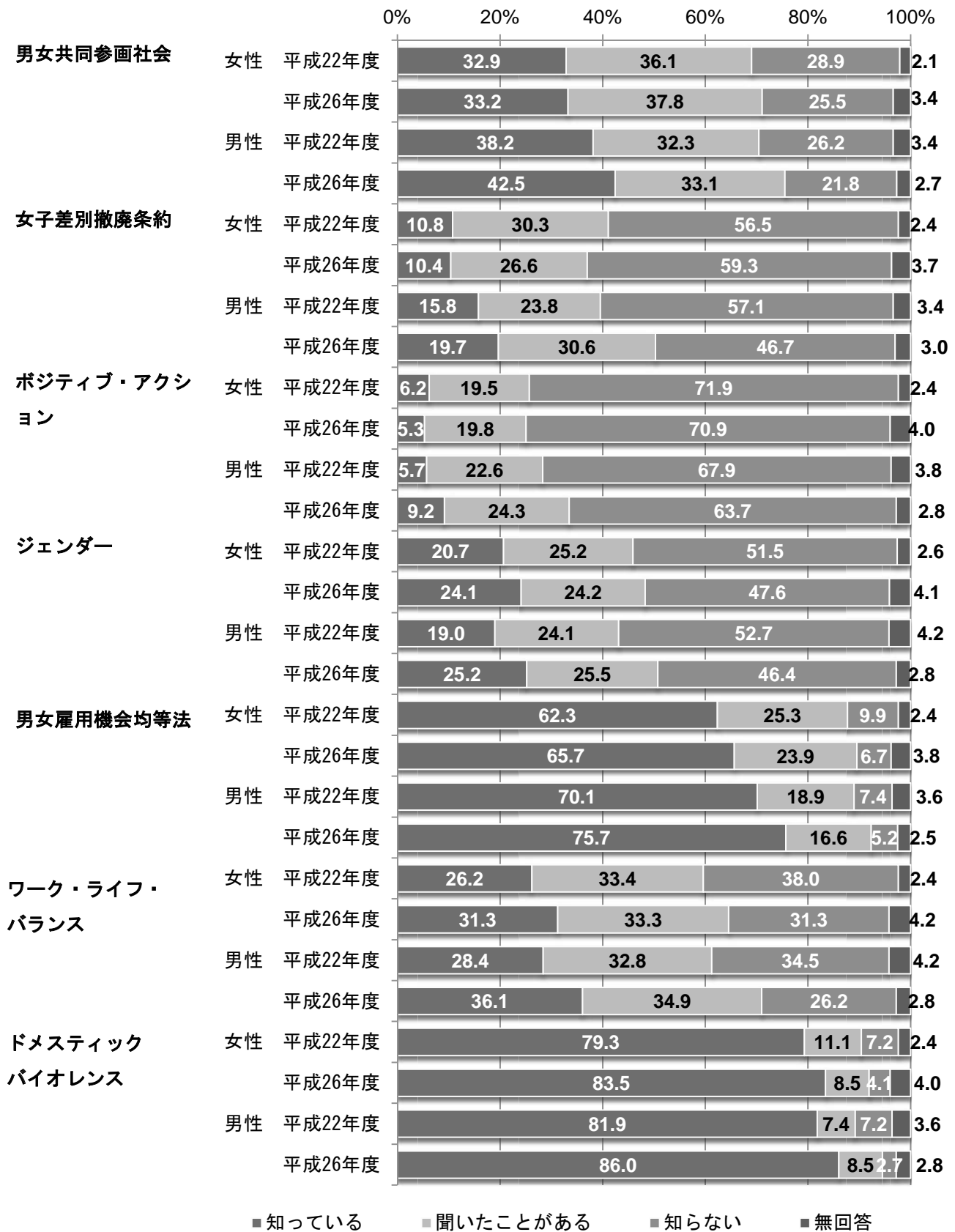
(6) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）



(7) ドメスティックバイオレンス (DV・配偶者からの暴力)

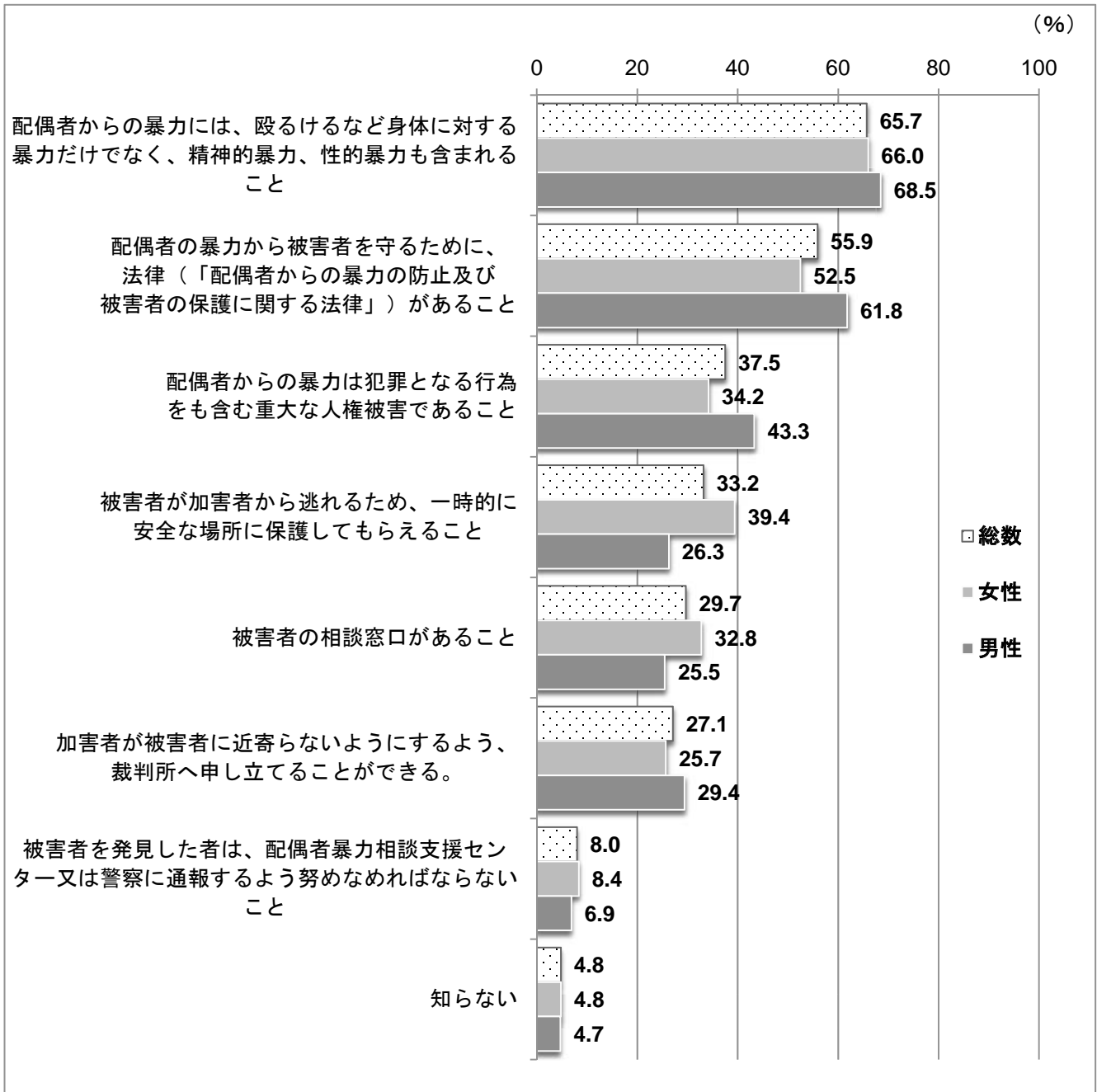


前回調査（平成22年度）との比較



男女間における暴力等について

問 27 あなたは、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関して、次のことを知っていますか。
 ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含まれます。
 特によく知っているものを3つまで選んでください。



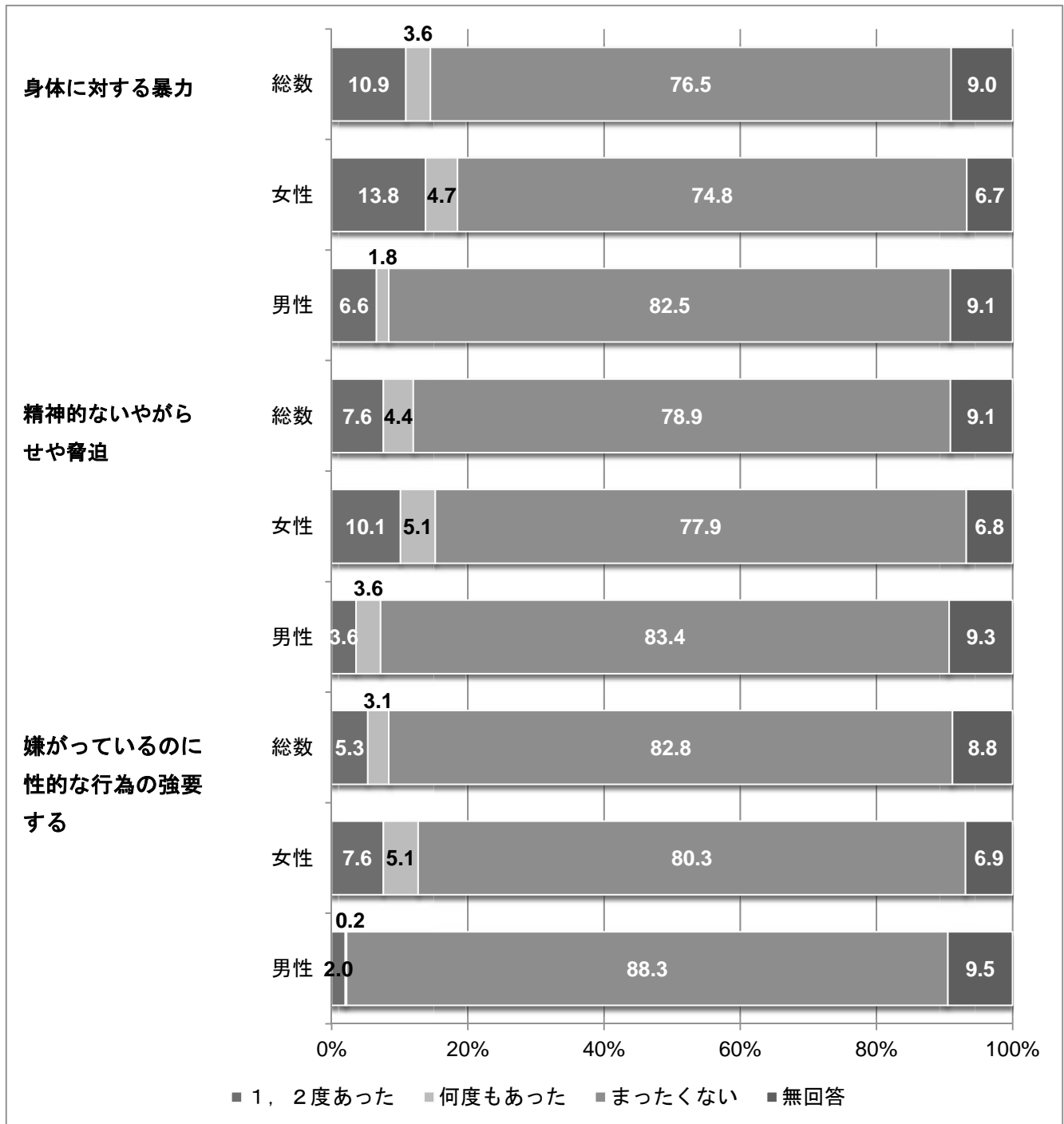
【全体】

暴力の防止及び被害者の保護に関する事柄のうち、「よく知っているもの」を複数回答で聞いたところ、回答が多かったのは、「暴力には、身体に対する暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力も含まれること」（65.7%）、「暴力から被害者を守るために法律があること」（55.9%）、「配偶者からの暴力は犯罪となる行為を含む重大な人権侵害であること」（37.5%）、「一時的に安全な場所に保護してもらえること」（33.2%）、「相談窓口があること」（29.7%）などの順となっている。

実際に事案が発生した場合の、相談窓口や保護施設が存在があまり知られていないことが分かる。

これまでに結婚したことのある方（内縁を含む）のみお答えください。その他の方は問 28 へ進んでください。

問 28 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。次のそれぞれについて当てはまる数字を選んでください。

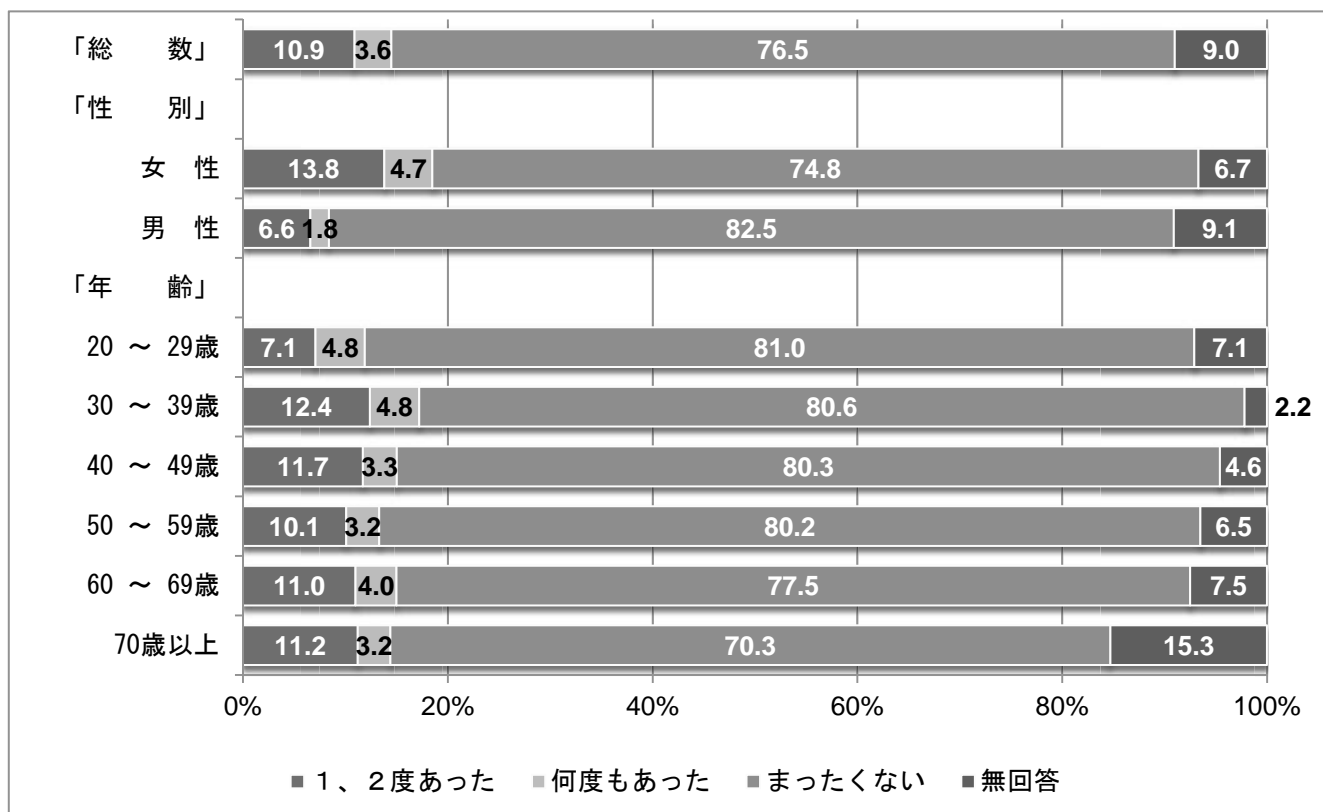


【全体】

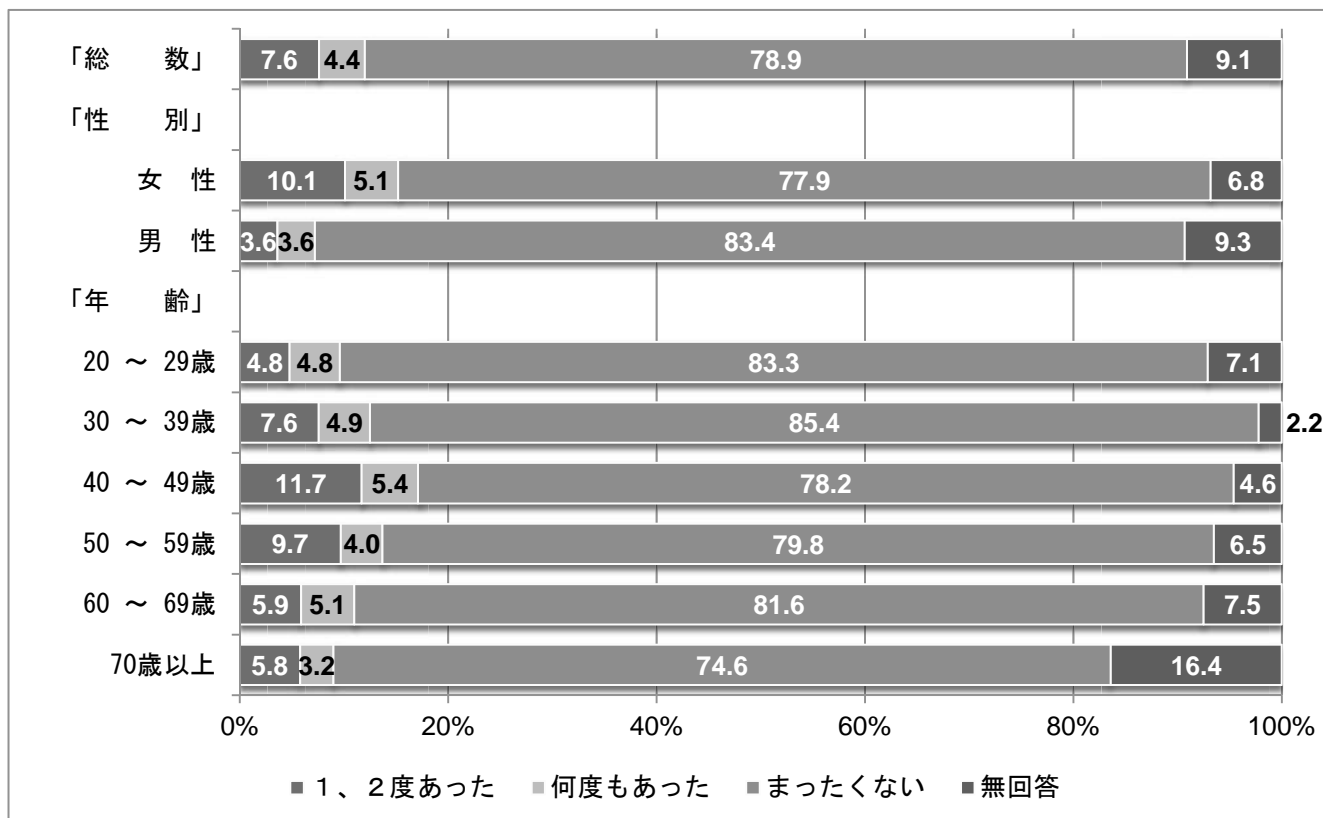
配偶者から受けた暴力について、性別ごとでは、すべての項目において、男性より女性が多く暴力を受けていることが分かる。

暴力の種類別に年齢区分で見ると、「身体に対する暴力」は30代で、「精神的ないやがらせ」は40代で、「性的な行為の強要」は60代でそれぞれ多くなっている。

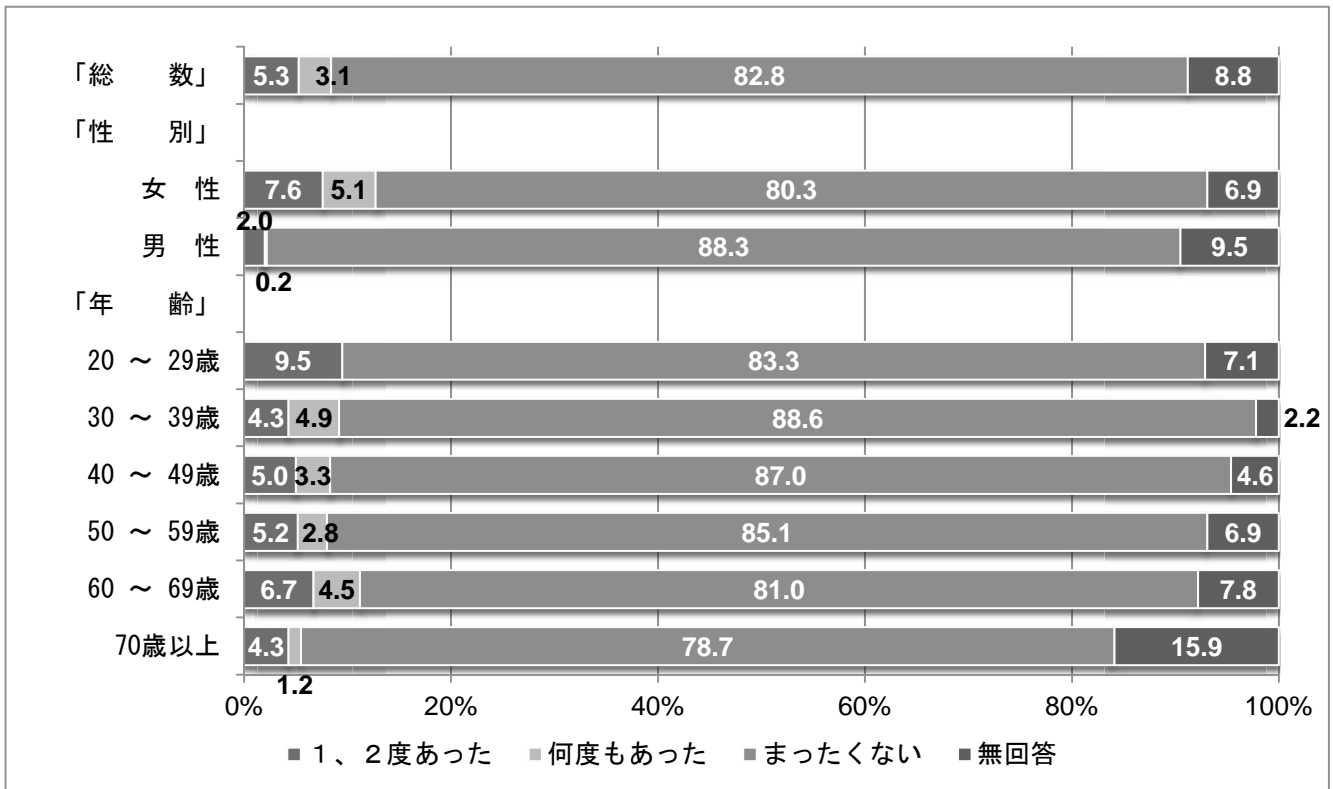
- なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの、身体に対する暴力を受けた



- (2) 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなた若しくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた。



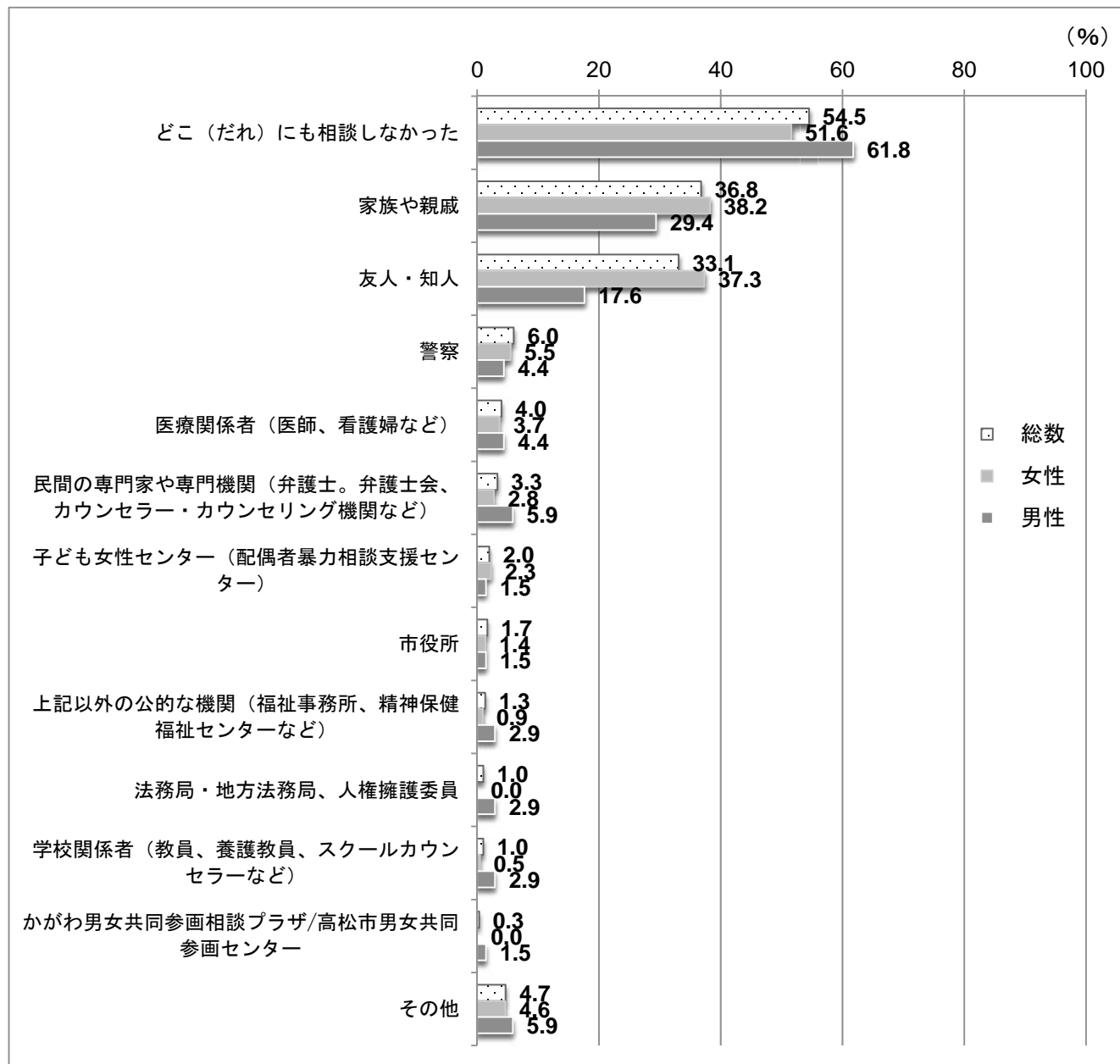
(3) いやがっているのに性的な行為を強要された



問 28 のうち一つでも、「(1)なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの、身体に対する暴力を受けた」または「(2) 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなた若しくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた。」と選んだ方のみお答えください。]

問 29 あなたは、あなたの配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。

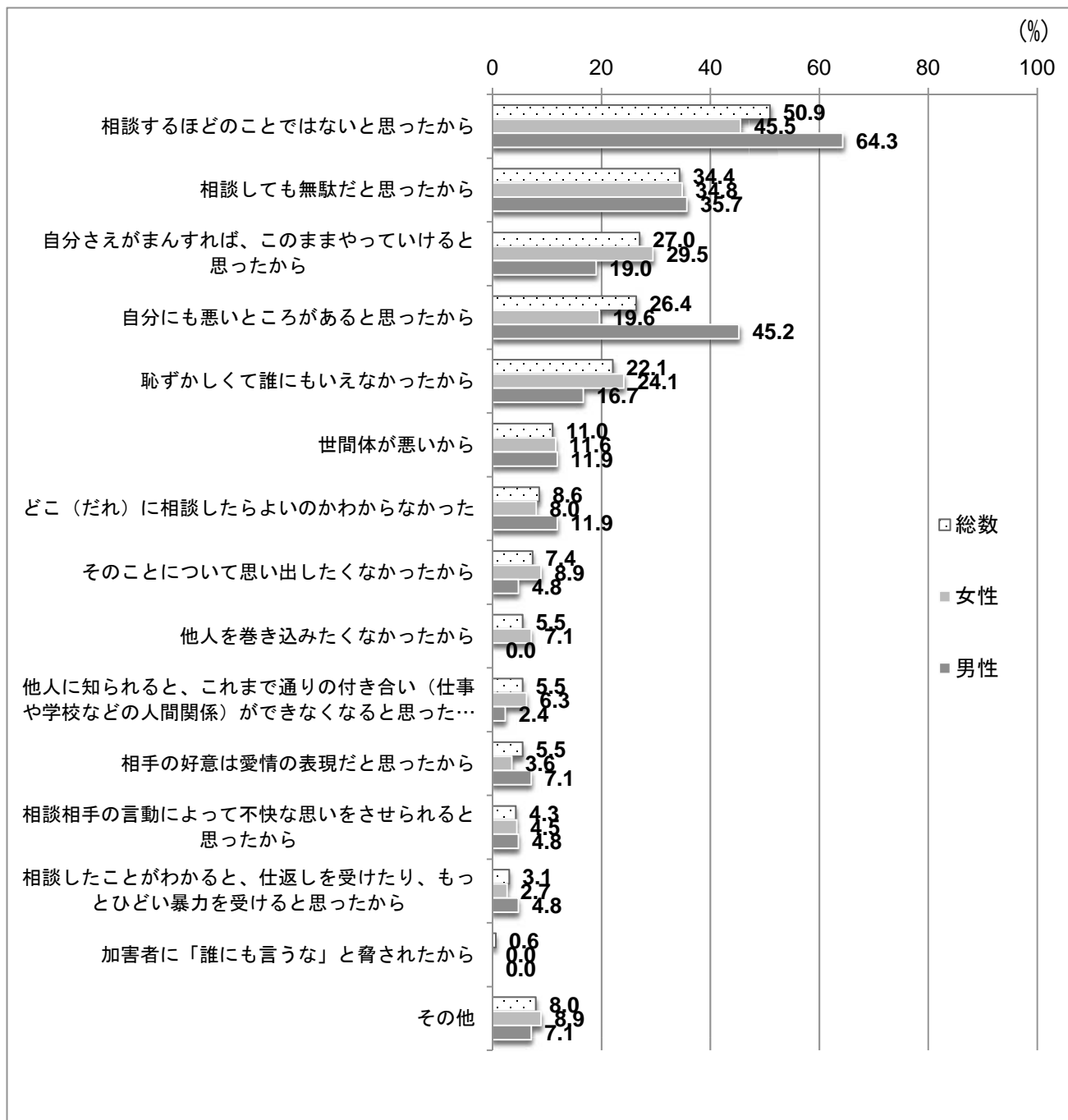
(1) どこ（だれ）に相談しましたか。



【全体】

配偶者から受けた暴力に関する相談先のうち、回答が多かったのは、「どこ（だれ）にも相談しなかった」（54.5%）、「家族や親戚」（36.8%）、「友人・知人」（33.1%）などとなっており、被害者がだれにも相談できなかった事案が多いことが伺える。

問 2 9 (1) で「どこ（だれ）にも相談しなかった」を選んだ方のみお答えください。
 (2) なぜ、どこ（だれ）にも相談しなかったのですか。



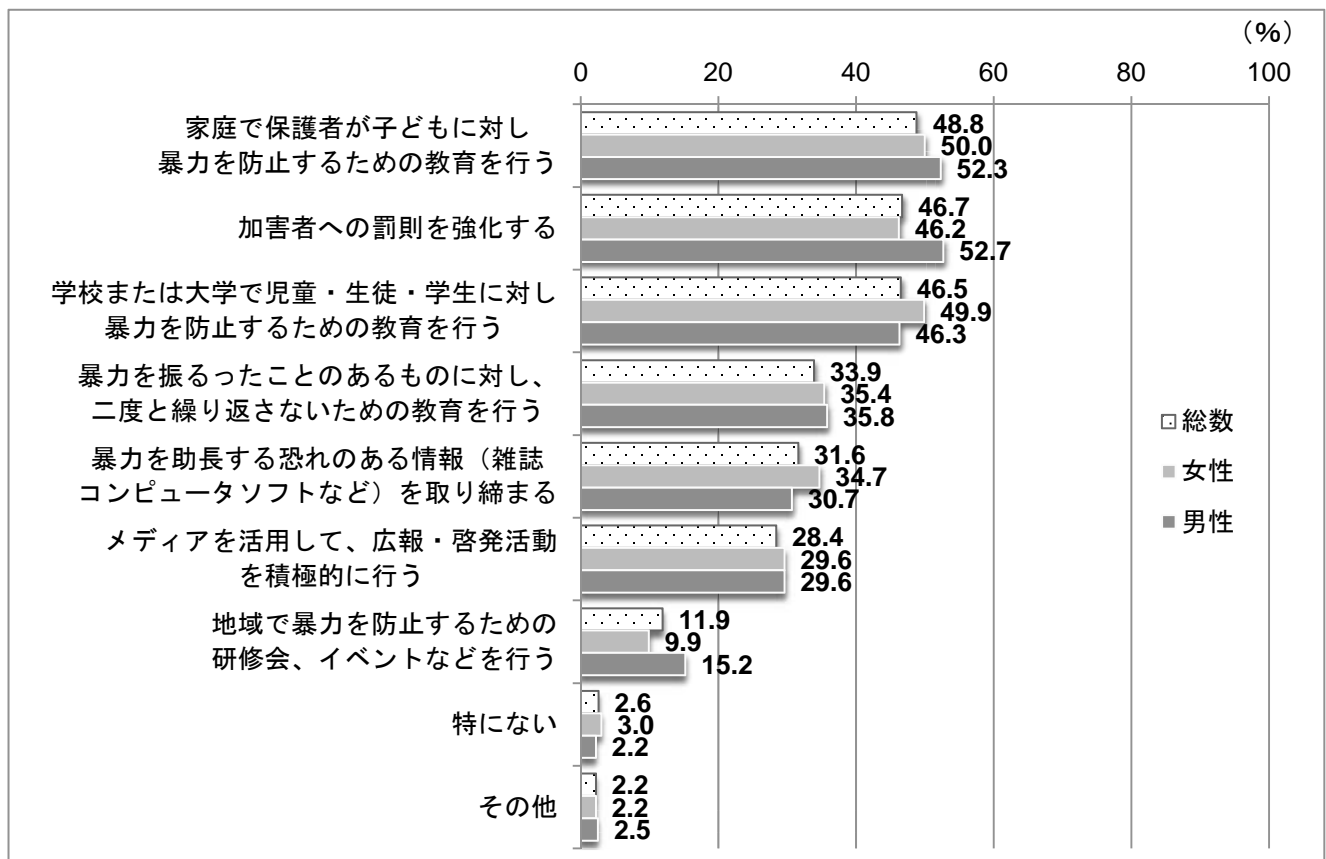
○その他意見

- ・ ほとんど無駄、相手の性格を知っているから（配偶者）

【全体】

相談しなかった理由のうち、回答が多かったのは、「相談するほどのことではないと思った」（50.9%）、「相談しても無駄だと思った」（34.4%）、「自分さえがまんすれば、このままやっていけると思った」（27.0%）であり、問題を自分の心に閉じ込めてしまっている様子が伺える。

問 30 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。



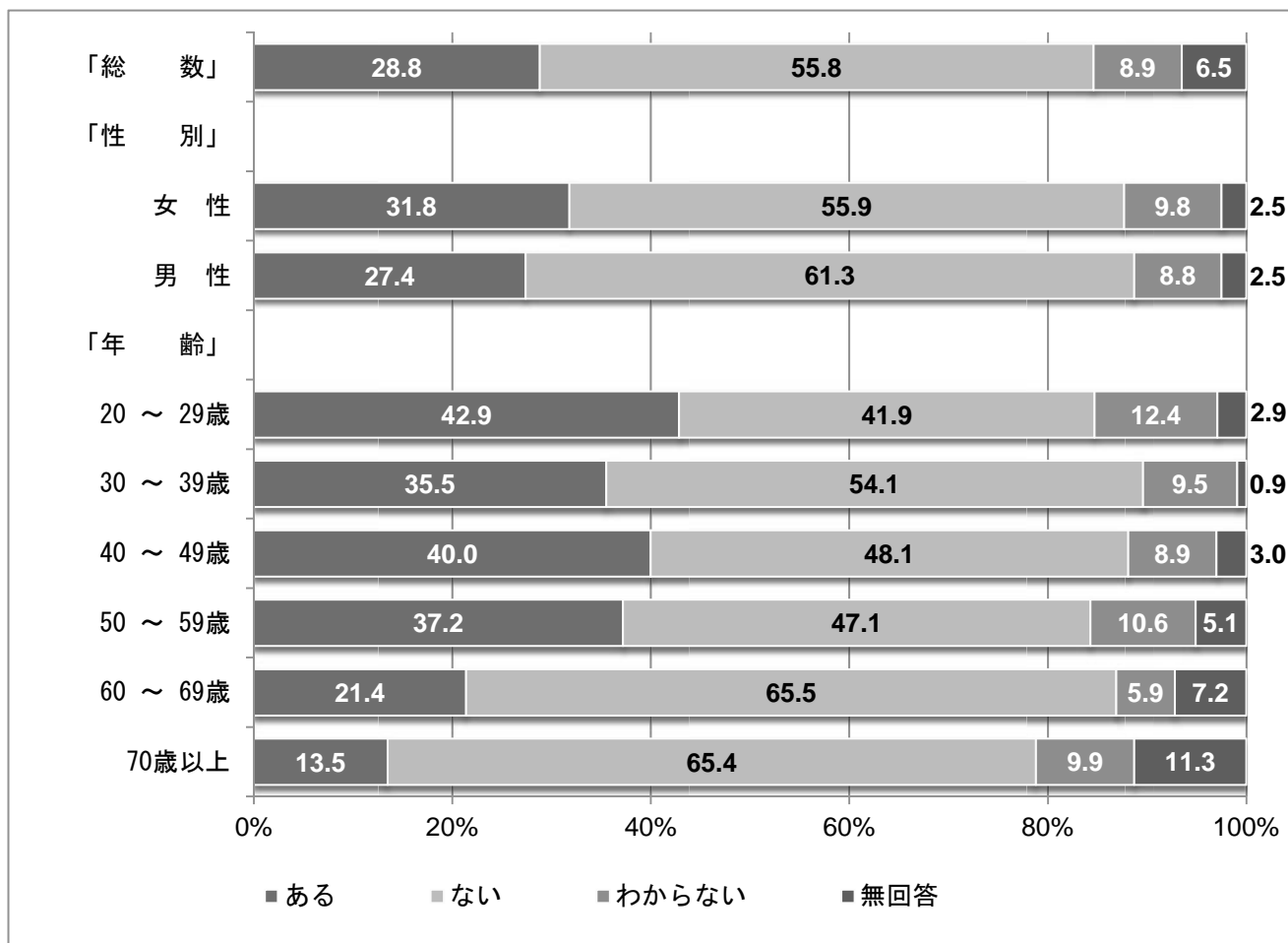
○その他意見

- 1 家庭の健全さ
- 2 相談窓口（TEL 等）をテレビ等メディアで多く告知する
- 3 シェルターに避難するのがどの程度の暴力であるのか、条件を明確にする
- 4 名前を公表する
- 5 地域で暴力を防止するための研修会等と同時に地域の目の活用
- 6 愛
- 7 性格が左右するので防止する方法はあまりない
- 8 DV を受けてる女性は自分に否があると思いがち
- 9 そういった教育が出来ていない親への教育や罰則
- 10 どうして暴力を振ってしまうのかカウンセリングや相談にのってあげるサポート（加害者の方へ）
- 11 被害者になってしまった場合の対処法のレクチャー
- 12 加害者の周辺環境整備（社会的ストレス・生活環境を整える）

【全体】

男女間における暴力の防止に関する事柄のうち、回答が多かったのは、家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う（48.8%）と、加害者への罰則を強化する（46.7%）と、学校または大学で児童・生徒・学生に対し暴力を防止するための教育を行う（46.5%）などとなっている。

問 31 男女間におけるセクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について、あなたは、今までに性的嫌がらせを受けた、又は見聞きしたことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。



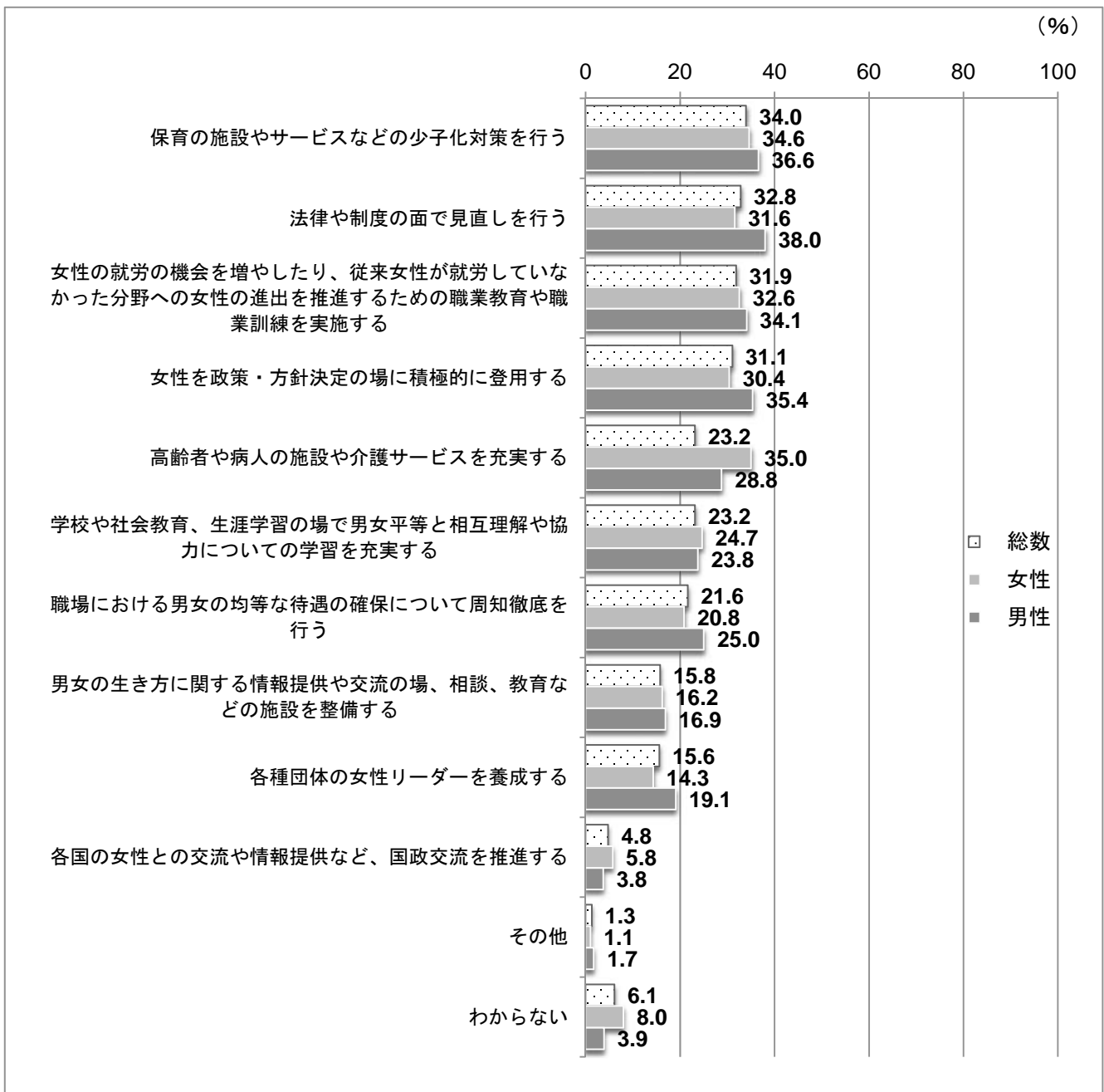
【全体】

セクシャル・ハラスメントに関して、「受けた、又は見聞きしたことがある」という回答は、全体の28.8%を占める。

年齢階層別では、20代が多く、42.9%である。

男女共同参画社会に関する行政への要望について

問 32 あなたは、男女共同参画社会を形成していくために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか？特に当てはまるものを3つまで選んでください。



○その他意見

- 1 あまり、男女平等は共同参画など強調しすぎない方がよい。日本は男女ともに教育を受ける機会があたえられている。
- 2 男性と女性は異なる性質であることを前提として対応すべき
「男性優位の社会に女性が入りやすい」という考え方では失敗する。北欧のように男女比をきめてしまうくらいのやり方が10年間くらいいるかも。
- 3 ゲームなどバーチャルな物を減らす
- 4 政府が汚職をしない。
- 5 男とか女ではなく個人の自由でやって行ける様な環境を作ればよいと思う。

- 6 男女参画という名目のために企業や組織に女性管理職の比率を上げる様にするのではなく以下のうち①管理職をして活躍したい人 ②どっちでもよい人 ③早く帰って家庭を大切にしたい人②に対してロールモデルとなる①の存在を示し本人の意思や教育面で尊重・サポートすること

【全体】

行政が力を入れるべき事柄のうち、回答が多かったのは、「保育の施設やサービスなどの少子化対策を行う」(34.0%)、「法律や制度の面で見直しを行う」(32.8%)、「女性の就労の機会を増やしたり、従来女性が就労していなかった分野への女性の進出を推進するための職業教育や職業訓練を実施する」(31.9%)、「女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する」(31.1%) などとなっている。

ご意見・ご要望

問 33 男女共同参画社会や男女間の暴力についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

- 1 家庭教育が一番、学校ばかりに押し付けている。学校側がもう少し強くなければならない。保護者が過保護になり、すぐ教育委員会に文句を言い、学校側があたふたとしていると迄は言わないが甘いです。
- 2 女性が就職しやすいように社会全体の意識を変える。派遣労働者やパートやアルバイトの労働条件の改善が必要だと思う。
- 3 今後、少子高齢化が更に進む社会になると思われますので、男女の性別や年齢を問わない働きやすい社会を目指す事が必要と感じます。
- 4 男女共同参画社会・・・男女差別はよくないことですが、男女それぞれ、得手不得手があると思いますし、個人によっても能力が異なります。男女関係なく、何でも自分でできる能力は身につけた方が良くと思います。男女共に自分の力ではどうにも厳しいことも出てくると思います。そこは男女関係なく、できる方の力を借りる（助け合う）ことのできる雰囲気社会であってほしいです。
男女間の暴力・・・一概に男性が悪い、女性が悪いとは言えないと思います。暴力に至るまでの何らかの原因が考えられます。暴力をしてはいけないというだけでなく暴力の原因となりうるものを早めの段階で解決できる仕組み（相談・講習など）があればいいのかなと思いました。
- 5 言葉に気をつける。
- 6 女性と男性は、全く同じではないと思う。やはり子供を産めるのは女性だけ。男女平等の前に、まずは少子化対策として、女性が子供を産む事の方が、仕事より価値があるという意識も必要だと思う。子供をもつ女性に対する仕事や待遇、その優遇が必要である。
- 7 男女が社会的に平等になっていく、しようとするのは、大切に重要だとは思いますが、あまりにも「女性」を大切にという風潮があるように感じる。
- 8 ひとり親は、男女の役割をすべてこなさなければならないので、もう少し支援してもらえると助かります。
- 9 離婚についての常設の窓口。弁護士が対応してくれるならなおさら良い。
- 10 過去から今まで施政者が、家長がやりやすい様にした女性への手枷、足枷が現在の社会を造った様に思います。先ず、それをやった男性が枷を取り除いてやることだと思います。その上で女性がいかに努力するかでしょう。女性も従う事での安住に浸っていたのですから。それからの脱皮を試す必要があるのでしょうか。男性はもう女性の躍進は止められない。男も一層の努力をしなければ、実力で女性にしかれてしまう。そもそも男女平等というが中身をはき違いをしている様に思える。男と女は権利上は平等でも仕組みも機能も違うものだから、物によっては能力も差違がある。
- 11 男性・女性共に権利の見直しを行う必要がある。
様々な権利の確保を行う→育児等の休みを取りやすくする。
- 12 今後の少子化、人口減に備えて性別による分別はナンセンス。女性も男と同様に社会の一員とならなければ国力衰退は必至。
- 13 男女間の差別や暴力について、相談したくても、相談の場があまり広く知られていないように感じます。広く周知してもらえようような機関を増やして頂いたり、広く啓発していく必要があるのではと思います。

- 14 全社会的に全てにおいて、教育（教育・学校・家庭・地域等）が不足している。
- 15 メディアの在り方、関わり方も重要。
- 16 公務員は利益追及ではないため、共同参画が進みやすいが、民間企業は利益重視のため、休暇・休業制度には前向きではない。従って、民間企業に関しては、税制面や自治体の支援（補助金など）による後押しが必要と考える。
- 17 男女は生物学的に別。しかし、別のものではあるが同じ人間としての教育が基本。被害者意識を煽ることなく、健全な人間性を育むことが大事。
- 18 小さな会社では、政治家や大企業の方は、差別的な発言を控えるべきだが、こんな所（小さな会社や地域）はまったく関係ないと、差別的な発言をくりかえし言ってます。
- 19 DVには、子供への虐待の問題が絡む事も多いと考えられる。大人よりさらに助けを必要とする子供に対して、地域や学校などが逃げ腰にならず積極的に、見守り、相談必要時には保護をしていかなければならないと思う。
- 20 女性も子供の時から自立できるように男性を頼らないで生きて行けるように頑張ること
- 21 女性差別だけでなく男性差別についても議論するべきです。
- 22 家庭内での環境一番大切である。言葉でなく実践することが必要である。
- 23 男女平等とは何もかも、同じことをやるというのではなく、男と女の特性が有り、それを生かした分担も有るのでは・・・と思います。それが平等ということです。暴力については、相談しやすい窓口や環境作りが必要です。
- 24 女性を軽視する社会に未来はないので、男性よりむしろ女性を優遇するべきである。少子化の原因もそこにある。国のリーダーとなる人間を男性から女性へ変えれば、すべて解決する。
- 25 男女が完全な平等は難しいと思いますが、それぞれの立場の意見交換ができると違った目線の考え方が見えると思います。
- 26 人間の基本は、家庭の中での子供の育て方によって、形成される。十人十色家庭もそれぞれですが、「育てる」という意識を十二分に持った、子供の育児に当たれる、親の世代が充実した毎日を送れる、日本であってほしい。
- 27 小さいころ、小学生に道德、社会教育を増やす。
- 28 DVの社会的認知は大きな成果だと思います。「男女共同参画・・・」については「女にも働いてほしい。だけど適度に働いてほしいかつ不利な条件のもとで働き続けてほしい。子供も産んでほしい」という財界の本音とそれに気づいている女性の間で中々うまく進んでないですね。でも沈みゆく日本、このままではなりゆかない。変わらずにはしかたない時代の波でよりよくなっていくことを願わずにはいられません。
- 29 「女だから」と言わないでほしい。
- 30 男女共同参画社会の実現には男女それぞれの立場や現状をより多くの人に理解してもらうことと、積極的参画する人を増やし、社会全体でそれらの人々をバックアップできる組織や施設等を充実させてほしいと思います。DVに関しては、家庭で子供に教育する＝親が暴力や口論を繰り返す生活を子供に見せないようにする必要がある。日常生活の中でそのような環境で育てば、学校で教育してもあまり効果がないように思います。
- 31 今、国民一人一人がこの現実をきちんと直視し、何が大切で何を守らなければならないのかを、重く考えるべきだと思います。当たり前のことが、当たり前でなくなっている今の世の中、これからの子供たちが不安でなりません。教育の大切さ、日本国民として、学ぶべきことは、たくさんあると思います。

- 32 男性だけの社会は成り立たないし、女性だけの社会もありえない。家庭は小社会だ。男女がお互いを尊重する度合いが高いほどよい家庭、よい社会といえる。このことが基本にあれば、暴力はあり得ない。思いやり、これが基本である。
- 33 私は今 60 歳、ずいぶん男女平等になりつつあります。でもまだまだ古い風習が残っています。介護に関してもやはり女性が中心、もう少し公的支援で介護の負担を軽減していただければと思います。
- 34 男性と女性には性差があることを自覚したうえでお互いにできない部分を補い、できる部分を尊重しあうことが大切だと思う。
- 35 育児や介護などライフステージに合わせた家庭での役割を、女性が受け持つことが多く、仕事への積極性が持てずにいる。行政で育児や介護のサービスを充実させて満足するのではなく、はじめたサービスの運用状況や利用者の満足度についても調査し、改善していくことを望む。
- 36 男女共同参画社会、男女間の暴力とともに学校教育に取り入れる→親子で話し合う時間を作る。女性の意識向上はとても大切ですが、一度家庭に入ってしまうとなかなか外へ意識が向かなくなる。子供の頃から、そういった意識をさせることがとても大事だと思います。
- 37 DV からの保護プログラムの強化
- 38 決定権を持つ人間が「男尊女卑」型の方が多いのでは？ 世代を一新して現状を知る人間が話し合うべきだ。
- 39 企業職場に設置されているセクシャルハラスメント室等の担当者（室長）が男性なので結局は女性からの申し立てをないがしろにされている（されてしまう）。女性担当も設置するような法律にしてほしい。
- 40 男女共同参画社会を形成する活動をしたいが、きっかけがないのと、公的な研修へも参加したいが、どう手続きをしていいのかわからない。
- 41 地域や他人の事に無関心、長時間労働をせざるを得ない状況、コミュニケーションツールの進化で、便利な反面、暴力や事件に発展する事もあり、世の中変わったなど日々感じます。男女とも働きやすく、生活も充実したものにどうすればなるのでしょうか。
- 42 男女を問わず、お互いの人権尊重がまずできなければ、男女というステージに届かない気がする。
- 43 画一的な思考では解決しない。事例ごとに検証し、対応を考える必要。
- 44 以前に比べると女性が働きやすくなっていると思うが、まだまだ管理職クラスが少ないように思われます。DV については最近女性から男性に対してのものもあるそうなので、それぞれが尊敬できる社会になればよいのではと思います。
- 45 他人事とは思わない。「自分を大切にする心」が「他人を大切にする心」を育成する。
- 46 企業内の改善が必要
- 47 女性の被害者で声を上げない人が多くいると思うので一人でも助けてあげられるような社会にしていきたい！
- 48 家族が夫からの DV に合って、女性センターや警察に相談したことがあるが、その時の女性センターの職員や女性警察官といざという時に現場にかけつけた男性警察官との対応が食い違うことがあって、混乱したし、また被害女性は男性警察官からの言葉や対応に心を痛めていた。今後より一層連携を強めていただきたい。
- 49 暴力は性格もあるので、（すぐきれる）暴力した者には厳しい教育をして罰則の強化もいいのではないかと思います。男女平等といつでも平等ということをきいたことはあるけど、浸透してないので知らない人もいます。メディアを活用した広報・啓発活動で知ってもらおう。男女平等につ

いて学校で話すこともいいのではないのでしょうか。少子化はパート先のバイトの子に聞いてみると一人か二人（一人が多い）理由は教育も、お金がかかるということです。三人くらい産んでもらうには2人目位から何か補助でもなければ難しい。フランスも日本と同じでしたが、今は子供が増えているようです。テレビで見ましたが参考にしてみたいかがでしょうか。

50 仕事、生活、調和のとれた自然な共同参画社会になるとよい。

51 男女間の暴力は、一つは、親が子供の前で（父親が母親に暴力）振う姿を見て育つ子供が大人になって同じような振る舞いをしている気がします。（私の友人もそうでした）家庭環境の大切さを教えたいです。

52 性別に特性に配慮しながら個体の個性を活かしていけるような社会、希望し、努力すれば実現可能になる社会が望ましい。男女間であれ、同性同士であれ、暴力は言語道断。

53 市民皆に意識を植え付ける。

54 仕事に対しては、積極的にやる気のある女性をまず、責任あるポストにつけてやることから始まると思う。

55 一人生活者だからわからない。

56 まわりと比較して、自分が「負け組」だなどと思わない考え方が必要。ねたみ、羨みなどから暴力をふるまいたくなる欲求などは、まちがった食生活も原因のひとつかという考え方も必要では？（農薬、添加物、漂白剤）

57 周りが騒ぎ立てるから、気持ちが一層高ぶるのではと考えます。自分自身に責任を取らすべきです。

58 基本は肉体的、体力的に同等ではないので、女性の得意部門を伸ばし、男性の得意部門を考慮した男女平等でなければならない。

59 様々な課題をあきらめずに解決して、前進していくことをやりぬいてほしい。（一步ずつでも良くなることが望めます）

60 1、長期的視野では教育周知と地道に取り組む。

2、男女をとわず、私は自立した人間である。自分の尊厳と常に戦い続ける。

61 男子でも子供の時からお手伝いをさせる 女性にやさしくすること、日常の生活の中で教える。

62 昔からすれば、よくなったことはたくさんありますが、現在住みにくい世の中になっていると思います。昔ならっていた修身がかえってくれば少しでもみんなが良いのでは？と思います。

63 新聞、テレビ等で報道されるたびに、心を痛めてる。女性への性的な犯罪をもっと取り締まるべきであり、厳罰化を推進することが重要である。特に幼い子供、未成年者に対する暴力はたとえ親権者であってもこれは許してはならないと思う。

64 たとえ、家庭内であれ、暴力は犯罪であるということを社会全体が常識とする。

65 あってはならない暴力だが、事が起きることは予想される。この場合すぐ対応してくれるところがあるという安心感が必要で、窓口をオープンにしていつでも受け付ける部署があればいい。

66 男女間に限らず暴力はダメ

67 人が人を大切に思うこと

68 男女の問題でなく能力ではないだろうか。

69 暴力にはいろいろなかたちや種類が有り、誰が見ても暴力だと感じた時にみんなでそれをなくしていけば良いと思います。

70 ・保育所等小さい子供の預け先の確保が重要であると思われる。仕事を辞めざるをえない女性がいる。

- ・DVの被害者は女性ばかりでないと思われる。DVに対する支援体制は女性のみと対象としているものばかりであると思う。
 - ・女性が社会進出しすぎると少子化はますます進むと思う。
- 71 暴力を受けている被害者のささいなサインを見落とさずきちんと対応してあげてほしい。取り返しのつかないことが起きてしまう前に。男女平等というのなら女性専用車両だけでなく男性専用車両も配備すべき。
- 72 女性が子育てをしながら社会へ出るためには保育の充実が不可欠です。保育所の教育レベルの向上や小学生の学童保育への学校の理解(教室の解放など)さらに考えていただきたいと思います。
- 73 暴力を見かけたら通報して早く取り締まってほしい。(手遅れにならないように)
- 74 男女間の前に人間としてどう生きるのか。人間は本来、他人の為に生きるということが本来の生き方。教育の場で美德を育むことを学ばなければ、ブレーキのない車と同じ。当然事故が起こる。12~15歳の間に是正できなければ、難しいということを知り社会全体で知る必要がある。
- 75 言葉では伝わらないからと思ってしまう「力」の差を見せつけるのは酷いと思います。それが女から男の暴力も同じです。”人”は「力」でその場を終わらすのはやめるべきだと思います。
- 76 税金をかけすぎだと思います。こども未来館に施設をつくるのはムダです。コストをかけた運動をやめていただきたいです。担当職員のかたはお疲れ様です。この意見を取り上げて下さい。
- 77 「市民生活意識調査」として20歳以上の市民の中から4200人を無作為に選んだということですが、質問の中で就労に関するものや、男女間の暴力に関するものなどについては、経営者と従業員、暴力の加害者と被害者それぞれの立場によって答えが正反対になるようなものもあると思います。無作為に選んだ場合、調査結果がどちらか一方に偏ってしまうようなことはないのでしょうか。
- 78 男女共同参画社会という言葉は初めて聞きました。具体的にどのような取り組みをしているのか、知ることができるようにしてほしい。
- 79 就業規則などで、たとえば育児休業や介護休業が定められていても、なかなか取れなかったり、企業側が取らさないようにしたりというのが今でもある。制度が始まった頃と何ら変わらない。公務員や大企業ではもはや当たり前なのが地方の中小企業では大いに遅れている。
- 80 男性の考え方を変える教育が子供の頃から必要だと思う。子供は女性が面倒見るものだという考えが根強く、女性が外に出られない。
- 81 各分野女性リーダー養成、すみやかに信頼のおける人または団体への相談
- 82 小さな親切が大きなお世話に思われぬおおらかさ、心の持ち方。
- 83 暴走族をなくする事と思う。
- 84 地域的に協力していく。
- 85 各種のハラスメントを受けた被害者が、気軽に相談できる場所が現在ありますか？現状では警察に行っても全く動いてくれず、何の役にもプラスにもなりません。各地域のコミュニティセンターに専属の資格を持つ相談員を配置し、気軽に被害者が連絡を取る事が出来、被害者のための正しい対処が取れるようにまず、行動を起こす事が必要だと思います。
- 86 日常的に刷り込まれる「一般常識」では、人々の意識を徐々にだが、確実に変えているのではないのでしょうか？私はTVをよく見ますが、10年くらい前に比べてドラマでの職業や役職、家庭での役割分担の設定が大きく変わってきていると思います。(外科医、裁判官、上司が女性だったりコマーシャルで男性が料理をしているものが増えたり)メディアの力は大きく、論理だけでなく、社会はこうなっていくべきだといった形を日々、目にできるようにすることも大切だと思います。

- ます。男女間の暴力は、自分の弱さを隠すために力に訴えている部分があるように思います。暴力をふるうことは恥であるといった教育を、もっと進めるべきではないかと思えます。
- 87 小さな子供を家でみているが、完全な男女共同参画社会など望んでいません。子供を保育所などに預けて、男性と平等に仕事を任されても、子供を心配したり、気にかける割合が父親と全く同じにはなりません。母親の方がはるかに心的に負担は大きい。専業主婦がえらいとまでは思いませんがこれから恐ろしいほどの高齢化社会を支えさせられるのはわが子かと思うともっと子供の教育や育児、成長をサポートする社会に目をむけてほしいと願っています。
- 88 子供の教育の向上。就労により親が不在がちな家庭の子供のケア、サポート（特に小学生）学童も1～4年生ではなく5、6年生も対象にしてほしい。
- 89 共通する人間社会には暴言暴力はあってはならないと思う。
- 90 男女の暴力について。相手に対し話しあう、思いやる気持ちが大切です。弱者に暴力は絶対にしてはいけません。
- 91 女性が口をひかえめに物をゆうこと。
- 92 男は女のためにめしを食わしているという先入観がある。だから使用人と思う社会を早くから、頭に社会が植え込んだ男は働き、女は家庭を守る。教育は女性まかせ。今は料理も洗濯も掃除も若い人は半分。このように見える。そうでないと一緒に住んでいけない。
- 93 日本は男尊女卑の文化が根強いので何も変わらないのではないか。
- 94 男女の適正に応じた仕事や環境があるのは確か。社会全体に均等さを目指すのはナンセンスだと考える。
- 95 当事者間の問題であり第三者が立ち入る必要はなし。
- 96 駆け込み寺
- 97 男女共同参画社会を進めれば、少子化は加速する。
- 98 国民が実感できるような現実味がある策を考えてほしい。
- 99 今はまだ男性が女性に対する意識の低さにあるものが原因と私は思います。まずそこを改善しなければ、変わらないと思う。職場での意識改革のため、詳しく聞き取りをしたり、家庭や育児、介護への関わりが少ない人に対してはどのようにしてなのか理由をはっきりさせたり、するのでもいいかと思う。男性は仕事をしているから疲れた、仕事をしているのにこれ以上何をやらせるのかかと思っている人もいると思う。女性も同じように朝から仕事をして子育て、家事、介護、学校、地域・・・一度男性も体験するべきです。
- 100 警察がすぐ動くようにしてほしい。相談してもすぐ動いてくれなかった。
- 101 男女平等でなく、女性に発言権がないため、セクハラを受けても泣き寝入り、周りに言えない環境にある。
- 102 男女平等、よりよい社会、くらしのために、平等のための子供への教育を充実させ、意識させること。それに対し、大人も意識を変え、認め合う社会を作っていきたい。またつくらなければならない。そのためには一人一人が考え、実行していくことがとても大切である。
- 103 だれにでも良いのでまずは何かあれば相談する。そしてみんなで話し合いをして解決策を見つけ出す。
- 104 差別と偏見がある現状では男女平等と唱えても、女性には厳しい世の中です。一度家庭に入れば、外出するにしても家族の理解がないとでれません。男女共同参画社会へ普通に女性が行動できることができれば、男女間の暴力も少なくなるのかなと思います。
- 105 男女を問わず、人間だれでも命の尊さを小学生の頃より大切さを教育する。（昔の修身教育、教

育勅語等の考え方を学習に取り入れては?)

- 106 今の世の中少子化になっているのは女性があまにも多くをのぞみ男性にすべての責任をおしつけ、心身ともにボロボロにして子供だけは自分の所有物にしている例があまにも多く目にするので、結婚に対して恐怖を持っています。女性が社会進出しても自分のためにだけ蓄えています。両親の介護も自分の親だけ診たがります。いつから女の子の育て方がこうなったのでしょうか。このままでは家族の崩壊です。家には常に航空母艦のごとく守る人が必ずいます。男は安心して働けません。
- 107 暴力を受けた人の実体験を聞くことと、そういう相談場所があることをTVで流していく。(女性がリアルタイムでみれる時間) 夕方とかに特集されてもまず、見ない。
- 108 あまりにも女性の社会進出とか「男女平等」による新たな偏見が生まれているように感じます。今回の質問内容も「女性は働くべき」を念頭として、作成されているように思いました。必要なのは幅広く、いろんな人から意見や思いを聞き取り、相談したり、話し合えることだと考えます。この機会を与えて頂いたことは、とてもありがたいことでした。ありがとうございました。
- 109 教育と環境の整備。県、市(自治体の長)に省庁の出身者は不適。たまに例外はあるが殆どの自治体は不幸である。
- 110 個人の意識付けと行政による支援が重要かと思われます。また家族間の協力も必要です。
- 111 暴力も育った環境だと思ひます。子供の時の体験だと思ひるので学校などで教育すればよいと思ひます。
- 112 女性が仕事を持ち、働くことにより、生じる不具合は何かを考える必要がある。給料面、待遇面、又、仕事を持つことによる結婚の時期、出産時、出産後の事、養育(子供)生活費等全般的に考えて対応する必要がある。男女間の暴力は犯罪との考えをしっかりと、伝えていくと共に行った者はしっかりと教育する必要がある。人の痛みをわからせていく。
- 113 配偶者の手助けがないため、国の制度の見直しが必要です。
- 114 昔のことはよくわかりませんが、道徳とか、倫理などの教育を受けた私の世代は今より女性は女性らしく子供のまわりにいつもいることができ、お年寄りもいつも家の中で大切な存在だったと記憶します。すべて昔が良かったとはおもいませんが男女はどちらも尊重しなければならないが、同じではないと思ひます。(同権は必ず絶対ではないと思ひます)
- 115 男性、女性それぞれがお互いの不得意なところを補い合って、個々が得意としていることで能力を発揮できることが共同参画だと思ひます。なんでも平等ということには違和感がある。子育てをしながらも自分を一番大切にする風潮は怖い。子育てをしている間というのは親となった以上、我慢が必要だと思ひます。子供たちが無事に独立するまでは親は我慢! それでいいと思ひます。介護については、もっと社会で担っていくべき。そのため、介護職の給料は国をあげて優遇しないと働き手が増えない。
- 116 無理に男、女、共同にしたがっている様に思ひます。必要に応じて考えればいいのでは?
- 117 最近暴力が遊びというようなゲーム等が比較的簡単にできる(パソコン、スマートフォン等)状況が多すぎる。少し取り締まるべきか。
- 118 身体的暴力や言葉の暴力を公共の機関に公にしたら、結婚生活は続けられなくなる。結局、受けた方は我慢するしかない。メディアなどでいろいろな例を挙げてもらって罪になるという意識を持ってもらえるようになればいいなと思ひます。特に言葉の暴力はそれが暴力になっているとわかっていない人が多いと思ひます。小さいころから学校で教育してほしい。
- 119 持って生まれた性格だと思ひます。

- 120 男女共同参画社会については職業や職場で平等とはいかない部分があると思う。男女間の暴力については、力の暴力だけでなく、言葉の暴力もあると思うので、気をつけないといけないと思う。
- 121 男女共同参画社会についてはまず、その組織のトップの問題です。トップがこの問題の重要性をまず確認して、行動してもらうことです。トップが動かなければ、下の人間は動きません。上層部がこの意識で動けば下の者は必ず、動きます。民間にしても公共団体にしても同じです。上層部の意識改革が一番重要と思います。
- 122 小さい時から男女の区別はするが健康診断とか特別でない限り出席番号とかは男女混合だし、自分が男であるとか、女であるとかは理解したうえで、それ以上の性別の区別なく育てていけばいいと思う。生徒会長はいつも男子とかはありえない。女子でもいいと思う。副会長が女子はあくまでも補助みたいな感じがする。男子も掃除洗濯料理なんでもできるようにしていく。結婚したら女の人が家事全般を任せられるのはナンセンス。みんな新婚のうちは家事は苦手なんだから出発点は”0”で同じだと思う。それが嫌で結婚したくない女子が増えていくのだから少子化が進んでいく一方。
- 123 そもそも男は子供を産めないという事実をふまえて、制度・社会設計を考えないと、女性の負担が増えるばかりだと思う。
- 124 国会、地方も含め、議員の総数に対して半分は女性にすると公的なところから女性の数を増やす。(法律等で決める)
- 125 的外れな回答かもしれませんが、政治について。明らかに若者と高齢者の数が、違います。政治議員の投票なども高齢者の数が多い分、有利な立場になってると思います。若者は2票など平等になる立場にしてほしいです。子育て世代ですが、子供を育てるのに大変なので、サービス面や優遇などを増やしてほしいです。少子化対策として。マレーシアに旅行した際、幼稚園ではすでに英語を基礎として教えていました。子供のころから当たり前みんなが英語を学べる環境がすばらしいと思いました。
- 126 「仕事をしてきた俺は金は産むが、お前は家事をしたって金を産まない」と嫌味ばかりを言う。こんな夫みたいな人が多いから女性の地位は守られないのだと思う。家が清潔で平和でなければ、気持ちよく働けないくせに！
- 127 社会とのかかわり方について、男女という区分はないと思います。なぜなら、社会という公の場では一人の人間として尊重され、またそう振る舞うことが望ましいと考えるからです。育児や介護といった私的な分野も行政が担い手となっていることには驚きましたが、男女共同参画社会の実現のためには必要だと思います。ただどんなにこうあるべきと行政が考えても個々人の捉え方、認識に拠るところが大きく実現には長い年月を要するでしょう。下の世代はプロパガンダにかかっているのもう少し上の世代へ啓蒙してください。
- 128 低所得者を少なくすること。所得格差を無く(少なく)すること。
- 129 安心安全に住める高松にしてください。
- 130 単に”男女”間の問題ではないのでは？コーチングなど解決の道があることを周知すべき
- 131 実際家庭内で暴力を受けている人は自ら告発することはできないと思います。周りの人がしらせることができる機関を設営し、調査できるようになればいいのではないのでしょうか。
- 132 まず実行してください。アンケートや帳表やレポートなどより、動くことだと思います。こんな資料はどこの市町村でもあるので、情報をもらえばよい。これがレポート作業に終わらないことを望む。
- 133 医療系の専門職であるため、私自身はとても恵まれた環境で「女性だから」と何かをあきらめる

ことなく育児と仕事を両立することができており、同じ働く母親の仲間も多い。上司や同僚の理解も男女関係なく得られ、産休育休や子供の体調による急な早退欠勤についても協力的なので自分も恩返しをしようと思いつながりながら働いている。今まで働きながら結婚、育児をしてきた人がたくさんいるからこそ、だんだん職場全体の環境が整ってきたのだと思う。企業のトップが率先して実践し、問題点をその都度、早急に解決していけるような制度、支援が必要である。

- 134 仕事をしていて、アルバイトや社員の女子が必死で働いているのに、重役のおじさんたちがプラプラと遊んでいる。（本当にケーキ食べて遊んでいるんです！）を見ては非常にやるせない気持ちになっていました。女性も男性も平等に、一生懸命仕事に打ち込める社会になってほしいです。
- 135 基本教育の充実
- 136 男女間の暴力等がそんなに深刻なものでなくても不安とか恐怖等を感じて警察とかに駆け込んでも何か事が起きないと動かないような、事件がおきてからでは遅いので相談があれば、その後も注視してもらいたい。
- 137 男性からの暴力等について目がいきがちだが逆も十分にありことに配慮すべき
- 138 女性の教育をする。（考え方や知識）
- 139 一般の社員よりも企業や団体の中の上司や上層部の人たちにもっと積極的にこのようなことを考える、見直す場を設けてはどうか。取り組みを行う機会を設ける。あと女性自身の意識をもっとかえなくてはいけないと思う。
- 140 過度な女性への優遇はやめるべき。優遇しすぎることによって平等意識がうすくなり、。職場での差別等につながっているのだと思う。
- 141 男性にも家事をすることが抵抗ない様にする為、学校での家庭科の授業を増やすなど将来、結婚して料理をできる様に（男の子にも）教育してもらえたらいいな。近い将来男の子も料理必要ですよ。（本当は家庭で教育できたらいいと思うが共働きが多いのでなかなか家庭での教育が難しいと思うので）
- 142 行政など国もいろいろと取り組む事は必要だと思いますがまず、家庭の在り方だと思います。もっと家族のコミュニケーションをしっかりとる必要がると思います。
- 143 性差別をすることで、教養の無さが露呈する事を差別主義者は知らなければならない。男性も女性も多く愛を以て存在している為、お互いを尊重すべきだと思います。
- 144 小学生からの教育
- 145 国が責任を持って罰則を強化する事
- 146 男女が平等となるのは、とてもいいことだとは思いますが、どうしても性差というものは多少なりともあるので、男だから女だからとか必ず平等に！というのではなく、個人を尊重し一人ひとりが住みよい社会になれば良いと思う。
- 147 平等という意味は？例えば給食など各自に同量に配ってすます事ではなくて、少量の子もいれば大食の子もいます。各自が満足と思う事が平等ではないかと思えます。男女それぞれに男らしさ、女らしさも含んでお互いに尊重し、思いやる事が必要だと思います。以前は家庭でも学校でも、自分を大事にする事と同じように他人も大事にするという道徳教育がなされていた様に思います。道徳の時間も必要だと思うし、核家族が増えて年配の方と子供達の会話又、親子の会話が減ったと思います。又、個人で遊ぶゲーム e t c が増えて共同で行う事が減ったと思います。一緒に遊んでいるかと思ったら、同室にいるのに各自違うことをしているのにちょっとビックリでした。

- 148 家庭や教育の場や職場で認識できるよう話し合いや指導していく事が大切だと思います。
- 149 暴力を受けていても、なかなか他人に相談できないと思う。防止するには、加害者が一番の問題だが、被害者自身が周りの人にばれないようにしたり、言い出しにくいケースも多いと思う。恋人（パートナー）のほかに身近な人が気づいてあげるのがよいが、それが出来ないのが現実だと思う。
- 150 職場での女性の提言、活躍の場を増やす。そのためには非正規就業率を減らし、待遇を改善しモチベーションを上げる職場環境をつくる。（適正な査定）男性はどうしても仕事での拘束時間が長い為、家庭生活への介入が少なくなる。男性のワークライフバランス向上が肝要となる。育児後、再就職を希望する女性の活躍の場を増やす。育児を経験した女性は精神的な強さ、効率の高さが評価されるべきと思う。
- 151 父親が家庭で協力して子育てしている人が増えているのが現実だが、まだまだ困っている母親が多い。男女平等までには時間を要するが早くしないと少子化を止められないと感じている。
- 152 女性の地位向上、男女平等の精神、男女同権の意識
- 153 103万、130万の壁などを改善して、それぞれの生活状況に応じて就労環境が選べる制度としてもらいたい。同じ仕事に社員・パートの差があるような環境は良くない。少なくとも官公庁では、そのような状況にはあるべきでないのでは？
- 154 アンケートが長いので正確なアンケート結果がとれない気がします。
- 155 学校・家庭での教育、保育や介護の施設やサービスの充実が重要だと思います。それと共に家族の思いやり・理解・協力なしでは、女性の進出も望めないと思います。
- 156 ベーシックインカム（最低限所得補償）を導入すると、男女共同参画社会にも好影響を与える可能性があるのでは、検討してほしいです。たとえば、貧困・少子化・余暇の充実などに効果があると考えられます。
- 157 男女関係なく人間らしく生きたい。
- 158 男女が相互理解を深めていく事が大事であると思います。その意味で男性に対しての家事を楽しく行う為の講習や女性や子供に対して職場参観を行う機会があればお互いの立場を少しでも考える事が増えるのではないのでしょうか。
- 159 保育の施設やサービスの向上と同時に保育の現場で働く方の待遇改善を望みます。
- 160 女性の地位向上の為に、リーダーポストを与える等の短絡的解決ではなく、平等に能力を持った者がリーダーになればいいと思う。決して女性に厳しい社会でもなくなってきているはずだと思います。「平等であることが原則」その中で各自の能力が最大限発揮される方が良い。その為の支援サービスは必要だと思います。
- 162 男女共同参画社会に対しての知識がないように思う。もう少し積極的にすすめる必要があると思う。また、50～60歳以上には受け入れがたいと思う。でも時代の流れもあると思うし、海外で頑張っているから日本もできると思う。
- 163 きれいごとを言っても変わらない。
- 164 人権問題とよく似ている。
- 165 男女共同参画社会にはとても賛成である。ただ、育児中の男女に対しては社会的に仕事量を減らす、就業時間を短くするなど家族中心に過ごせるよう法律や制度を徹底してほしい。
- 166 仕事・家事・育児と大きな負担がかかるのは母親で、自分の時間などほぼ無いのに父親はたいして協力もせず好きな時間を過ごしている。同じ年頃の子を持つ親の中には、きちんと分担して両親がうまくバランスを取っている家庭があるのに、この意識の違いは何なのかと日々思う。

- 167 怒鳴る人、いらいらしている人、たばこがないと心のバランスが保てなくなっている人、心のケアが無いまま成人しキズを怒りでしか表現できない人などなど、まだまだたくさんの方が今までの社会生活の影響で苦しんでいると思う。その心のケアと一緒にやっていたらと思う。
- 168 このようなアンケートをとる意味が分からない。男女共同参画社会といっても、実際には人それぞれの事情もあるはず。そもそも「第3回たかまつ男女共同参画プラン」の存在すら知らない人が多いと思う。その中でこのようなアンケートをするのは自己満足に過ぎないと考えます。これがどのように活用されるのか疑問があります。※以前の自転車マナー関係のアンケートも実際には何の役にも立っていないようです。
- 169 女性が仕事を続けられる環境。自立できるよう助け合う。
- 170 DV等、暴力に対する罰則の強化・見直し
- 171 子どもに対し、学校に対し、親に対しても暴力に男女の差がなくなってきた出来事が多くなっていると感じます。言葉の暴力も含めて。
- 172 現在育休中だが、職場の理解や家族の協力もあり、仕事のことを忘れて育児に集中できる環境であることがとてもありがたい。休業して4年目になるが、復帰もしやすく、復帰後の育児との両立も実現しやすいため、多くの職場でそのような環境が整備されればいいと思う。(制度があるだけではダメ)
- 173 異儀とそれに伴う責任を認識した上で参画社会に希める女性ほどの位？おられるのでしょうか。
- 174 学校でもいじめ問題の多様化をメディアでよく耳にするが、将来的にいじめを行う生徒が男女間の暴力に関与するように個人的に思う。大人が子供に対して命の大切さ、人の気持ちをわかるよう教育することが大切なのではないだろうか。
- 175 DVで悩んでいる女性はたくさんいます。離婚後の援助(国・県・市からの)等、充実してほしいです。養育費など法律で必ず保障されるようになれば良いと思います。子供に不自由をさせたくないで…。
- 176 古事記・日本書紀にあるように日本は日の本(ひのもと)の国である。心の法則では女性は右(陰)、男性は左(陽)とされており不変のものである。(陰陽は優劣はない)女性は包み込む優しさ、男性は積極的な自立・勇ましさである。これも男女の生まれ持つ特性であり不変である。このように男女の本来不変の特性や考え方、思考回路を互いに理解する上に、男女の関係が成り立つことを忘れてはならない。
- 177 「生き方は常に自由であるべき」自由に選択できない社会を改善していくのは行政の役割だが、その指針がプレッシャーになるようなことがあったり、新しい差別意識をうみ出すことになってはならない。ぜひとも、多様性をみとめる社会であって欲しい。(問4)は、出来る方(あるいは得意な方)ができるだけするという考え方なので空欄にした。～すべきという設問は上記の観点から非常に答えにくかった。
- 178 家族・夫婦のコミュニケーション、我慢
- 179 男性が家族を養っていきけるだけの賃金を企業等が払わなくなると、そのかわりの女性を働かせるための男女共同参画とか平等とか言ってるような気がする。結局、子どもが不幸になっているように思う。女性が働かなくてもよい賃金水準を確保してほしい。
- 180 子どもが小さいうちは子育てに専念できる環境が望ましいと思う。その後、再就職する際に不利にならないような制度があれば。途中採用<新卒採用という型をくずしていただきたい。
- 181 男女平等はありえない。男も女も違いがあつて当然。差別ではない。騒ぎ立てる方がそのような社会を作っている。

- 182 平等は大切だと思いますが、女性が社会に出すぎると家庭生活は破たんします。少子化も進んでしまし、家庭と仕事の両立はやはり無理です。子供を産んですぐ仕事に戻ると、子どもとのコミュニケーションのとれない母子が多いです。社会に出るのは当然の権利かもしれませんが、せめて3才までは保育所に入れずに母親の元で育てるもしくは核家族をやめて、祖父母と同居して協力を得なければ配偶者（夫）だけでは無理です。愛情不足の子供が増えています。逆にかわいそうです。
- 183 男女間の暴力は今までもあったと思います。ただ、クローズアップされるようになっただけ。男女共同参画社会という言葉というか表現が差別があるように思います。女性であってもそれだけの力、技量があれば、自然とそういう社会ができてくるし廻りも認めてくれるようになると思うのですが…
- 184 弱い者に暴力は絶対してはいけない事と思います。子供はそれを見ていると思います。
- 185 隣り・近所との付き合いが少ないと思う。
- 186 元々、男と女では体の作り、生まれもっている性分が違うのだから、平等に働けるようにとか社会的地位を同じにとかいう事が間違いだと思います。男は男らしく、女は女らしくで良いと思います。今の男女共同参画に向けての活動は一部分だと思いますが変な方向に行っている所があるので、そこがとても気になります。
- 187 女性にかかわらず、暴力をふるう事じたいが考えられない行為だと思う。
- 188 自分が看護師という、どちらかと言えば男女問題については逆の職業のため考え方にたよりがあることも自覚する。男性看護師が増加しているが女性以上に細やかな配慮が出来たり、優しい部分もあったり性別だけでは決められないといつも思う。いろんな職種で男女間のへだたりをなくし、平等の世の中になれば皆が幸せになると思う。
- 189 男女共同参画社会の基本法が出来て15年で何が変わったの？
- 190 地域活動は家事の一つと考えている男性が多いと感じます。そのため、役員として（もちまわりの）参加するのは女性という現状。地域活動は社会の縮図だと思いますがこの国の公員は何人いるのでしょうか。その人たちは参加しているのでしょうか？こんな調査をするより自分たちが現場に出て直に声を集めましょう。公務員だから特別ではないはず。国家公務員から全員参加としてみては。そうすれば流れができる。
- 191 親をみて子は育つ。社会をみて子供達は育ちます。真似っこから何もかも始まります。大人が変わらなければ何も変わらないと思います。お年寄りを大切に、子供達を大切に自然を大切に、そしてきびしさを認識し「昔はよかった」にはもう戻れないという現実を理解し大人が努力し続けること。甘えやなんだと言われる今の若者も確かな方々はたくさんいらっしゃると思います。その方たちを発掘すること。
- 192 男女共同参画社会や男女間の暴力については日頃から家庭での教育やしつけが重要なのだと思います。
- 193 法律、税制で平等にすること。職場で平等に能力評価すること。保育施設、介護施設の充実に加え女性自身の意識改革も必要と思います。
- 194 暴力は当事者間にしかわからないところで行われており、女性自身が自分の身は自分で守るという事を考えなければならない。又、警察は結果報告として現行犯しかとりあつかわない。その為ストーカーによる事件は減っていない。
- 195 男女間の暴力について、女性用のシェルターが整備されたり、相談の窓口が設けられているが一時的なものを感じる。この主の事案は、日々に日常の中で多数発生しており、特に生命身体に危

険が生じるケースは少ないと思うが専門的知識（心理学）を有した者が加害者側からヒアリングを行い、心理的原因を究明すべきだと思う。犯罪行為をして処罰されているが、いずれも処罰は軽い。再び社会で当事者が顔を合わすケースは充分在り得る。こうした際に重大な事件に発展しないようメンタル面での原因を取り除くことができればと思います。

196 事務職は求人では法律により男女のことは書いていないが、問い合わせしてみると女性が優遇されていたりして思うように就職ができない。

197 今回のこのような意識調査をする時点で高松市が女性を差別していると思わざる得ません。

198 公にし難いために問題が大きくなってしまうということもあると思うのでフォローアップのできるような支援体制が必要とも思います。

199 昔のような極端な女性差別は良くないと思いますが、今は男女平等がゆきすぎている気がします。男性・女性それぞれに得意なことがあると思うので女性が前へ出すぎて男性のやる気をなくす方向にならないようにしてほしいです。それから、暴力については、なぜ振るうようになってしまったか、その人の生き立ちなど関わっていると思うので罰を与えても逃げても繰り返すだけだと思います。どうしたらいいかわかりませんが、例えば過去に同じ思いをしていて立ち直った人などに協力してもらって話を聞いてあげるなど…専門家のカウンセリングなど…

200 老舗企業やワンマン零細企業以外は管理職になりたい女性が少ないとはいえ、女尊男卑な社会になってきていると思う。今現状、女性管理職が少ないには、女性自身の意識（仕事に対する）の低さが大きい。私は女性管理職の元で仕事をしたことがあるが「ただ女性だから」という理由で管理職になった人と実力で管理職になった人では明らかに仕事の効率が異なる。今後は地涌力がある女性が管理職になることは多くなるであろう。また、社会的に男性差別、不利益を被る事が多いと思う。この点を改善して本当の男女共同参画社会を構築していきたいと思う。

201 身近な方でDVを受けられた方がおられます。その際、どこに相談すればよいか悩まれておりました。色々と活動されているとは思いますがより一層広報活動が増えればいいなと思います。

202 家庭内での夫の妻への暴力があることが解っている。事情までは解らないが離婚する訳でもなく子供男児2人がいるが、その子供達の将来や夫婦の在り方などに偏った考えを持たないかとても心配している。悪いことが繰り返されていかなければ良いのだが…

203 男性が女性に暴力をふるうだけでなく女性が男性に暴力をふるう件数も多いと耳にします。家庭や学校等で幼少期から暴力からは何も生まれない、自分も相手も傷つけているだけであるということは何度も教えていく必要があると思います。国立大学に勤める夫はたった5日間の育休でさえ取ることが出来ませんでした。国が育休を取ることを認めてくれないために女性の社会進出は少なくなるばかりだと思うのは私だけでしょうか？

204 人間性・正直

205 信頼と協調の精神が大切

206 男女間の暴力は表面化することが少ない。警察などに相談しても介入してもらえなかったり微妙な部分で対応が遅れたりして事件につながることもある。DVやストーカーなどの対応をきちんとして欲しい。

207 男性から女性という流れだけでなく、女性から男性へということもある。「弱いと思う人へ！」という流れをなくしていく努力がいる。常に心の中に意識して生活していく教育が必要と思う。「生から死」＝「子どもから高齢者」みんな通る道（同じ）

208 育児に関して、男性の権利をもっと強化して下さい。また、離婚などに関しても男性が金銭的負担を強いられる場合が多々あります。「男女」というくくりに対しての平等ではなく「人間同士

- の平等」という風に考えるとさらに改善すべき点が見えてくると思います。
- 209 男がもっとしっかりせなあかん！
- 210 まわりの考え方も必要ですが、女性の考え方を小さい時から変えなければいけないと思います。暴力はない方がいいですが、人間変えることをどうしたらいいか分かりません。
- 211 男女間の暴力はどちらかに精神的に病気と思われます。すみやかに受診した方が良いと考えます。
- 212 女性が社会に出るのはいいが、少子化の面から言えば結婚や出産はあとまわしになると思う。仕事も家事も育児もしてきたが、今は恵まれている。福祉にしても保育にしても、ずいぶん優遇されているその反面それが当たり前になり女性があまえている人が多い様に感じる。皆の協力があつての現在の自分が今ある事に感謝の気持ちがもっとあつていいと思う。仕事・育児等自覚責任を持ち、ほこりを持って欲しいと思う。過保護になっているように感じる。
- 213 男女間の暴力に関してはどこの県や地方に行っても同じ事案をよく耳にするが現代の20～30代の子供がいる人は暴力についての教育が必要だと思う。
- 214 意見・主張などを言いやすい場所、かけこみやすい場所がどこにでもあればよいと思う。
- 215 男女共同参画社会になれば良いなあと思います。それには女性の意識も大きく変わらなければ…と思います。経済的・社会的な自立を意識する様な教育に加えて精神的な自立を促す家庭教育は必要かしらと思います。
- 216 コミュニケーション不足による他人との関わりの手軽な人が増えてきている気がします。地域での隣人への取組は大事だと思います。
- 217 たとえば企業や地域とか身近な所へ相談窓口があれば声をあげる人が出るのではないかな。そこ後のケアもできればもっといいのでは？
- 218 性差はあるので、すべてを平等にするのは難しい。間違つた取組で差別は生まれると思う。
- 219 ・ 出産、育児が職場で女性のマイナスと見なさない。
・ 職場における男女の均等な待遇の確保 ・ 家事の分担
- 220 女性の社会進出は喜ばしいことであり、そこに性差別があれば問題であるが女性の管理職の数を20年までに3割というような政策は間違つていると思われ、あくまで能力主義によることの方が本当の意味での平等であると思われる。
- 221 人的環境への配慮・指導・改善。人の心が豊かになるような住みやすい環境になれば、暴力も男女平等も進んでいける。個別の尊重しすぎは甘えの増大。苦勞してでも体験したことは必ず身に付き自身の宝になると思う。
- 222 保育・教育の外注は必要であると思います。外国人のメイドを家庭内に入れるのは大変抵抗があります。家庭は国家の基本である為、その維持はお金にはならないが重要な業務です。そのお金にならない所が難しいのですが、何とかバランスを取りながら仕事と家庭の醍醐味を味わえると良いと思います。
- 223 警察の無能により大切な国民が無念な死をむかえている。本市においては彼らに対する職務チェックが行えるようなシステムを作り、その責任を厳しく問えるようにして下さい。
- 224 男女平等というけれど、男性にしかできない力仕事や夜勤だったり女性にしかできない繊細な仕事や銭湯の清掃員のような職種もある。子育ては主に女性が当たり前（一般的に稼ぎは男性ですが）「保育」という意味では女性が主ですよ。所詮完全な男女平等なんてないと思います。男性じゃ女性じゃあてにならない仕事もありますし。人権を無視した大人が議員になる日本には不安があります。

- 225 男女はもともと違う個性を持っていると思いますので、良き所は尊重し合う社会。正しい判断が出来る様それぞれの意見は取り入れるための男女共同参画は必要。女性・子供の為のシェルターの充実。保護の充実。
- 226 この問題より早急に市の職員の考え方を変えなければ高松市はダメになっていく。選挙のことで民主主義のないのを全国にしらしめてははずかしいぜ。高校野球でも全国で一番レベルが低い中、高松市の代表は長らくいない。今年度末にある高校駅伝でも全国で最下位あらしいの中でも高松の人間はいない。日本で最低の町にした。君たち市の職員は反省して早くやり直せんといかんぜよ、はずかしくないかい。
- 227 とってつけたような企画ならやらない方がまし。デモンストレーションではなく本当に男女共にやれること、やるべきことなら税金を使う価値があると思うがデモのために使われると腹が立つ。
- 228 共同参画、出来る事出来ないことがある。
- 229 被害者を発見し通報するにも電話番号がわからない。プライベートの事であり通報する判断に苦しむ。具体的マニュアルがあれば良い。
- 230 「ポジティブアクション」という言葉が使われ始めたころ、女性の役付を無理に増やそうとして当の女性が自分のワークライフバランスを考えて、責任ある職は望んでいない場合でも、その職につけようとし断ったり、ろくろくリーダーとしての教育を受けていない女性を急に管理職にし職務を全うできなかつたりということがあり、「やっぱり女はダメだ」というような事もあった。10年経ってもあまり状況は変わっていないと思う。「ちょっとやってみただけだめだったからすぐ方法を変えよう」ではなく、根気よく長く続けることが大事だと思う。
- 231 景気回復し、経済的に余裕があれば子供も出産できるし女性も家庭や仕事にがんばれます。社会的参加も地域活動も容易でしょう。（このアンケートは何かの名簿から出していないですか？）
- 232 男女機会均等法ができたから、離婚が増加したのではないが、それが色々な社会的問題を増やしているのではないか。
- 233 罰則の強化策
- 234 私は基本的に家庭制度の創始者の導きを受け入れ家庭での各の役割を果たす上での取り決めを知りあてはめる必要を感じています。現法律を変えても真の愛がないなら問題は解決しないのではないのでしょうか。
- 235
- ・世界に対するアピール目的のための女性管理職登用など、数字優先で実態が全く伴わない対応はやめて頂きたい。
 - ・能力・意思による選定と国と地域として誰の為に実施するのか認識を見誤らないで欲しい。
 - ・幼保一元化で効率化という認識は誤っていると思う。住みやすく安定した税収を得られるように、子供をかかえる家族が必要とする設備や施設と一度リタイアされた方の再雇用（70才まで）を考えてもらいたい。教育に関して税金がかかるのは必要と思う。40代クラスの保育士や先生が少ない中で今後の20代の若い方を育てる人材は60代以降のリタイアされた方に是非お願いしたい。（今後同様の調査の際はコスト面もかかるとは思いますが、封筒が糊付けされててすぐに投函出来るものにして頂きたいのと、調査項目ももう少し少なくまとめて頂けたほうが集まると思いますのでお願いします。
- 236 雇用するときすでに男女では賃金に差がある。同じ仕事をしているのに不満に思います。
- 237 離婚して仕事を探してるときは子供が病気になった時に面倒見てくれる人がいるの？そればかりで仕事が決まらず大変だった。40代になり（子供も大きくなり）正社員で働きたいと探して

- いるが年齢の上限があり仕事がない。
- 238 いくら政府が方針を決めても法律で定めないと何も変わらない。「～した方がよい」の記述だと会社は動こうとしない。「～しなければならない」として初めて動き出す。
- 239 ・男性の意識改革（特に年配）
・啓発や周知、法の整備では実際には何も変わらないということに早く気づいてほしい。運用されて効果を測り更に改善していくような施設を考えてほしい。民間企業では至極当然の事です。
- 240 結婚してから夫からの暴力、友人ら。
- 241 男女間の平等というのは男女で分別するのではなく、人間一人一人の個性として男女を分けるものだと思う。最初から男女で分けるのではなく、まず、一人の人間・個で扱い、その後体力差、性格、個性ということの一つとして男女区別してみたいか？妊娠・出産は女性のみ個性特技で才能の一つとしてとらえてみてはどうでしょうか？
- 242 そもそも男女共同参画社会とは何か？…認識・周知が必要ではないでしょうか。
- 243 何の施策・運動も地道な気長な実行が必要だと思う。但し、応援するための法改正、政策立案は着実に実行すべき！！
- 244 男女ともにもう少し時間的にゆとりがあると、優しくなれ思いやれる。
- 245 少しでも暴力をふるった場合、罰金など課す。妻（夫）も黙っていないでTELでも苦情を受け付けやすい窓口を設ける。
- 246 平等教育を受けていたにもかかわらず、社会に出たとたん男女格差があることに愕然とし、憤りを感じる女性が多いと思う。故に上昇志向のある女性ほどその格差を仕事で取り返すために子供を産まないという選択をしてしまうのではないか。男性の家事や育児への参加が当たり前の北欧なみに押し上げてほしい。それが少子化対策にも繋がると思われる。
- 247 父親・母親が仲よくする事が子供にとって一番の幸せだと思っておます。父親はよく働き母親は家庭の中を明るくする事が一番と思います。親になる事に男女とも自覚する事です。この頃の若い母親はよく自分の時間がない、外に出たいなどよく言いますが子供が生まれれば当たり前の事です。もう少ししっかりと子供を育ててほしい。子供が大人になればいやでも時間が作れますよ。
- 248 自分が30数年フルタイムで仕事を続けてきた中で「男女共同参画社会」について考えてみると、やはり一番のネックは子育てと年配の男性上司の男尊感を持つ方がおられたことだったと思う。男女平等とはいえ女性にしかできないこと、男性がいることでスムーズに運営出来る事等様々なケースがあると思う。そういう意味で互いに尊重する気持ちが重要だと感じる。（職場でも家庭でも）今日たまたま「たかまつファミリーサポートセンター」のお知らせをみました。自分はあと数年で退職し、その後はできれば自分が困った時に助けて欲しいと思う事がよくあったので「まかせて会員」になれたらよいなと考えています。とてもよい企画だと思います。
- 249 女性の就労は家庭の事情に応じて考えるべき。
- 250 男性が働き女性が育児家事でいいと思います。女性の時間が空いてきたら働ける環境が欲しいです。子育て中でも働きやすいしくみ（休みやすい仕事、幼稚園など）が欲しい。
- 251 平等の定義は男女問わず、その人の経験・価値観によって大きく異なると思うが多くの人の交流を持つ事で新しい発見やより豊かな感情が生まれると思う。都心部から遠方の県まで気軽に集まれる交流の場があるとよい。また、昔からの風習・地域格差は少なからずある。その概念を完全に取り除かない限り、差別問題は解決できないと思う。
- 252 DV 本人を職場にまで知らせ全体性で罰を与え更正を促す。
- 253 男女間の暴力は絶対いけない事です。暴力ではなく話し合いの出来るコミュニケーション能力を

高めていく事が大切と思います。

- 254 ①男女共同参画社会については社会全体の枠組づくりと法制度の充実が必要 ②男女間の暴力については家族法的な意味合いがあるので基本的には他人が口をはさむ余地なく各人の自己責任とすべし。
- 255 外国などのうまくいっている事例を紹介する事（マスコミ）があれば参考になると思う。

問 34 男女共同参画社会の実現に向けて、今後のキーワードとなるものは何だと思われますか。

- 1 信頼
- 2 身近な協力
- 3 お互いをいたわりあう
- 4 女性ももう少し表に出ていく事（社会に）
- 5 再就職
- 6 豊かな社会、幸せな生活の構築
- 7 早期（幼児期）からの教育
- 8 自立と補完
- 9 思いやり
- 10 協力・協調
- 11 相互理解
- 12 平和な社会
- 13 女性の役割が大きすぎる
- 14 男性優位の考え方が家庭内にも社会的にあるのを子供の時から教育して差別ない平等をすること
- 15 平等
- 16 男女平等
- 17 意識改革
- 18 自由を確保した女性の努力
- 19 男だから（くせに）、女だから（くせに）をなくす
- 20 女性の有限実行
- 21 機会の均等
- 22 「意識の啓蒙」と「社会基盤の整備」の両輪
- 23 協力
- 24 労働時間短縮
- 25 男性側が女性を平等にあつかっても、女性が勝手に思い込んで、男女不平等だと思っている事
- 26 女性の積極性が必要
- 27 女性のリーダー養成の実現化
- 28 社会、全体の教育
- 29 男女とも平等であるという意識改革（男女双方）
- 30 道徳教育
- 31 徹底的な教育（差別に対する）
- 32 地域・社会・家族の協力→女性の社会進出
- 33 アサーティブ・コミュニケーション
- 34 専業主夫
- 35 女性自身の積極性
- 36 人権尊重、相手の立場に自分の身を置いて見れば答えは出る
- 37 自由
- 38 男の良さ、女の良さを引き出す
- 39 ワーク・ライフ・バランス
- 40 男性の降格

- 41 女性の活躍
- 42 今誰ができる事かの再認識
- 43 機会均等
- 44 女性自身の意識の改革
- 45 主婦の再就職支援
- 46 男女共同参画社会についての教育
- 47 いかに関一般の人々の意見を社会に伝えられる人材がいるか
- 48 (今までの) 常識を覆す
- 49 昔のしきたりを現代に切り替えることだと思う
- 50 男性優位な社会通念
- 51 自他不二 人(女性)は人(男性)の骨から、その助け手を作られた。バイブル
- 52 公務員の給料の是正
- 53 和
- 54 差別
- 55 組織 TOP の意識
- 56 企業の間接差別をなくす
- 57 子育て支援等女性が参画しやすい社会にする
- 58 健康で長生きすること
- 59 現実を正しく理解し、分析すること
- 60 人権
- 61 男女の能力は同じ
- 62 女性の積極的関与
- 63 世代交代
- 64 家事をもっと評価する事(家の中の事を評価してほしい。外の仕事と同じように)
- 65 男女性別意識の撤廃
- 66 男女とも自助努力
- 67 セクハラもパワハラもぎりぎりのところで毎日くりかえしされて、女性が追い込まれています。考え方、法律の枠をもっと柔軟な対応を。
- 68 男性の意識改革
- 69 協調性
- 70 機会の均等化
- 71 それぞれが尊重できる社会
- 72 家庭の調和
- 73 男女の均等な待遇
- 74 人間性の確立
- 75 公明正大
- 76 女性の能力を正しく評価すること
- 77 知識と行動力
- 78 平等施策の縮小
- 79 自覚すること
- 80 やはり、昔から女は家庭、男は仕事という考えがまだ香川には都会とちがいがあるので、男女の考え

方から話し合いだと思う。

- 81 性的差別
- 82 社会、家族の協力
- 83 それぞれに得意な分野が異なる
- 84 男性（根強い文化）の意識改革と法律の改正
- 85 世界の宝物、未来の子供たちに幸せになれる社会を築こう
- 86 広報活動
- 87 コミュニケーション
- 88 ジェンダーフリー教育は絶対やめるべきである
- 89 男女の相互理解と相互扶助による安心安全、安定した生活の形成
- 90 男社会を変える（古い考え打破）
- 91 自分は自立した人間である。誰にも頼らないような人間になること
- 92 育児、介護サービスの充実
- 93 実践
- 94 女性を軽視しないこと
- 95 個々の将来に向けて実現できる社会（若者）
- 96 役割分担
- 97 お互いの立場を知ること
- 98 核家族減少
- 99 女性の就労、育児
- 100 より平等な世の中
- 101 女性自身が能力を身につけること
- 102 学校で指導する
- 103 義務教育期間中の教育
- 104 女性の進出促進
- 105 学校・家庭での子供たちへの教育
- 106 小学校からの教育
- 107 男女が社会の対等な構成員として、社会活動の機会を確保（国際交流の推進）
- 108 教育と介護
- 109 明るい未来
- 110 話し合い、協力
- 111 みんなの親切は心だと思います
- 112 制度が先走りしている（実行が先）
- 113 安心
- 114 特に男性の意識をかえなければと思う
- 115 互いを理解し、尊重しあう事
- 116 家庭の健全化、支えてくれる家族の理解と協力
- 117 女性の職場復帰
- 118 スピード
- 119 雇用増
- 120 男女は鳥の両翼

- 121 共生
- 122 男も女も自分と同じ”人間”
- 123 低コスト運営
- 124 当たり前のこと
- 125 男女供尊
- 126 男は男らしさ、女は女らしさ
- 127 子育て支援
- 128 古い考えをなくす
- 129 それぞれの意識
- 130 保育・介護サービスの充実
- 131 男女相互の信頼意識向上
- 132 人権尊重と思いやり
- 133 自由に安心して発言できる社会
- 134 自分らしさ（自分らしく）
- 135 青少年の教育だと思う
- 136 女性を政策、方針決定の場に積極的に登用すること
- 137 社会が変わる
- 138 女性の産休育休制度の充実
- 139 家庭を取り巻く社会的環境の改善、整備
- 140 男性の認識
- 141 人生山あり、谷あり
- 142 女性のやる気
- 143 小さいころからリーダーになる教育を進め、困らぬよう導く必要性がいまさらと思う
- 144 本人の考え
- 145 女性よ強あれ（平和を願う祈りを）
- 146 男性育児、休暇充実
- 147 きずな
- 148 保育制度の充実
- 149 セクハラ・パワハラを意識改革、ネガティブ・キャンペーンの廃止
- 150 男女で差別はダメだが”区別”すべき部分があることは両者に理解が必要
- 151 相談できる人間の育成
- 152 女性のやる気
- 153 公平と平等が違うことの意識改革
- 154 世の中の人々が仲良く暮らせるようになること
- 155 祖父母の育児協力
- 156 人口対策
- 157 家庭環境
- 158 子育て支援
- 159 事なかれ主義の打破
- 160 行動すること
- 161 幼少期からの意識定着をなくす

- 162 安心できる生活
- 163 対話
- 164 全ての決定を女性意見中心に尊重する
- 165 自己啓発
- 166 男女ともに相手に対する思いやり
- 167 児童の学校教育の面で小学生のころから男女共同参画社会に対する教育を充実させる
- 168 常識の改善
- 169 社会及び個人の意識の変更
- 170 夜間・深夜帯の労働者
- 171 男性教育
- 172 女性の意見を聞く
- 173 男尊女卑思想の撤廃
- 174 教育・政治
- 175 女性の向上
- 176 バランス
- 177 個人のやる気
- 178 女性優先
- 179 つながり
- 180 改革
- 181 育児、介護の支援
- 182 昔の日本の良いところは残して女性が女性らしくいきらる社会（子育てや家を守る事）が守られることが大切だと思います。例（仕事にむかない女性もいます）
- 183 女性管理職の増加
- 184 輪
- 185 コミュニケーションを計る事
- 186 まずはトップの意識改革
- 187 少子高齢化
- 188 一番小さな家庭（但ししっかりとまともな親の背中）
- 189 家庭の在り方、あたたかさ
- 190 あらゆる社会福祉、保証制度の改善と充実
- 191 社会の男女平等に対する考え方
- 192 法律の改正
- 193 女性の発言と実行力の向上
- 194 寛容
- 195 役割分担
- 196 男女平等社会（家庭生活）
- 197 女性の内閣総理大臣
- 198 新
- 199 当事者意識を持つ/何も犠牲にしない
- 200 会社の制度の見直し
- 201 低所得者を少なくすること、所得格差を無く（少なく）すること

- 202 女性か活躍を進めるようみんなにチャンスを与えてください
- 203 互いに人格を持った人間なんですよ
- 204 クオリティ・オブ・ライフ
- 205 みんなで育む社会
- 206 周知しても変わりません。市職員、県職員は理解しているのですか？まず実行。（教員が一番非常識だということを知っていますか）
- 207 参加することだと思います
- 208 情報
- 209 話し合い
- 210 社会環境
- 211 能力と家庭事情
- 212 まず実行
- 213 ワークシェアリング
- 214 未来志向
- 215 家庭の安定
- 216 介護
- 217 機会均等
- 218 男らしさ女らしさの中にも平等なしつけ
- 219 個の能力をいかす
- 220 中高年男性の意識改革
- 221 女性の意識
- 222 現状の破壊
- 223 家庭生活と社会の両立
- 224 幼児期からの教育
- 225 踏み出す勇氣
- 226 女性の子育て支援
- 227 見直し
- 228 人の嫌がることはしない
- 229 自主自立
- 230 グローバルスタンダード、日本だけが特殊ではないか
- 231 知識
- 232 家庭の平和
- 233 女性登用
- 234 周知
- 235 残業ゼロ
- 236 個人の尊重
- 237 妥協
- 238 景気回復
- 239 待機児童ゼロ
- 240 平等・公平
- 241 働き方の多様性の理解

- 242 性差を理解して上での協力
- 243 具体策・骨子
- 244 男女共同参画社会の活字は知っているが、それを理解している人が少ない。学校などで教育が必要。
- 245 愛
- 246 女性自身の職業や社会に対する責任意識の高揚
- 247 礼節
- 248 子どもの頃からの男女平等、意識改革の徹底
- 249 全ての人が、皆すごい力を持っている
- 250 上司や立場が上の人意識改革
- 251 夫の理解
- 252 男女区別しない優秀な人材の育成
- 253 小さな声を聞く
- 254 制度の改善
- 255 概念の撤廃
- 256 女性の自立・起業支援
- 257 リーダーの養成
- 258 女性のやる気
- 259 保育環境の充実
- 260 個の重視
- 261 積極性
- 262 日本型雇用の見直し
- 263 相手のことを立てられる気持ちの余裕
- 264 女性自身の積極性
- 265 自覚
- 266 参加する事
- 267 男女共同参画に対する個々の意識
- 268 男女とも家庭生活以外の活動に積極的に参加
- 269 やさしい心でいる事
- 270 男女共助社会
- 271 慣習を変える
- 272 男尊女卑の意識が抜け切れていない
- 273 まずはそれが普通であると皆が意識することが大事、その流れを作ること
- 274 昔のよき思い出にひたって頭がガチガチのおじいちゃま議員にはさっさと引退していただくこと
- 275 女性のみが出産できる世界の中で共同参画は無理
- 276 家庭教育
- 277 制度の充実
- 278 自己意識改善 /あらゆる相談機関窓口はあるが、どこも傾聴の姿勢が欠けるように思う。相談者は
勇気を出して相談にふみきっている事を感じてほしい、たらいまわしにしてはいけない。
- 279 男性の意識改革と女性の権利意識の払拭
- 280 政府の汚職撤廃
- 281 制度改正

- 282 再度、男女平等の徹底
- 283 経済
- 284 本当の意味での男女平等・男女同権
- 285 女性の積極的参画
- 286 啓発活動の強化
- 287 正直さ（人間性）
- 288 格差社会の解消
- 289 自分より弱い人間を求めない、見つけない社会・人の心を育てていく
- 290 個性の尊重
- 291 保育サービスの充実
- 292 周知
- 293 女性の変化
- 294 男女の理解を深める事
- 295 スケジュール管理の出来る仕事（残業を減らす・なくすなど）
- 296 古くからの考え方
- 297 平等・平等と言ってる間は無理だと思います
- 298 女性の意見を聞く
- 299 啓発
- 300 家庭・家族
- 301 1人1人の責任感、仕事に対してほこり、自覚
- 302 社会と家族の意識改革と女性自身の積極性
- 303 女性の活躍や格差解消を推進する。ポジティブアクション
- 304 高齢者の古い考えをいかに変えるか
- 305 教育と広報
- 306 男女共同参画という言葉の意味・意義の周知を充分にする
- 307 教育（家庭も含めての）
- 308 女性参加
- 309 国・地方自治体の男女共同参画への言葉だけでない意識改革
- 310 コミュニケーション
- 311 適材適所
- 312 両親が働いている家庭が多いため、誠に難しいです。
- 313 周知と理解
- 314 性別に特徴と個性の尊重
- 315 脱却
- 316 均等
- 317 「男は仕事、女は家庭」という意識が変わる事
- 318 敬愛
- 319 継続
- 320 自己責任
- 321 景気回復
- 322 相談窓口の存在を周知の徹底

- 323 男性も女性もその人の能力を十二分に見極めて参画させてあげて欲しい
- 324 責任
- 325 思いやりと歩み寄り
- 326 女性が働きやすい社会環境の整備
- 327 予算の拡充
- 328 能力のある女性を埋もれさせないで！
- 329 働きやすい職場環境づくり
- 330 女性の活用出来る 50 年後のイメージはどうしたいですか、どうなってますか？
- 331 社会全体での認識
- 332 個人の責任
- 333 男性、女性ではなく人間としての視点
- 334 法律的・社会的相談
- 335 公報教育
- 336 男女「共働」
- 337 男女共に相互理解し合い社会に参加するようにしていく
- 338 子供のうちから男女平等教育を。
- 339 コンシャスネス・アクション
- 340 みんな仲良くけんかをしない
- 341 目標の設定と意識向上
- 342 家庭の支援
- 343 育児の負担軽減
- 344 コミュニケーション
- 345 夫婦が働ける制度
- 346 男女目線は均等生活の始まり
- 347 子育て支援